カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) ユダヤ教の人々
(布教) カトリック児童福祉会

年頭の願い

福岡教区長司教 平田三郎

一九八五年の新春を迎え、教区の司祭・修道者・信徒一同の上に、幼子イエスさまと聖母マリアさまの平和の祝福が豊かに注がれるよう祈ります。

I カテドラルとセンターの完成

神からいただいたこの新しい年は、教区にとって大切な年です。老朽化し、危険な建物になった木造の司教座聖堂の再建と、宣教・司牧センターの建築が開始される年だからです。永い間待たれ、計画されてきた建物が、福岡市の中心街に姿を現し、教会の存在とその使命を世に示す時が来たのです。教会の使命は、人々にキリストによる万民の救いを告げ知らせ、正義と平和のたどよう「神の家族」に導き入れ、「みこころの天に行われるように地にも行われる」神の統治の世界を実現することにあります。

教区の司祭・修道者・信徒が一丸となって教区の世紀の大事業に、祈りと犠牲を献げながら積極的にご参加くださいますよう願います。

教区という大家族のメンバーである私たちは、神の家、祈りの家主の食卓を囲む兄弟たちの家、教区の宣教・司牧センターを力を合わせて建てたいものです。このことについて、深い理解と意欲を示してくださっている信者の皆さんに感謝いたします。

建築は年の始めに開始される予定でしたが、九十年前に建てられた最初の赤煉瓦の司教座聖堂が、久留米の聖マリア病院に原型のまま移築され、聖堂として使用されることになったため、実際に仕事にかかるのは二月になります。起工式には、教皇大使も参列してくださることになっています。現在の木造聖堂の撤去作業を除いて、工事は今年中に完成の見込みで、今年のクリスマス・ミサは、新聖堂で捧げられることになりましょう。教区民が一堂に集まり、犠牲の実りである新しい建物を神に捧げる献堂式は、来年の二月か三月に行われることになりましょう。

II 宣教共同体の育成

日本司教団は、昨年の六月に「日本教会の基本方針と優先課題」を全信徒に示しました。このことに対してのご理解と実践を願いたいと思います。

「基本方針」

(一) 私たちひとりひとりが、まだキリストの食卓を囲んでいない人々に信仰の喜びを伝え、多くの人々を洗礼に導き、彼らと共に、救いのみ業の協力者となること。

(二) 日本の社会や文化の中には、すでに福音的な芽ばえもあるが、多くの人々を弱い立場に追いやり、抑圧や差別をしている現実もある。私たち教会の全員は、福音の担い手として、キリストの力でこの芽生えを育て、すべての人が大切にされる社会と文化を造りあげること。

「優先課題」

一 教区、小教区が宣教共同体になるよう育成する

二 修道会、宣教会、カトリック諸事業体と力を合わせ、宣教に向けての具体的協力態勢を敷く

三 一九八七年に、司教・司祭・修道者・信徒による「福音宣教推進全国会議」を開催し、それを目標に準備に取り組む

第二バチカン公会議は「教会の宣教に関する教会」の中で「旅する教会は、その性質上、宣教者である」と言い、また「教会が、キリストの命令に従い、聖霊の恩恵と愛に動かされて、すべての人と

訂正とお詫び——昨年十二月の教区報で報告した高宮教会の布教の日献金二万二千百円は、七万二千百円のあやまりでした。訂正してお詫びいたします。

国民に現存するようになるとき、はじめてその使命が果たされるのである」と述べています。ここで言う教会とは、神の招きに答え、一つに集まっている私たちです。この信仰共同体は、洗礼と堅信の秘跡によって、キリストの預言職に与るものとなったのです。ちょうど主キリストが、おん父から預ったみことば(預言)を人々に宣教されたように、教会の宣教を通していただき、預った神のみことばを、私たちも、人々に宣べ伝える義務と責任を負っているのです。それは司祭・修道者に限られたものではなく、性格の差こそあれ、すべての信者が果たさなければならないことなのです。日本教会の宣教の沈滞の源は、このことについての理解の不足によるものではないでしょうか。

教会のこの宣教が効果的なものになるためには、ばらばらで宣教するのではなく、共同体として内外に証しを立てるものとなる必要があります。そのためには、共同体内における対話、協力、聖職者と信徒間の責任の分担が必要です。これがあってはじめて、この共同体は力強く外に向かうことができるでしょう。困難なことですが、この信仰共同体の育成は、宣教に

(第二面につづく)

一月の聖体礼拝当番教会

一月六日 唐津
一月十三日 鹿島
一月二十日 佐賀
一月二十七日 武雄

微光

「もう」来た正月と「やっと」来た正月の表現の意味に、こだわりを見せる年頃になってきた。最近、正月について歓迎されない客のように思えて、何らの期待感をもたない。これは、著しい老化現象のせいかもしれない。「やっと」の語感には、待ち望んでいる人たちの未知の楽しさが漂う。「もう」には、まだ来てほしくない、一寸待っての人間模様が浮ぶ。やるせない群像の一面がある▼いつくしみ深い平和の神はわれらの社会を導き、そこにともに住むのを喜びとするはずなのに。正義と平和はまだ荒野の声にすぎず、人々のすみに置き去りにされている。昨年の人間社会には、目をおおう惨事が余りにも多すぎた。飢えるアフリカの痛ましき、亡命を余儀なくされる難民のむれ。戦乱に安住の地を奪われ、心空しくきょうを生きる人たちや不正な人権抑圧によって投獄や死に追い立てられる者が後を断たない▼昭和六十年がどんな一年を迎えるのか、神ならぬわれらには予測はむつかしい。天災を口実に、無為無策を棚上げして責任を回避することは許されない。政治の貧困からくる人災の部分が、人民の上に重くのしかかっている現実を見すごすことはできまい。人間が神の前に謙虚になって衆知を集め、隣人愛の視点から資源と科学を公正に善用するならば、明るい未来が開くのではあるまいか。隣人の中に神のまなざしを感じとる時、愛は行動する。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

(一面から)

不可欠な要素であります。この育成のために、共同体の信仰教育、わけても、日曜ごとに集まって捧げるミサ聖祭が、共同体による宣教の源泉となります。ミサは、死を通して生命に移られたキリストの神秘の聖祭であり、キリストを信じる私たちを、キリストと共に闇から光へ、死から生命に過ぎ越させて、父に導く秘跡だからであります。私たちの救いの確信と喜びはこのミサから出発し、私たちを外に向かわせる力になるのです。ミサの最後の派遣の言葉「イテ・ミサ・エス」は「行きなさい、宣教ですよ」とも響くと思います。この言葉はひとりびとりに呼びかけられるばかりでなく、教会に集まっている全信仰共同体にも求められているのです。

この信仰共同体が、宣教会・修道会はもちろん、教会の学校、福祉施設とも手を取り合って、教会の宣教という重要な使命に目覚め、三年後に行われる「福音宣教全国会議」に向かって一歩一歩確実な歩みを続けて行くよう切に希望いたします。

謹んで救主イエズス・キリストのご誕生と新年のお慶びを申し上げます

昭和六十年　元旦

平田三郎司教　福岡教区長
深堀　仙石衛門司教（長崎）

福岡地区

司教館　山田　成章
平田惣五郎
川口　康頼
大名町　青木　保
浄水通　ラミーレス
西新　山川　辰幸
茶山　堤　要吉
笹丘　マホニ
ドウィヤー
ヒルデン
高宮　石村　明
中田藤太郎
美野島　畠山　七郎
吉塚　シュルツ
箱崎　リシャール
老司　兼山田　成章
光ケ丘　ラミダオ
古賀　山崎聡一郎
二日市　乾　曜天
小郡　岩永　義人
渡辺　隆義
本郷　堤　敏雄
今村　糸永　一
久留米　糸永　武男
三村　邦明
平田　寛
大牟田　西田　邦洋
呼子　田川　清美
馬渡島　伊東　誠二
大楠　鵜野　泰平
大神学院　山内　清海
ラベル
ツルデル
ラプラント
イエル
高木　善行
中浜　一男
明石　健次
小神学校　竹森　勇
下町　豊
聖パウロ修道会　百村　等
黙想の家　永谷　計
鈴木　忠一
マテオ
イエズス会　ウーリック
大野　正恒
フリン
塩谷　恵策
泉　類治
草野　純英

北九州地区

八王寺　ア・ベルトラン
ボンカズ
ジ・ベルトラン
モーゼ
ガイヤール
パスチ
デシャンプ
深堀　勝人
畠　基幸
浦　俊雄
平田　敬
コース
徳山　登
ラパルタ
パイヨ
キニュ
牧山　藤房
山頭原太郎
グロジャン
門司港　門司
小倉　湯川
戸畑
若松
天神町　水巻
黒崎　直方
飯塚
田川　新田原
行橋　平田　正喜
松井　忠之

佐賀地区

佐賀　ガザルディ
唐津　スカットロン
武雄　サルデイ
伊万里　パスカーレ
多久　アレグリニ
鹿島　ルッチ
鳥栖　マグリン
トラピスチン　マルセル

熊本地区

玉名　キルケニ
手取　デイキン
グリフィン
オブライエン
カロル
マッカーチン
ノーリス
マクナリ
コニリ
オマホニ
牧山　勝美
フォード
シーヒ
武蔵ケ丘　オカロール
八代　黒川　博
人吉　牧山　重光
水俣　ベラス
本渡　モラハン
大江　グリン
崎津　ダイヤモンド
健軍
島崎
島崎修道院
荒尾
帯山
菊池
合志カトリックの家　ライル
在海外留学　山元　真
高見　三明
大山　悟

「佐賀カトリック教会史」宣教八十年を記念して出版

佐賀市中央本町の佐賀教会が小教区として福音宣教を開始したのは、一八九九年（明治三十二年）で、八十六年のむかしのことになる。多分、久留米教会を中心に佐賀方面まで布教活動を行っていたソーレ神父（パリ外国宣教会）や平山牧民神父の功績を忘れることはできないであろう。現在の主任ガザルディ神父は八代目だが、その間パリ外国宣教会のブレンギエ神父、邦人司祭の山口宅助、伊東誠二両神父、オーストラリア派遣の教区司祭ウオルシュ神父やミラノ外国宣教会のルッチ、ロッキ両神父が担当してきた。

一、一四〇坪の敷地内に建つ現教会は、一九五六年（昭和三十一年）九月に、司祭館と同時に完成した。教会が一〇三坪、司祭館が七〇坪である。いまの教会には、宣教八十周年事業の一環として見事なステンドグラスが飾られている。

附属建物としては、一九六三年（昭和三十八年）に完成した幼稚園の二一五坪のほかに一九七三年（昭和四十八年）に建った七一坪の講堂がある。一九七一年（昭和四十六年）に建てられた信徒会館は、その後増築して八十三坪の広さを誇っている。信徒数七三一。

八十年の宣教の歴史をつづる佐賀教会は、信仰の証しとして教会史の刊行も企画された。だが、明治時代に教会の火災があったために資料も焼失し、編集委員らは大変な苦労を強いられた。かれらは福岡司教館、長崎カトリックセンター、佐賀県立図書館郷土資料室などにまめに足を運んで教会史を完成させた。

同書は三編に分かれ、第一編は宣教史を中心に県出身の司祭、修道士、修道女紹介など。第二編は資料編。幕末における日本キリスト教（新教又はプロテスタント）の洗礼第一号として知られる佐賀藩家老の村田若狭守の人物伝などの貴重な資料が組みこまれている。第三編は特集で、北島治慶氏の労作「鍋島藩とキリシタン」や年表などが掲載されている。B5判、一七七ページの非売品。

一月命日の司祭

★グスターブ・ロー神父（パリ外国宣教会）一九五〇年一月一日元人吉教会主任

★アウグスチン・ハルブ神父（パリ外国宣教会）一九四五年一月十四日元崎津教会主任

★ジャンマリ・マルタン神父（パリ外国宣教会）一九七五年一月十八日元大牟田教会主任

★ルドビコ・ガルニエ神父（パリ外国宣教会）一九四一年一月十九日元大江教会主任

★ジョゼフ・フレスノン神父（パリ外国宣教会）一九二九年一月元久留米教会主任

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店　☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

金松神父（大分）を招いて
佐賀地区の信徒協研修会

佐賀地区信徒協議会（地区長ガリアルディ神父、地区会長田丸鋭）では、大分教区副司教・金松敏神父を講師として招き、紅葉の泉都武雄温泉ハイツで、十一月二十二日、二十三日の両日、信徒研修会を行った。参加者は県内各教会のリーダー約四〇人、テーマは「福音宣教」についてであった。

初日は「みことばに生き、みことばを伝えよう」で、翌日は「家庭にキリストを」の内容だった。かれは、我々が現在直面する最も大切な問題を平易な言葉で話す。その講話の中で、「日本の教会の基本方針と優先課題」を冒頭にとりあげ、韓国教会のめざましい発展に触れながら、日本の教勢が伸び悩んでいる原因は何かと問題を投げかけ、今こそ教会全体の活性化と信徒倍増への熱意を持とうと励まし、信仰のよろこびをもって、自らと社会の福音化に一層努力してゆくべきであることを訴えた。

このあと、四つのグループに分かれて分科会、続いて全体会に移り、各グループ代表の発表が行われ、和気あいあいの中に会が進行した。最後に感謝のミサが捧げられ、一泊二日の実り多い研修会を終わった。（牧山満安記）

研修会の全体会議

典礼暦とは

教会は、キリストの救いの業を一年の周期で記念する。キリストの生涯の救いの業の二つの主な中心はキリストの降誕と、受難と死と復活である。典礼特に主日ごとにミサの中で朗読される神のことばを通して、キリストの救いの業が記念され、教会の中に継続していく。このようにキリストの救いの業を中心に一年の周期を考える暦を典礼暦という。

典礼暦にはキリストの降誕の前の四つの主日、すなわち待降節がある。待降節は救い主の来臨を待ち望んでいた人びとになって救い主の誕生を準備し、待ち望む期間である。十二月二十五日のキリストの降誕祭の後、キリストの受肉の神秘を記念する降誕節や復活祭が続く。復活祭の前の四十日間は四旬節と呼ばれ、キリストの過越にあずかるために断食や祈りによって心を準備する。復活祭から聖霊降臨までの五十日間は、復活節といい、復活の栄光を祝う。

会合と催し

☆平田司教
1月8日　教区新年ミサ・祝賀会
13日　教区修女連の集い

☆福岡黙想の家
1月9日～2月9日　聖母の騎士女子修道会の黙想
14～15日　朝食祈祷会
17～21日　西南大学海外研修生の集まり

要理書の最近の特徴と指針
ローマの教理聖省の要望で

十二月四日、福岡司教館で教区全司祭を対象にした集会が行われたが、福岡サン・スルピス大神学院のラベル教授は、「最近の要理書の動向」について大要つぎのことを話した――

一、ローマの要望に応える要理書の主な特徴

ローマ教理聖省長官ラツィンガー枢機卿は、パリ・ノートルダム大聖堂で一九八三年一月十六日に行った講話の中で、要理書は今も以前と同じく必要であると言っている。その講話の中で、ローマの要望と規準に沿う要理書は次のようなものでなければならない、と言っている。

1、要理書は、体系的、組織的に信仰を伝えるものでなければならない。

2、方法よりも内容が大切で、必要なのは教会の教えを忠実に伝えることである。そのメッセージの伝え方は、各カテキスタにまかせられる。

3、要理書の内容は次のようでなければならない。

イ、「使徒信経」、または「信仰宣言」に含まれるすべての教え、すなわち信すべきこと。

ロ、「キリスト信者の生活に関するキリストと教会のおもな教えすなわち守るべきこと。

ハ、「キリスト信者に生命を与え、それを養うもの」すなわち祈り、特に「主の祈り」。

4、要理書は聖書にだけ基づいて作成してはならない。なぜなら教会に託された神のことばは、聖書の中にだけではなく、聖伝の中にも含まれているからである。そしてその神のことばを、権威をもって正しく解釈する任務を受けたのは教会の教導職である（啓示憲章8―10）。したがって、すべての要理書は充分に、正しく、畏敬をもって教会の教導職の教えることを伝えなければならない。また聖書だけ使うなら、秘跡のことを充分に説明することができない。

5、信仰を、自分の体験の結果ないし反映として示そうとしてはならない。

二、要理書出版に関する教理聖省の最近の指針

1、全国用の公式要理書の出版のためには、まず第一に司教協議会のメンバーの3分の2の推せんが必要である。そして聖座の認可も必要である（カノン七五五の二、四五五の二）。

2、一地方、一地域のための公式の要理書出版の場合、上と同じ条件が満たされなければならない。

3、司教は、自分の教区内で使われる公式の要理書を認可する権限をもっている。

4、個人で作成されたもので、公式の要理書として認可されていなくても、これを要理書として使用することができる。

邦人司祭育成の日献金
（S.58.12.2）

大名町	90,000	直方	8,500	水巻	21,433
浄水通	45,000	新田原	64,343	飯塚	10,350
光ケ丘	62,681	行橋	14,761	田川	10,600
大楠	9,000	呼子	24,890	手取	178,440
箱崎	20,000	佐賀	15,000	荒尾	16,500
笹丘	53,775	唐津	7,320	吉井	23,450
西新	36,348	伊万里	7,585	人木	10,000
美野島	5,800	鳥栖	14,576	健軍	15,000
茶山	20,421	武雄	4,640	帯山	11,000
高宮	61,100	鹿島		水俣	5,000
老司	45,421	多久	2,200	大江	7,100
吉塚	33,706	松島	9,000	崎津	21,500
志免	8,323	門司	21,958	島崎	50,000
古賀	38,227	門司港	13,503	玉名	12,500
二日市	30,000	小倉	105,208	菊池	
久留米	52,010	湯川	26,739	八代	32,000
大牟田	16,700	戸畑	63,429	武蔵ケ丘	51,416
今村	115,100	若松	6,850	ロザリオの園	老
本郷	31,434	天神町	15,000	人ホーム	23,300
小郡	7,852	黒崎	50,000	求道者ミツ	2,000
馬渡島	10,842	八王寺	10,000	聖体礼拝クラブ	14,284
				計	1,785,115

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

一九八五年度の福岡・熊本
結婚準備セミナーのおしらせ

永い人生を共に歩こうとして、結婚を決意していらっしゃるカップルのために、より幸せな旅立ちと家庭づくりを願って、その準備のために、お二人が心を開いて楽しみながら参加でき、有意義な出会いになるようにと、プログラムを組んでいます。

福岡会場――福岡市中央区浄水通三九　福岡司教館内憩いの家

日時

第一回　一月二十六日～二月九日までの毎週木・土曜日と一月二十七日（日曜日）

第二回　四月十一日～二十五日までの毎週木・土曜日と四月十四日（日曜日）

第三回　八月二十九日～九月十二日までの毎週木・土曜日と九月一日（日曜日）

木・土曜日は午後七時より九時十五分まで、日曜日は午後一時半より六時まで。

問い合わせ先　福岡司教館TEL092―522―5139

光ケ丘教会TEL092―581―0570

熊本会場――熊本市上通町三―三三　手取カトリック教会

日時

第一回　一月二十五日～二月八日までの毎週水・金曜日と二月三日（日曜日）

第二回　四月十日～二十四日までの毎週水・金曜日と二月二十一日（日曜日）

第三回　八月三十日～九月十三日までの毎週水・金曜日と九月八日（日曜日）

水・金曜日は午後七時より九時十五分まで、日曜日は午後一時より五時四十五分まで。

問い合わせ先手　取教会TEL096―352―3030

ヨハネ・パウロ二世を、「家庭生活に関する教書」の中で、結婚準備のための徹底的・集中的養成プログラムの普及と、実際に若者が養成されて結婚することの必要を強調しています。

参加者の声より

▼このセミナーにすごく関心を持つことができたのは、本人たちにテーマを与え、これについて語り合う場を作ってくれたということが大変良かったと思う。結婚するのは自分たちなのだから。是非ともこういう形で今後とも続けて行ってもらいたい。（男性）

▼多くの無宗教の私ですが、彼女のことをもっとわかるために参加しました。キリスト教的な考え方はとても大事なことだと思いました。人間として生きて行くためにとても参考になりました。（男）

▼真実・本音の対話の大切さを認識させられ、ありがたく思った。恋愛のうわついた気分から、裸のつきあいへの理解の一歩を示された。カトリックでありながら、カトリックの排他的な宗教思想を嫌っていたが、宗教つまり神への愛の心は、すべての愛の基礎であり家庭の土台だとも思われる。これまでのように、相手とともにできるかぎりミサに参加し、家に祭壇を作って祈り愛の心を忘れないようにしたいと思う。（女性）

▼カップルの方の経験談はとても実際的で、これからの参考になるようなことが沢山ありました。このセミナーを受けた後、互いの書いた番号についてけんかした事もありましたが、それも今考えてみて、自分の考えをお互いストレートに表現できて、より理解し合えたと思っています。あまり期待しないで受け始めたセミナーですが本当に参加して良かったと思います。ありがとう。（女性）

▼参加するまでは、二・三回も出席すればよいと思っていました。しかし参加しているうちに、お互いに教会へ行き同じお話しがきけることがどんなにすばらしいものであるかがわかりました。私の妹も間もなく結婚すると思いますがぜひとも参加してほしいと思います。又これからも結婚なさる多くの人々のためにも、このようなセミナーを続けていただけたらと思います。（女性）

▼結婚するにあたって、相手の方に宗教を理解して預くことを少々心配していました。このセミナーはとてもいい機会でした。このセミナーによってそれ以上のプラスになるものがたくさんあったからです。なかなか話し合う機会のない二人でしたが、この機会にできました。感謝します。（女性）

飛脚

★十二月二日、福岡市中央区小笹四丁目の聖パウロ修道会は来日五〇周年を盛大に祝った。日曜日に当たるため出席する司祭の都合を考えてのことであったろうか、午後三時半から、ミサではじまる。多数の信徒、修道者の参加のもとに、教区総代理山田成章神父の主司式による約二十人の司祭の共同ミサがささげられた。はるばるローマから聖パウロ修道会総長や、日本管区長ら関係者もつめかけ、意義ある日を感謝して祈った。平田司教は公用のため滞欧中で、これに花を添えることができなかった。日本の聖パウロ修道会は、一九三四年（昭和九年）、イタリアからパウロ・マルチェリーノとロレンソ・ベルテロ両神父が日本支部設立のために来日したときからはじまった。その名のとおり、聖パウロを修道会の使徒職の模範とし、師としている。「私たちは使徒職の遂行にあたっては、あらゆる社会階級、文化、民族、国家のすべての人びとに対して、また、すべての年代に対し、負い目を持っていることを認めて、聖パウロの普遍的な心から、いつもヒントを受けるようにしよう。…聖パウロは……意識においても、行動においても、全世界をキリスト教の使徒職の対象としてとらえた。」（特別総会文書）高度情報社会に対処していくべき会員の、今後の自己刷新と軌道修正に大いに期待したいものである。

★新築の司教座教会の計画書の説明やステンドグラス製作依頼のためローマ・パリに滞在中であった平田司教は、短期間の忙しい公用ではあったが、十二月五日夜、元気に福岡に帰った。かれが言うには、「ローマは福岡のことを何でも知っている」。情報の交流・緊密化は結構なこと、変な片意地を張らないで前進しよう。「善い木は善い実を結ぶ」とか。

★十二月十八日から二十一日にかけて、全国司教会議が東京で開かれていたが、これに出席した平田司教は、二十一日夕方帰った。福音宣教に活を入れられた感じの日本教会が、やっと燃え出した、といってよいのかもしれない。最近、司祭や信徒の口にたびたび出てくる流行語の一つになったようだ。司教方もこの会議で燃えた？のではあるまいか。福音宣教は日本教会の旗印しである。

寮生募集

対象　OL及び女子大生

場所　〒810 福岡市中央区今川1―2―24

TEL　092―751―2578

聖家族寮

礼拝会

信頼に誠意と技術でこたえる

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

福岡支店長　池内満

福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう、

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市中央区梅光園3-3-332

大石保険事務所　大石真澄

〒810　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長　松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1―4―23

TEL 771―3657

吉川病院

院長　吉川東陽

福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 未来をつくる若い世代
(布教) イスラム諸国における教会

分かち合いとは神が他人の為に委託したものを与えること
肉体の飢えや心と精神の渇きのために今苦しむ兄弟たち
＜教皇の四旬節メッセージ＞

キリストにおける
兄弟姉妹のみなさん

私は今年もまた四旬節に当り、飢餓に起因する世界の悲惨な状況について話したいと思います。何千万という人びとが食糧に欠乏し何百万という子供たちがその生涯を飢餓によって苦しむように運命づけられ、何千もの子供たちが飢え死にしている今、私は黙っていることはできません。私たちは黙して、何もしないでいることはできません。

政府や、国際的機関、民間の団体が食糧不足の犠牲者たちに、多くの救援物を送っていることを私たちは知っています。しかし、残念ながら、全ての人びとがそれによって救われているわけではありません。この際、より効果的な救助をするために、世界的規模で人間を苦しめている災害の原因に立ち向かって、それを決定的に解消するための効果的な努力ができないものでしょうか。現時点では悪天候や、長期にわたる干ばつといったような自然的原因を避けることができないことは事実です。しかし、こういう自然的原因に、人間の過失や、不正が加わらなければ、災害の結果はそれ程ひどくならない筈です。悪天候の悲惨な影響を、少なくとも部分的に防ぎ公正で迅速な食糧の分配や、救助手段を確保するために、果たして全力が尽されているでしょうか。また、他方では非常に困った事態が起きています。たとえば、重労働をする農夫たちが正当な報酬を受けておらず、あるいは、耕作地を自分よりずっと豊かな人や団体に取り上げられ、そこから追い出される人たちもいます。私は、そういう人たちのことを考えています。かれらは、他人の飢餓や苦しみを犠牲にして、自分たちの富をふやす人々に苦しめられているのです。このほか、飢餓の原因や状態の例は数多くあります。

同じひとつの家族の中で、ある兄弟姉妹が食卓につけないでいる時、他の者たちだけが満腹できるでしょうか。苦しんでいる人びとのことを考えるだけでは足りません。四旬節にあたり、私たちは心を改め、祈りに断食を加えるようまた、隣人に対する正義の要求が促がすいろいろな努力を神の愛で満たすよう呼ばれています。

「この群衆がかわいそうだ」(マルコ8・2)と、イエススが言われたのは、み言葉を聞くために三日間も自分につき従って来た人びとを養うためのパンをふやす前でした。肉体の飢えだけが人間を苦しめるものではありません。多くの兄弟姉妹たちは、人間の尊厳、自由、正義、そして、心と魂の食物に飢えています。事実、心と精神の渇きがあるのです。

復活祭の準備をしている今、私たちの改心と償いの精神を、具体的な方法でどのように示すべきでしょうか。

まず第一に、私たちの責任のとれる限り、—時には大きな責任もあるのですが、—世界の兄弟姉妹たちを、—たとえ、ひとりでも—飢えで苦しませるようなことに決して協力しないことです。かれらの中には、私たちのすぐ近くにいる人も、何千キロも遠くに住んでいる人もいます。もし、こういうことにすでに協力してしまったならば、それを償うべきです。

飢えと渇きに苦しむ国々に住んでいるキリスト信者たちは、自分たちと同じ国民の同じ犠牲者として、緊急援助を分かち合い、大災害の原因をなくすために共に戦っています。

私たちは、自分が持っている余分な物、そして必要とする物でさえも、かれらと分かち合い、助けようではありませんか。これは、断食の真の実行です。

私たちの地方教会で定められた活動に、惜しみなく協力しようではありませんか。

分かち合うということは、神が他人に与えようと望まれて、私たちに委託された物を与えることです。私たちはこのことを、いつも忘れないようにしましょう。神の愛の導くままに、こころよく、兄弟愛をもって与えることは、人びとの肉体の飢えをいやし、魂を養い心を喜ばせることに貢献し、役立ちます。

「あなたがたの行いは、すべて愛をもって行われるように。主イエススの恵みが、みなさんとともにありますように。」(Ⅰコリント16・14、23)

教皇ヨハネ・パウロ二世

二月の聖体礼拝当番教会

二月 三日 多久
二月 十日 鳥栖
二月 十七日 呼子
二月二十四日 馬渡島

☆カテドラル建設資金に

一金 五十万円也 米湊久子さま
(故米湊 潔氏の香典返し)

微光

新大名町司教座教会の建設予定地が、着々と整備されている。レンガ造りの旧聖堂と司祭館の解体作業は順調に進んでおり、二月上旬には、その姿が消えているのではあるまいか。撤去された跡地には、「教区の母なる教会」の新築工事がはじまる。この「教区の母なる教会」の表現について、一部の人から美辞麗句のようで空々しいとのお叱りを受けた。母の愛情が出る司教座教会を反省したい▼かりに、三人の子を持つ母親はどの様に愛情を配分するのであろうか。一人だけに肩入れすると、子の間に不満と争いが出る。母親は私情にとらわれることなく、公平に、三人の人間性尊重と家庭の共通善の高所から判断して愛を注ぐべきではないか。このことは、必ずしも三人に、同じ形の愛を与える必要性をいっているのではない。一人の子への愛の形は、他の子のそれよりも違っていて当然である。愛の形は受ける人の事情によって変化する▼母なる司教座教会(司教)は、教区の共通善と教区民の事情を考慮しながら愛情と賢明さをもって問題の処理に当たる。役しい教会の経済的な補助の願いや問題をかかえた教会からの早急な解決依頼に、目を閉じて見過ごしているのではない。相手を不当に悲しませない、愛情の溢れる取扱い(処理)にはどうすればよいのか、聖霊の光を祈りながら時間をかけて熟慮し対処する。提供される訴えを無視することはない。

東洋警備保償株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

カリタスジャパン

四旬節献金のお願い

カリタス・ジャパン担当
長崎教区補佐司教　松永久次郎

現在、世界の各地に、飢えと病気に痛めつけられている大勢の小さな兄弟たちがいます。旱魃などの自然現象が、その直接の原因とされますが、その対応の仕方などにいわゆる「私たちの時代の罪」が働いて、状態をますます悲惨にしていることが指摘されています。キリストの贖いのみわざを記念しその実りに与ることを願うこの四旬節、私たちは特に回心とつぐないの心を新たにし、この「小さな兄弟たち」と苦しみを分かちあうべきだと思います。

乏しい兄弟に与えるのは愛のつとめです。私たちはキリストのみ教えと模範に倣い、寛大に与えることを学ばねばなりません。「物を持っていながら、困っている兄弟を見ても、あわれみの心を閉ざす人に神の愛は留まり得ない」ことを思い出しましょう。また私たちは「極度の窮迫においてすべては共有である」との教会の伝統的考えにもとづいて、乏しい兄弟に与えることは、正義の行いでもあることを記憶すべきです。「飢え死にしそうな人に食物を与えなさいかれに食物を供しないならばきみがかれを殺したのだ」という教父たちのことばを自分に向けられたものとして聞く必要があります。

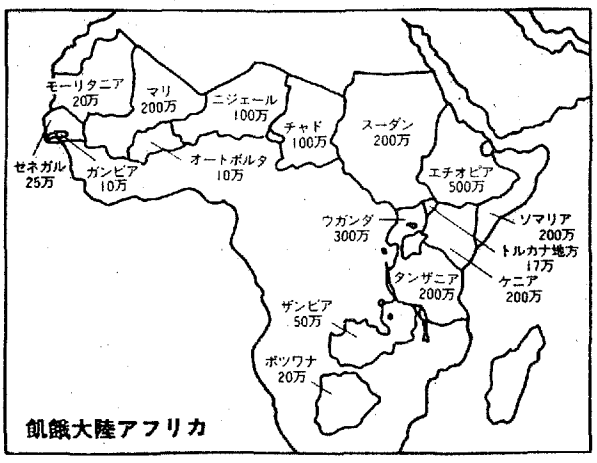
「小さな兄弟たち」に与えることは決して「一方通行的行い」ではありません。私たちは与えることでお恵みとは何であるか、愛とは何であるか、人間の交わりとは何であるかなどを学びとります。そして、人間家族の和をととのえその幸せの輪に深く与かります。また、与える人は神の愛の喜びに与かるのであり、「神は快く与える人を愛されます」。一方「小さな兄弟たち」は、私たちの行いに天の御父の愛のみ手を認め、神を賛美し、感謝を献げます。物がもたらすことのできる本当の豊かさとその真の幸せは、与え受けるところに互いに分かちあうところにあるのであります。

私たちの力は小さく、弱いかも知れません。しかし、キリストは「五つのパンと二匹の魚」で五千人を養われました。私たちが自分のものを真心こめて献げるなら、キリストはそれを使って多くの兄弟を養い、そして更に現代社会を福音の精神で造りかえるための一歩ともしてくださると希望いたします。

× × × ×

「小さな兄弟」の仲間になることは日本の司教団の発表した「基本方針」の一つであります。キリストにおいて、善意ある皆様のご奮発を心からお願いします。

一九八五年二月二十四日



（数字は飢餓人口推定）

和解と償いは相互依存的関係
教会は和解の道具秘跡

教皇ヨハネ・パウロ二世は、昨年の十二月二日付で、「和解と償い」の使徒的勧告を全教会に発表したが、その要旨を紹介する。

本文は次のように区分される。

一、今回の「和解と償い」と、前回のシノドスの基本的目的は、和解と償いの間には緊密な関係があることを示している。両者は相互依存的なものである。なぜなら、自分の生活のうちに罪が存在することを認識し、そして「回心」と「償い」を通じて、神のめぐみに助けられながら罪を征服しようと努めるとき、個人と共同体は、はじめて、神、自分自身、兄弟、および神の創造した全世界との完全な和解に達するからである。

二、この両者の関係を説明するために、教皇は、聖書に根ざした広く深い神学的な考察と、明確な司牧的指針とを交互に用いている。まず、教会の具体的で実際的な課題から始まり（第一部）、罪についての長い神学的な考察に移って（第二部）、次に「和解と償いの司牧的役務」についての実際的指針を示している。

三、第一部全体は、神のみことばに特に、「和解のたとえ話」と教皇が呼ぶ「放蕩息子のたとえ話」によって説明されている。

聖書的、神学的、又、司牧的な深い洞察で解説されたこのたとえ話に照らして、人間はみな、罪の状態にあることを教皇は指している。（第一章）。しかし、罪が決定権を持つのではなく、神の子であり、人間マリアの子であるイエスは、単に、父と人間との和解者であったばかりではなく、教会の創立者であって、その和解の業を保管し継続する、と力強く指摘している（第二章）。つまり教会は、和解の道具であり、しるしであり、秘跡であり続ける。

四、つづいて第二部は、罪の神秘について提示し、更に深く研究した後、罪よりももっと偉大で強力な、罪をも滅ぼすことができる愛があることを教えている。

教皇は、「罪の神秘」と「信心の神秘」という二つの意味深い聖書的表現を用いて、人間の和解とは、人となり、十字架につけられ死者の中からよみがえった御子における、神のあわれみの力による罪の克服である、と指摘する。そして、大罪、小罪、自罪、社会の罪などについても、極めて適切な概念を用いて取り扱っている。この部分は聖書の二つの節、つまり、人祖の罪の物語とバベルの町と塔の物語によって説明される。両方とも、神との破綻に導く人間の傲慢な態度の象徴である。

五、第三部では、和解と償いの分野における行動のための指針を与える。そのような行為は教会の仕

（三面につづく）

アフリカ難民救援
募金に御協力を

皆様アフリカの兄弟姉妹が戦争こう水伝染病かんばつのためにに飢餓の線上をさまよっています。

カリタス・ジャパン
福岡教区信徒使徒職協議会

アフリカ難民のための献金

本渡	15,000円
武雄	105,800円
伊万里	15,000円
福音の光修道院	10,000円
光丘幼稚園	63,000円
合計	208,800円

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃 駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃 ダイエー城野店3階☎922－5637

(第二面から)

事であるばかりでなく、むしろ、教会の使命である。多くの人々が和解と償いの緊急性と必要性を感じる時があるが、同時に、それに必然的に伴う条件を実行するのに困難を感じる、教皇の勧告は、教会の使命の意味と範囲を強調している。

第一章は、「償いと和解」の種々の局面、すなわち、対話、カテケジス、秘跡などを指摘する。最後の章は、和解と償いの秘跡に専ら当てられている。

この部分を説明し、はっきりさせるために、「わたしはあなたに罪を犯し、あなたの前に悪い事を行いました…わたしは不義の中に生れました…わたしを洗い清めてください。わたしは雪より白くなるでしょう…あなたの救いの喜びをわたしに返してください……(詩五一)という聖書の一部が用いられている。

第三部は、秘跡的償いとその実践という、重要なテーマに関する教会の不変の教理をはっきりと再確認し、諸教皇と教会がこれについて述べた教えを含んでいる。この使徒的勧告は、和解と償い、およびこれを教会に現存させる秘跡について、真の教会的、神学的価値を、多くの人に発見、あるいは再発見させる助けとなり得る。

天国から笑いをドノフ師逝く
不慮の災難と心筋こうそくで
熊本でも追悼ミサを行う

一月十五日午後一時半から、熊本市上通町三の手取カトリック教会で、二日に死亡した聖コロンバン宣教会の元熊本地区長ジェームス・ドノフ師の追悼ミサが行われた。平田司教外二十数人の司祭による共同ミサに多数の修道者・信徒が参加し、永遠の安息を祈るとともに生前の師を偲んだ。

高笑いが名物であったドノフ師は、朗らかで愛と寛容の人でもあり、誰にでも慕われるような司祭像を備えていた。冗談好きな師の一面として、熊本県の菊池教会の主任の頃、菊池は別名隈府(ワイフと読む)と呼ばれていたので、出会う人にたびたび「私のワイフ(妻)は菊池です」というのを聞いた非信者の中には、神父様に奥さんがいると思った人もあったとか。大男の全身を動かす笑いのしぐさが今後見られないのは淋しいが、天国の喜びに入った師は、笑いを忘れかけているこの世界に、至福の笑いを思い出させてくれるに違いない。

ドノフ師の六十八年の人生の幕切れはあっけなく、痛ましいものがあった。当時、聖コロンバン宣教会の千葉地区本部付きのドノフ師は千葉寺カトリック教会を手伝っていたが、大晦日の夜、師の上に思いがけない大事件が持ち込まれた。司祭館で精神病の人に襲われ、石で頭を殴られて重傷を負った。結果的には、このショックが引き金となって持病の心筋こうそくを悪化させ、二日後に主のみもとに召される破目になった。

葬儀ミサと告別式は、五日午後一時から、東京都文京区関口三丁目の東京カテドラル聖マリア大聖堂でしめやかに行われ、多数の会葬者で堂内は埋めつくされた。

ドノフ師は一九一六年アイルランドに生まれ、十九歳のとき聖コロンバン宣教会に入り、将来の宣教師を目指す。一九四一年念願の司祭に叙階され、福音宣教と司牧に従事する。しばらく国内で働いた後、一九四七年から三年間、中国で宣教師として活躍。一九五一年来日して、東京大司教区の銚子教会主任を務める。一九五四年から一九七一年まで、福岡司教区の菊池・水俣教会主任を歴任し、一九七二年から二年間、聖コロンバン宣教会熊本地区長の要職にあった。一九七五年～一九八二年、東京大司教区茂原教会主任の職を果たしたが、病気のため一九八三年から聖コロンバン宣教会千葉地区本部付きになり、教会の手伝いなどに当たっていた。

二月命日の司祭

★ジョン・オマラ神父(コロンバン宣教会)一九七四年二月十四日元荒尾教会主任

★ジョゼフ・ボア神父(パリ外国宣教会)一九五七年二月十七日元黒崎教会主任

★フランソワ・ベルトラン神父(パリ外国宣教会)一九四〇年二月二十二日元門司港教会主任

★フランソワ・ドルエ神父(パリ外国宣教会)一九八三年二月二十六日元八王寺教会主任

会合と催し

★平田司教
2月3日　福岡地区信徒使徒職協
5日　司祭評議会
12～15日　司牧司教委員会(大分・湯布院)
21日　新司教座教会起工式
23日　森新司教叙階式

★福岡黙想の家
2月9～11日　若者の交わり
16日　カトリック新聞座談会
17～18日　パリミッション会の研修会
24日　祈りの集い

飛脚

★旧ろう十九日、北九州市若松区内にあるキリスト教会(若松カトリック教会、若松プロテスト教会日本基督教団若松教会、日本基督教団若松浜ノ町教会)主催によるクリスマス・チャリティ・コンサートが若松体育館で開かれた。豊かなハーモニーによる演奏活動を続けてきた同志社大学混声合唱団を招いて、昼夜二回に分けて行われたが盛会であった。今回のチャリティ益金は、若松グループホームに全額寄付された。若松グループホームは、一九七三年の在宅知恵おくれ児の訪問活動をはじめとして、一人ひとりの知恵おくれ女性の地域生活支援に努力している。知恵おくれの人たちに自分自身の一生を、「ほんとうにかった。いい人生だった。」と実感できる生活条件を整えていくことがこの団体の課題である。

★一月八日午前十一時から、恒例の教区内司祭の新年祝賀会が行われた。まず、浄水通教会で、平田司教と約五十人の司祭の共同司式ミサがささげられた。司教はミサの中で、六年越しの新カテドラル建設工事が間もなく始まるが、信仰的にも経済的にもみなさんの血の通った教会にするために多くの祈りと犠牲をもって協力してくれるように、と訴えた。また、日本司教団の福音宣教の基本方針と優先課題に触れて、教区や小教区の宣教共同体が、学校その他のカトリック事業体と手をとりあって宣教に当たるべきであるとの自覚を深め実践に移る必要を説いた。最後に、プロの宣教者の決意をもって、一年の宣教活動に神の祝福を祈ろうと結んだ。ミサ後司教館会議室に、和やかな祝宴が催されたが、深堀敏高松司教も参加して花を添えてくれた。

★教区信徒使徒職協議会の役員会が一月二十日午後一時半から、司教館で開かれ、各地区から十七人の信徒が集まった。席上平田司教は、工事入札の結果とその間の事情を説明し、大成建設の手による新築工事に物心両面の支援を要望した。このあと、新大名町教会の建設委員長水田氏から具体的な補足説明があった。役員会の要望として――①ある地区内の一部の司祭の中に反対(新カテドラル建設について)の意見を聞くので、地区内の司祭団と司教との懇談会の開催②新カテドラルの起工式には、司祭のほかに各教会の信徒会や信徒協にも招待状を出すこと③カリタス・ジャパンの難民救援への協力を、教区信徒協名で教区報に広告を出すなどの意見が出た。

★ことしの第一回結婚講座は一月二十六日(土)二十七日(日)、三十一日(木)分が終了したが、出席者は八人であった。引きつづき、二月二日(土)、七日(木)、九日(土)午後七時から、開講が予定されている。

★一月二十七日午後一時半から、福岡地区青年の集い(成人の祝賀会をかねる)が司教館新館であったが、約四十人の出席者。

★カテケージス研修会(教区担当ラミーレス神父)が二月十日午後一時三十分から、浄水通カトリック教会で行われる。ビデオ「ルカによる福音」からのカテケージスについて研修の予定である。

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想
石の大御影
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

目の目をみた基山教会の「グァダルペの聖母」

昨年の十二月十二日午後七時から、鳥栖教会所属・基山巡回教会で、「グァダルペの聖母」を讃える感謝の祭儀が行われた。

当日は、メキシコ出身の日田教会主任バルカッサル神父様をはじめ、地元のマグリン神父様（鳥栖）、サルディ神父様（武雄）、ルッチ神父様（鹿島）方による共同ミサに、クララ修道会のシスター および県内各地の教会から約八十人の信者有志が参加した。この日はメキシコにおいて聖母が一人のインディオにご出現になってから、四百五十三年目の記念日に当たるというだけでなく、基山教会に伝わる一枚の見馴れぬ聖母の御絵が、宣教クララ修道会のシスター方の目にとまり、奇しくも「グアダルペの聖母」の御名があがめられるようになった記念すべき集会でもあった。ごミサのあとのスライドによる物語りは、およそ次のようなものであった。

――グァダルペの聖母は一五三一年、メキシコの郊外の丘で、ミサに急ぐ一人のホアン・ディエゴという敬けんなインディオに御現れになった。四回目のご出現のあと、彼は司教様に届ける証拠のバラを戴き、それをマントに入れて司教館に走き、自分の見たことや聖母マリアのメッセージのことなど全てを話した。そのときホアン・ディエゴは花を入れてきた白いマントをひろげた。すると色とりどりのバラが床に落ち、マントに神の母・終生乙女なるマリアの尊いみ姿が突然現われた。そのマントに写し出された聖母の御姿は今日でもなお、グァダルペとよばれるテペヤック大聖堂に保存されている。

さて、基山巡回教会は、鳥栖教会から北へ車で10分、園部村の由緒ある中村家と棟続きに造られた聖堂である。昭和初年、仏教徒からカトリックに改宗した信仰の勇者中村永七氏等三人の血をひく揺籃の地としても知られる。

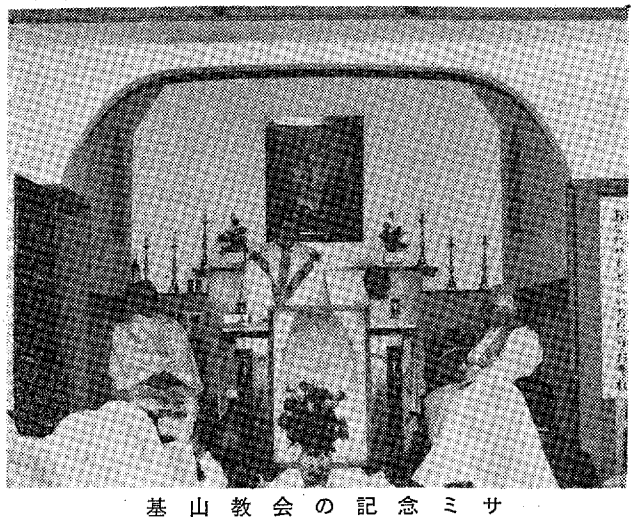
ことの起こりは、こうであった。現在同地に住む二代目中村基吉さん（七八）の妹に当たるカヨさんが、昭和八年一足先に移住したご主人を追ってメキシコに渡り住んでいた。二十五、六年前の或る日、カヨさんの、日本へ旅立つ乗客に一枚の聖母の御絵を託したものが中村さん宅に届けられた。中村さん一家は、初めて見るインディオ風のマリア様に首をかしげながら見入っていたという。特に説明もなかったため、そのまま聖堂の控え室に掲げていた。やがて時が経ち、月が流れ、マリアさまの額にも埃がつもるようになっていた。御摂理とは不思議なものである。そのころ、ミラノ外国宣教会が、佐賀県の布教のお手伝いをしてほしいとして、丁度八年前お招きした修道会が奇しくもメキシコを発祥地とする「御聖体の宣教クララ修道会」であった。同会は、グァダルペの聖母を保護の聖人に戴く修道会である。

四年程前のこと、県内各地を廻っているクララ会のシスターが、グァダルペの聖母の御絵を基山教会の信者さん方に配っていたところ、「うちの教会にもこのマリア様に似た御絵があるよッ！」聞かされびっくり仰天。まさかと思いながら薄暗い教会の二階の控え室に案内されたシスター方は、果たしてまぎれもないくだんの「グァダルペの聖母」（60×90㎝）の御絵に思わず息をのんだ。――中村家の信仰をじっと見守ってきて下さったマリア様！それは夢にも忘れることのない、慈み深いマリアさまとの久しい対面であった。シスター方はこみ上げる感動を静かに押さえながら、遠く太平洋を渡ってきた聖母に感謝の祈りを捧げたのであった。久しい間淋しく保存されていた一枚の御絵が、こうして最も身近なシスター方によって三十年ぶりに日の目をみることになったのである。いま基山教会の人々は、一層熱心な信心をもって聖母を讃美している。その後、毎年聖母ご出現の日を記念して感謝のごミサが捧げられるようになったという。

×　×

なお「グァダルペの聖母」のご絵を希望される方は、返信用封筒を同封し左記へお申し込み下さい

〒840 佐賀市大財五丁目五―十七
御聖体の宣教クララ修道会宛
（佐賀・牧山満女記）



基山教会の記念ミサ

昭和59年度街頭募金（福岡地区）

募金額		配分額	
大名町教会	100,000	今村聖母園	120,000
淳水通 〃	23,361	古処学園	80,000
光丘 〃	167,168	清心慈愛園	80,000
西新 〃	169,479	聖ヨゼフ園	80,000
美野島 〃	31,300	久留米天使園	80,000
高宮 〃	205,309	北野学園	80,000
老司 〃	61,044	第二北野学園	80,000
吉塚 〃	49,540	菊池園	80,000
茶山 〃	65,021	信愛会篠栗荘	80,000
箱崎 〃	150,786	福進会富の里	80,000
大楠 〃	51,186	朝倉老人ホーム	80,000
筥丘 〃	148,230	しいのみ学園	80,000
二日市 〃	70,000	心身障害児守る会	80,000
大牟田 〃	25,322	福岡教誨師会	80,000
今村 〃	192,408	カリタス・ジャパン（アフリカ難民救済）	
本郷 〃	104,600	直送	195230
小郡 〃	48,750		659,587
福岡海星女学院	212,886	地区困窮者	95,000
明光学園	152,212	諸経費	24,310
サンスルピス大神学院	105,525		
合計	2,134,127	合計	2,134,127

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人　山田成章
電話092—522—5139
振替口座　福岡3-42981
定価　一部　25円

祈禱の使徒会
(一般)家庭の権利と義務の尊厳
(布教)第三世界の出稼ぎ労働者

他教区との交流を大切に
教区司牧評議会の設置を検討
司祭評議会の議事報告

二月五日午前十時半から、第二十八回司祭評議会が司教館新館ホールで開かれた。

平田司教以下十七人の評議員が出席し、つぎの議題を検討した—

一、「福音宣教の基本方針と優先課題」の具体化について

イ、教区司牧評議会の設置について—宣教の基本方針と優先課題の直接の具体化ではないが、その小さな一歩として具体化を審議する機関が必要ではないか、教区司牧評議会の設置については、教区民が一丸となって宣教・司牧に従事し、司教・司祭・修道者・信徒が一致連携して宣教共同体として歩む必要があるから、と説明があった。評議会の大勢は設置に賛同したが、司牧評議会の位置づけ、性格、目的について、また、司祭評議会、修道女連盟、信徒協との関係など問題点が残されているので、今後の検討課題として継続することになった。その検討資料は他教区の司牧評議会の規約を参考にする。さしあたり、事務局の手で教区の現状を配慮した司牧評議会の規約試案を作成し、次回の司祭評議会で検討する。

ロ、国の内外を問わず、司祭の研修視察のため他教区との交流を考える—宣教共同体の活性化のためには、他を知り己れを知ることが大事と思う。井戸の中の蛙のように、ひとりよがりと無知が活動の大きな障害となり得る。宣教者の成熟とエネルギー源確保のためには、相手教区が好意的に許可する限りにおいて、他教区の研修会・黙想会への参加、視察などによる自己脱皮と意識革命が求められるのではあるまいか。さらに、教区内の小教区相互の宣教・司牧の分かち合いの必要性についてはいうまでもない。これらの交流については司祭をはじめ教区民すべてに応用してみることができると思う。この項には異議なし。

ハ、その他の具体化について—司祭職への召命こそ目下の急務であることを真剣に考え、その対策を打ち立てるようにとの提案があった。最近の教区大・小神学生の減少傾向と司祭の高齢化問題を重ねてみるとき、司祭の養成事業が教区創立時から今日まで常に教区の大使命であることに変わりはないのではないか。司祭の飽和状態ということは現在、未来にわたって考えられない。司祭不足の時代を歩いているが、それだけに危機感を深める必要がある。神学生の養成には、時代的背景を考慮した温かい指導と信頼関係の維持が不可欠であろう。

二、教区司祭集会の在り方—

集会の内容は、講話—分科会—全体会の順で構成する。

時間は午前十時半から午後三時半までとし、この枠内で内容を消化して行く。

集会を効率良く進めるために、分科会のテーマをあらかじめ準備する。また、全体会の司会者、分科会の司会者と書記の担当を事前に決めておく。

講師に関しては、教区内外のしかるべき人物に依頼する。三月五日の集会の講師には、京都教区長田中健二司教が決定し、「他宗教との対話」について講話がある。

三、教区司牧の年間テーマ—

小教区や地区レベルでの司牧スローガンがあっても、教区レベルの年間目標をかかげることは有意義であり必要でもある。一九八五年度の教区司牧の年間目標は「私たちは宣教共同体」に決定した。

四、国際青年年について—

青少年担当司祭の出張経費は、教区の費用から支払う。

ことしの適当な時期に、一案として十一月九～十日頃教区青年大会を開催する。

五、その他

前回の継続審議の議題であった前原教会の設立問題——司教の説明では、信徒からの盛り上がり、自分たちの教会は自分たちの手でつくるという意識と情熱のもとに歩まなければならない。土地建物の物色の前に、信徒のこの意識の養成が大切である、と。それに対して宣教・開拓に関する教区のヴィジョンと援助に対する姿勢を明確にすること、宣教の視点から、前原教会の候補地の下調べと確保への前向きの態度が望まれた。

神学講座
(昭和60年第1学期)

1．講義科目、担当講師
聖体祭儀についての考察
みことばの祭儀感謝の祭儀についての実践的な解説、聖体の信心についてなど
福岡サン・スルピス大神学院
ラブラント神父

2．講義期間
4月9日～6月25日までの
毎週火曜日

3．講義会場、時間
福岡市中央区浄水通39
司教館新館5Fホール

4．聴講料
(全期間)
(1回)500円×12回=6,000円
当日会場で受付ける。

三月の聖体礼拝当番教会

三月　三日　荒尾
三月　十日　人吉
三月十七日　本渡
三月二十四日　健軍
三月三十一日　司教館

微光

ポカポカの陽気の後の寒波襲来で、思わぬカゼの贈りものを頂いた。いま、最悪の状態で重いペンを走らせている。冬枯れの司教館の敷地内に、水仙が花を見せはじめた。欧州・東アフリカ原産である水仙は約三〇種あるそうだが、ここの白色水仙はごくありふれた花で所謂庶民的な仲間らしい。それだけに、どことなく親しみやすい。寒風にもめげず、しっかり腰を延ばして咲く姿は小憎らしい。単調な花茎の先に寄りそうように咲く三個位の六枚づつの花びらは、商店街のシャンデリア街灯を思わせる。白い花の中央にある黄色の杯状副冠とのコントラストは、すばらしいファッションセンスではあるまいか。シンプルな装いの中にも、自己主張を忘れないナウい花であろう▼自然界の装いに春の息づかいを感ずるとはいえ、人間の服装はなかなかふり構わぬ完全装備の域を出ていない。道行く人も心なしか、重苦しい前傾姿勢で足早やに過ぎ去るようだ。人間の体に、春はまだ遠い。四旬節に入った現在、毎日のミサに一部の祝日を除いて紫色の祭服が使われる。紫色の意味は悲しみや償い・犠牲の自覚と実践を教えているが、もっと高貴な側面を考えてみたい。この王者の色はキリストとの出会いの大切さ、そのための霊的刷新を説くものである。心にキリストを着る人は、紫衣をまとう最高のセンスの持主というべきであろう。紫色は、限りなく喜びに近い。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長　瀬戸福一
北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
ELT　北九州(093)671—8211
福岡市博多区堅粕4丁目1—12　嶋井ビル2F
TEL　福岡(092)471—0245(代)
管制センター　TEL　福岡(092)471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話　52—3306
52—8622

教区の信徒総数三万一五二人

日曜ミサ参加一万一、二八四
復活祭参加者一万六、八〇二

一九八四年度の福岡教区信徒総数（左表の総数に司教・司祭・修道者・神学生・居所不明数を加えたもの）は三万一五九人に達するが、その中に居所不明三、二九九人がいるのは残念である。依然として迷える羊は多い

一九八四年度の洗礼数ははは六五七人、前年の七四四人に対して八七人の減である。子供洗礼四〇〇人（前年四四四人）、大人洗礼二五七人（前年三〇〇人）で減少傾向にある。求道者数は七六九人（前年度七三六人）であるが、修道会経営の学校の生徒がかなり含まれているようだ。

日曜日のミサ参加者一万一、二八四人（前年度一万一、一三七）に対する復活祭参加者は一万六、八〇二人（前年度一万六、二四一人）で、五、五一八人（前年度は五、一〇四人）の差が出ている。これは、日曜ミサの義務感が薄れた結果とみるべきだろうか。行楽気分が信仰に優先していなければ幸いであるが、真の意りの原因はどこに考えたらよいのか。

世帯数は八、七五五戸（前年度八、七三八戸）のうち、福岡・北九州地区では少し減り、熊本・佐賀地区で微増している。これはふるさと志向と関係があるのか、面白い現象と思う。

婚姻は二六二件（前年二九六）で、信徒間三六、混宗婚姻二二六である。

転入について、教区内七三〇人教区外七三九人計一、四六九人。前年度九八四人に対し四八五人増になる。

転出では、教区内六三四人教区外六七九人計一、三一三人。前年度一、四一四人に比して、一〇一人減である。

死亡者一七七人は、前年の一五三人より二四人増。

居所不明者では、熊本地区二八九人、佐賀地区一三三人、北九州地区八九二人、福岡地区二、〇三五人計三、二九九人であるが、前年の三、三六九人中の熊本地区二七四人、佐賀地区一三〇人、北九州地区九二一人、福岡地区二、〇四四人の横バイ状態がみられる。とくに、福岡地区は北九州に比較して居所不明者の多さに驚かされる潜伏キリシタンの牙城。

信徒実数（信徒総数から居所不明を差引いた数字で確認数）は二万六、一八五人（昨年度二万六、三一八人）で、地区別では熊本四三一九人、佐賀一、八三四人、北九州一万四一六人、福岡九、六一六人の信者構成になる。

司祭数では、外人五四人（前年六一人）、邦人教区司祭三二人は前年と同じであるが、外人の退潮が目立つ。小神学生の激減ぶりには反省させられる。前年度四八人から十二人、そのうち教区神学生は三〇人から十一人、その他の神学生は十八人から一人に残っている。大神学生もやや減、五一人（前年五五人）中、教区神学生は十二人（前年十人）、その他は三九人（前年四五人）。

明るい数字は修道女である。五三一人（前年五三〇人）中邦人四三人（前年四三八人）と志願者六九人（前年六二人）。

幼稚園・保育園児数はきびしい状況にある。男子園児四、六一八人（前年四、九七六人）、女子四七五四人（前年五、〇四七人）。

青年会とその会員は関係者の自覚と努力によって躍進の方向にある。青年会三二（前年十七）、会員五〇八人（前年一八九人）の組織作りは、教会の未来に大きな希望を与えている。

アフリカ難民献金

久留米聖母幼　三五、四四七円
高宮カト・幼　二〇、〇〇〇円
カ・聖クララ幼　四二、五七七円

福岡教区教勢

（1984年1月1日～12月31日）

教会名		洗礼 子供	洗礼 大人	洗礼 臨終	求過者	世帯数	婚姻 信徒間	婚姻 混宗	信徒実数	上徒簿名の数	所居不明
福岡地区	茶山	8	1	0	5	110	0	2	457	457	0
	大名町	15	12	3	25	310	3	20	618	1,103	485
	二日市	6	2	0	4	72	0	1	330	346	16
	箱崎	4	9	0	3	38	2	1	236	278	42
	笹丘	9	7	0	25	135	0	5	573	614	41
	光ケ丘	19	7	0	2	201	1	6	558	818	260
	本郷	14	2	0	4	114	2	7	620	657	37
	今村	6	3	0	5	220	2	9	1,019	1,055	36
	浄水通	2	0	0	215	104	1	15	205	208	3
	古賀	10	3	1	2	134	1	2	445	445	0
	久留米	20	17	0	20	300	4	17	720	1,239	519
	馬渡島	7	2	0	0	87	1	0	457	458	1
	美野島	0	0	0	7	31	0	2	77	117	40
	西新	24	0	3	7	220	0	10	813	1,045	252
	小郡	2	0	0	0	87	0	3	270	279	9
	大楠	5	6	2	0	25	0	1	82	82	0
	大牟田	4	6	1	11	82	0	2	184	280	96
	老司	12	6	0	33	160	0	4	448	456	8
	高宮	0	4	0	3	250	0	6	553	553	0
	呼子	12	0	0	0	99	0	2	356	356	0
	吉塚	7	4	1	7	214	0	5	595	805	210
	計	186	91	11	378	2,994	17	120	9,616	11,651	2,035
北九州地区	八王寺	5	1	0	8	84	0	0	200	231	31
	飯塚	0	2	0	0	40	0	1	234	234	0
	小倉	31	48	0	90	945	5	23	2,425	2,479	54
	黒崎	21	9	0	9	448	0	5	1,295	1,320	25
	水巻	4	2	0	6	195	0	2	601	626	25
	門司	5	2	0	51	191	0	4	460	465	5
	門司港	15	3	0	6	48	0	1	148	159	11
	直方	1	0	1	1	50	0	0	147	147	0
	新田原	26	2	19	1	421	5	5	1,673	1,716	43
	田川	1	1	1	5	52	0	2	176	200	24
	天神町	4	1	0	7	129	0	4	316	327	11
	戸畑	16	17	0	75	262	3	4	863	1,402	539
	若松	1	3	0	3	71	0	1	374	373	0
	湯川	11	1	0	7	280	2	8	923	974	51
	行橋	10	6	0	1	150	0	4	581	654	73
	計	151	98	21	270	3,366	15	64	10,416	11,308	892
熊本地区	荒尾	0	4	0	12	49	0	0	94	94	0
	吉人	1	1	0	4	51	0	0	228	232	4
	渡本	0	1	0	0	36	0	0	171	171	0
	軍健	6	0	0	8	178	0	1	451	453	2
	池菊	2	5	0	2	46	0	0	103	109	6
	侯水	2	2	0	3	66	0	0	156	178	22
	山帯	2	2	0	2	94	0	1	306	354	48
	江大	1	1	1	4	122	1	2	392	446	54
	津崎	0	0	0	3	100	0	0	300	303	3
	崎島	3	3	4	4	141	1	5	425	431	6
	名玉	2	0	0	3	35	0	2	102	106	4
	取手	10	21	6	30	530	1	14	1,020	1,095	75
	代八	1	3	1	8	79	1	1	206	271	65
	武蔵ケ丘	3	0	2	10	164	0	0	365	365	0
	計	33	43	14	93	1,691	4	26	4,319	4,608	289
佐賀地区	伊万里	6	3	0	5	75	0	4	185	214	29
	唐津	2	0	0	0	133	0	3	420	426	6
	鹿島	0	0	0	0	36	0	0	54	87	33
	佐賀	11	15	18	16	250	0	4	667	684	17
	武雄	1	3	0	2	40	0	1	104	142	38
	多久	4	0	0	1	39	0	0	115	119	4
	鳥栖	6	4	2	4	131	0	4	289	295	6
	計	30	25	20	28	704	0	16	1,834	1,967	133
合計		400	257	66	769	8,755	36	226	26,185	29,534	3,299

（注）　司祭・修道士・修道女・神学生は含まれない。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

第二回結婚準備セミナーへのおさそい

今年の第一回結婚準備セミナーには、福岡四カップル、熊本二十一カップルの参加がありました。参加カップルの声も一部掲載しますので聞いてあげてください。

ところで昨年夏、日本カトリック司教団は「生命・神の賜もの」を発表しました。その中に、〝結婚の尊さについてのカトリック教会の教え〟があります。結婚準備セミナーは、教会で結婚式を挙げて頂くための形式的な条件として行われているのではありません。ですから、新しい人生を始める前の準備として、必要なことを誠実に学ぶ責任があることを忘れないようにしてください。そして、これらに関する信徒夫婦の役割・司牧者の役割もうたわれています。このような意向のもとに、カップルのもっと幸福な結婚の心の準備を願って行われるセミナーです。カップルの参加を呼びかけてあげることも、私たちの役割かと思いますのでよろしくお願いします。

第二回日程

〈福岡〉

4月11（木）13（土）14（日）18（木）20（土）25（木）

木・土　午後七時～九時十五分

日曜日　午後一時半～六時

会場　福岡市中央区浄水通三九

福岡司教館新館五階

申し込み先　福岡司教館TEL〇九二―五一三一―五一三九　または光ケ丘教会TEL〇九二―五八一―〇五七〇

〈熊本〉

4月10日（水）12（金）17（水）19（金）21（日）24（水）

水・金　午後七時～九時十五分

日曜日　午後一時～五時四十五分

会場・申し込み先　熊本市上通町三―三三手取カトリック教会TEL〇九六―三五二―三〇三〇

――参加者の声より――

▼セミナーに参加するまでは、結婚することだけしか考えていなかった。自分たちの相互理解が一番必要なことなのに、周りのことにふり廻されてばかりで、お互いのことを考える時が殆んどなかったので、セミナーの参加によって、これからの結婚生活に入るための準備として考えさせられ、真剣になりました。大変有意義だった。有難うございました。（女性）

▼非常に楽しく参加させて頂きました。ふだん二人の間に出ないようなテーマについて話しあい、互いの理解が深くなったような気がいたします。（男性）

▼はじめに考えていたものとは全く内容が違っていました。第一日目より、とても充実した内容で楽しかったです。毎回楽しみにしてきました。たまたまこの講座に参加したのではなく私たちは選ばれてきたのだということを心に、この先もこのセミナーで得た大事なことを糧にして二人で力を合わせて生きて行きたいと思います。また、私たちの後輩にもぜひこのセミナーに参加するようにすすめたいと思う。（女性）

ちなみに、このセミナーに参加するカップルの大半は、未洗者の人たちです。その彼等が、結婚という大切な節目を前に、神のみことばに触れ、味わい、宗教心、価値観に心をとめるチャンスを得るということは、私たちの福音宣教の一端でもあると思います。

（当セミナー担当ライル神父）

児童福祉の日献金（1月27日）

名水町通	108,267
浄ケ丘	10,000
光丘	61,541
大橋	6,540
箱崎	20,000
新宮	26,782
島	39,685
野	7,800
美	17,472
高	66,400
老	21,532
吉	19,126
志	3,715
古賀市	40,531
二日市	32,000
久留米	48,495
大牟田	15,000
今村郷	93,540
本郡	36,165
小方	12,999
直原	23,700
新田	56,264
行橋	15,300
浮羽	12,560
佐賀	20,000
唐津	10,000
伊万里	7,930
鳥栖	34,074
武雄	9,500
多久	3,380
松浦	5,500
福司	20,059
門港	16,550
小倉	100,396
湯川	37,657
畑	77,994
若松	12,076
天神	47,623
黒崎	51,700
八王寺	21,310
水巻	45,500
飯塚	34,025
田川	10,000
手	22,130
荒尾	12,500
人吉	14,140
本渡	53,100
熊本	160,000
健軍	39,390
水俣	4,710
大津	37,000
崎津	39,000
昌玉	15,500
菊池	7,000
八代	16,950
武蔵ケ丘	47,893
明光学園中・高	40,000
大橋カト・幼	50,000
ロザリオ幼	143,549
雙葉幼	62,878
〃〃小学校	200,826
〃〃中・高	258,458
小倉カト・幼	202,537
宮ノ尾〃	51,756
福岡フランシスケン修	10,000
海星学園幼	10,000
海星女子学園	69,288
真方平和幼	22,300
茶山カト・幼	13,330
久留米信愛幼・高・短大	100,000
ロザリオの園老人ホーム	15,552
大濠幼稚園	56,242
フランシスケン入吉幼	100,000
門司聖母幼	46,161
福岡カト・幼	54,888
吉野天使園	51,500
湯川カト・母の会	28,226
湯川聖母園保護者会	5,000
久留米聖母幼	120,723
水巻聖母幼	60,000
若松天使園	108,354
多久カト・幼	37,128
吉塚カト・保	10,000
伊万里カト・幼	10,000
古賀暁の星幼	122,930
行橋カト・幼	123,630
二日市カト・幼	37,538
聖ヨセフ幼	207,286
菊池聖母幼	75,000
八代白百合学園幼	62,611
西新カト・幼	45,500
鳥栖カト・幼	59,041
明光幼稚園	73,408
熊本聖母愛児幼	90,462
唐津カト・父母の会	30,000
唐津カト・幼	26,354
聖クララ幼	200,000
田川カト・幼	142,743
合計	5,065,196

二月二十一日午後一時半から、大名町司教座教会の起工式が現地で行われたが、約一五〇人の参加者で盛大な出発進行となった。平田司教をはじめ各地区の代表出席は、この建築に対する期待の大きさを物語っているように思われた。大成建設（株）も、市内目抜き通りの近代建築物に恥じないだけの工事を果たしてくれることであろう。着工がやや当初予定からずれているので、年内完成はむりかもしれない。おそくとも新春には、落成の喜びを持つのではあるまいか。工事の安全を祈る。

▼イエズス会経営の泰星高等学校が、二月二十三日、第三十六回目の卒業式を迎えた。午前十時、君が代斉唱で始まり、一六七人の生徒に大野校長から卒業証書が授与された。病気療養中の同校長は、今学期限りで辞職が決定していることもあって感慨深いものがあったことだろう。

▼二月二十八日午前十時から、福岡教区司祭有志の一日黙想会が黙想の家で開かれた。ことしは「国際青年年」でもあり、若者の信仰養成というテーマを設定して祈りと分かち合いの一時を過ごす。二千年前のイエズスは当時の若者に何を訴えたか、また同じイエズスは現代の若者に何を望むのか、あるいはイエズスは司祭として選んだ私を通して、若者に何を伝えたいのか、若者に関心を持つキリストと私の思いは一つであるか、このような事柄を探り分かち合う貴重な一日であった。平田司教も激励にかけつけ、五時の召命のミサを参加者一同とともに捧げた。

▼明治学園の第十四回美術展が、二月十二日から北九州市小倉北区の小倉玉屋八階催場で催され、大好評を博した。展示品は美術、書道を中心にしたものであったが、高校生とは思えない力作が多く、観覧者の足をしばしば止めた。

▼三月十七日午後二時から、助祭叙階式が浄水通教会で行われる。福岡教区では、久しぶりの盛大な喜びの聖式に関係者の期待も大きい。今村教会出身の青木悟、平田三好、小倉教会出身の川上惣一、佐賀教会出身の桜井尚明の諸師が助祭に挙げられる。このまま進むと、来年のいまごろは四人の司祭誕生になる。神に感謝しよう。

☆カテドラル建設資金に

一金　二十万円也　志村清雄さま（故志村醇一氏の香典返し）

一金　六十万円也　平田正喜神父（母堂故ナカ様の香典返し）

会合と催し

☆平田司教区全司祭の集会
3月5日　教区全司祭の集会
16日　大神学院の運任式
17日　助祭叙階式　午後二時（浄水通教会）
24日　茶山教会堅信

☆福岡黙想の家
3月16～17日　新田原教会黙想会
20～21日　興村師の聖書研究
25～29日　聖アウグスチノ修道会の黙想
30～31日　カトリック光丘幼稚園教諭の黙想会

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

肥前歌集

「歌枕名寄」にみる馬渡島

牧山満安

昨年夏、武雄市に住む歌人園田節子先生から「馬渡島の歌を見付けました」と嬉しい手紙をいただいた。私はこれまで古里が歌に詠まれたものを寡聞にして聞いたことがなかっただけに、それは大変な発見であり、すこぶる好奇心をそそられたのであった。

園田先生は唐津のご出身で、玄海の島々の歴史についてもくわしい。東京女高師を経て大村高女、唐津高校で国文を教えられた経歴をお持ちである。茶道・華道を嗜み、短歌「姫田理」の同人として知られ、佐賀新聞歌壇の選者としも親しまれている。私はかつて、佐賀新聞社に勤めていた関係で知り合うことが出来た。また、さきの「佐賀教会八十年史」の中の「キリシタン歌人・森与重」のエッセイも先生の好意による特別寄稿であった。昨年出版された「園田節子歌集」には、キリシタンを詠んだ歌が何故か多いのに驚かされた。信者である我々すら及ばぬ確かな信仰の目は、読む人に清烈な感動を与えずにはおかない。

さて、私は早速その歌の出所について尋ねた。折返し返事が届いた。『おたずねの馬渡島の歌は「肥前懐中集作者未詳」と「歌枕名寄」に載っています。歌枕名寄は江戸初期の本で、私は佐賀大学の米倉先生の研究室で見せていただきました』私は夏の昼下がり汗を拭き拭き、先生の研究室を訪ねた。米倉先生は親切に書架から件の本を取り出し、馬渡島の歌の部分を聞いて下さった。

海松和布浦　斑嶋　或哥肥前国立之　題昭歌枕当国入之

懐中

あまのかるみるめの浦にしら雪のまたら嶋にもふりかゝるかな

と詠まれていた。あまのかるは、海女の刈る、であろう。みるめの浦のみるめは、海草のミルの異称で海松布と書き、「見る目」にかけて和歌に用いると辞書にある。うっすらと白雪のかかる馬渡島を一望の中に納めて、島の人々の素朴な営みが大らかに詠まれ、一幅の絵を眺めているような気がする。歌人が詠めば、何の変哲もない玄海の島もかく程美事に浮き立つものかと驚いた。詠み人は未詳である。因みに後に続く歌には清原深養父、南禅寺入道前太政大臣、後鳥羽院などの高官が名を連らねているところをみると、身分賤しからぬ歌人であったに違いない。

後日、馬渡島の学校校庭か、島の中心に歌碑でも建つことになれば望外の喜びと思うのではあるが——。（筆者・佐賀教会信徒）

マリア平田ナカさん

（平田正喜師の母堂）

二月一日正午まえ、老衰のため福岡県三井郡大分洗町本郷の自宅で永眠した。八十九歳。

葬儀ならびに告別式は三月三日午後一時から、本郷教会でしめやかに行われた。

会葬者は平田司教や平田正喜師外十四人の司祭による共同ミサで故人の冥福を祈るとともに遺族の上に神の力添えと慰めを願った。

亡くなったナカさんは前年三月に、夫善四郎さんと死別していたが、恵まれた十一人の子の中から二人の聖職者を献げた。神の喜びの声を聞いていることだろう。

福岡教区第24回クルシリヨ

1. 日時　5月3日(金)午後7時～5月6日(月)午後4時
2. 場所　福岡黙想の家
3. 参加費　8,000円（宿泊、食事、用品代）
4. 申し込み先
教区クルシリヨ事務局
（〒803北九州市小倉北区中井4—7—7～204 佐々木信幸）
TEL　093—582—1654

（注）申し込みのしめきり　4月24日まで

三月命日の司祭

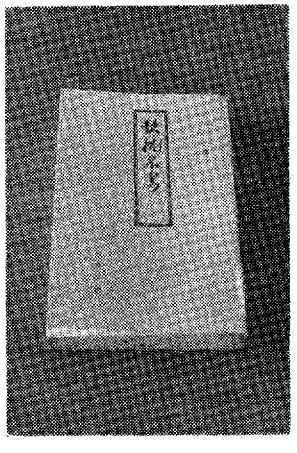
▼ユウゼーヌ・ジョリ神父（パリ外国宣教会）一九六六年三月六日元久留米教会主任

▼フランソワ・マリ・ヴェイヨン神父（パリ外国宣教会）一九七三年三月十二日元唐津教会主任

▼ルイ・マリ・ベリボ神父（ドミニコ修道会）一九七七年三月十六日元諸崎教会主任

▼マキシム・ボネ神父（パリ外国宣教会）一九五九年三月十九日新田原教会主任

▼ジェームス・ドイル神父（コロンバン宣教会）一九六二年三月二十六日元荒尾教会主任



歌枕名寄

移動信徒を迎えるにあたって

三月には、多くの若人が進学や就職のために故郷を巣立って移動してくる。全国に配置されている国内移動信徒担当者（福岡教区・竹森勇神父、シスター川口、シスター沢）は、このように移動する若者信徒が移動先の教会にスムースに定着できるように手伝う役目を持っている。その一環として二月九日～十四日まで、担当者は最も転出者の多い長崎県上・中・下五島、長崎市内を廻り、十七日には、福岡市内の青年九人とともに平戸地区を廻って、転出予定者と面接して都会の教会の様子や持つべき心構え、転出転入の手続きなどを説明した。

長崎地方の若者の多くは、地域ぐるみ・家族ぐるみの信仰に護られているが、都会に出、未信者の中に独りで信仰を守り育てるのは容易なことではなく、教会から離れてしまう原因にもなっている。このような不幸な結果にならないよう、教区の皆様方にもご協力をお願いします。教会で新顔を見つけたら、神父さんや青年会に紹介してあげてください。新しい兄弟に淋しい思いをさせないように、暖かく迎え入れ、互いに助け合って信仰を深め、とくに今年は国際青年年でもより若い力を大いに発揮させてほしい。教区の司祭・信徒のみなさん、よろしくご理解とご協力を。

（教区移動信徒事務局）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 552—8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) スラブ諸民族の信仰
(布教) アジア諸国の教会

司祭の体験と学習を通して
「他宗教との対話」を考える
相手を知り学ぶ姿勢を大切に

三月五日、教区司祭の集会が司教館で開かれ約四十人が参加したが、これは「他宗教との対話」についての一日研修であった。

十時半、京都教区長田中司教の講話ではじまった。諸宗教委員会委員長であり、宗教の中心地京都での豊富な他宗教との関わりをもつかれの話しは、興味深くまた同時に啓蒙的な示唆にみちた内容になっていたようだ。

自己紹介のあと、「この集会では講話の後いくつかのグループに分かれて討議するとのことであるが、私はまとまった話しをすることはできないが、少しでも参考になればと思って小パンフレットを持参した。『諸宗教との対話』というもの。日本の宗教界には二つの流れがあって、一つは世界連邦宗教委員会、もう一つは世界平和宗教者会議である。この世界連邦宗教委員会がバチカンに二、三泊し研修した結果をまとめたのが前述の『諸宗教との対話』という本である。

日本では無宗教と答える人が多いが、宗教的には欧米のように個の立場が大切にされていない。むしろ家主体の宗教になっているので、宗教についてはあまり知らないのが実状である。仏教についても軽々に話すことはできないが、相手と交際するには、失礼にならない程度の知識を持たなければなるまい。神の概念についても、カトリックの神と同一視することは不快感を与えることになる。かつてわたしは、伊勢神宮の道場の指導者から、カトリックの神と同一に八百万の神を解釈されて迷惑していると小言をいただいた。また、仏教には術語が多い。仏教者との出会いにおいて、そのヒエラルキアやいろいろの宗派に対する無知が大きな障碍になっている場合も多い。神職や僧侶の階級も多種多様にある。これらの一助として『ビジネスマンのための仏教入門』、『宗教がわかる事典』をおすすめしたい。

神道について少し述べてみる。神道には祭型（神社）神道と教理（教派）神道がある。日本には八万の神社があるそうだが、その一つ一つの神社に氏神さまがまつられているという。氏子は氏神さまを中心に共同体を形成し、脱退者は村八分の憂目にあう。皇室と神社との関係は深く、一般に皇祖をまつる神社は神宮と呼ぶ。正月の初詣でをした田中司教は、行先の石清水八幡宮の宮司との友好的な出会いを語った。これらの神社神道の中には、宗教的な対話を積極的に行う教団とあまり関心を示さない教団とがあるようだ。

「長い伝統の中に生きてきた日本人の心は、簡単には変わらないと思う。相手に気まずい思いをさせては失礼にあたるから、否定の言葉を余り使用しない。京都辨にその一例を見ることができる。『今晩宴会に行きませんか——それは結構ですネ、しかし、私一寸考えさせて頂きます（実際は行きませんの意）』この優雅なやりとりの中に、やんわり拒絶を示す。他宗教との対話においても、この日本人の精神構造を頭に入れておく必要があると思う」。

教派神道の中でも、多くの教派を見ることができるが、教団レベルで対話できるのはそんなに多くないらしい。いろいろの教派が紹介されたが、ここでは割愛する。ただ「徳川三百年の平和の世に、二百五十年にわたるキリシタン迫害があったのは事実である。そこから何とはなしに、日本人の心にキリシタン嫌いの血が流れていたが、パパさま、マザー・テレサ、ワレサ氏などの訪日によってキリシタンへの偏見と誤解が薄らぎ、他宗教との対話が促進されたことは結構なことである」、と田中司教は結んだ。

中食後一時から、四つのグループに分かれて討議に入った。三時の全体会における発表では、ⓐグループは他宗教との対話の具体的な体験から出発し、それについての考え方の分かち合いをした。はだか祭りへの参加、ミラノ宣教会の年一、二度の学習会（朝祷会や神道についての研究会）、寺院への観光、幼稚園園児の葬式・通夜での僧侶との交わりを話した。他宗教との対話の必要性を感じながらも限界があるような気がする。神の観念、自力・他力の違いについて理解がむつかしい。他宗教との対話の研修会がもっとほしい。対話の心構えの大切さを述べるとともに、幼稚園・保育園事業を通

（第二面につづく）

四月の聖体礼拝当番教会

四月 七 日 大名町・菊池
四月 十四日 浄水通・水俣
四月二十一日 光ケ丘・帯山
四月二十八日 西新・大江

司祭異動

▼兼務を解く 山田成章（兼老司主任）▼老司主任 竹森勇（福岡小神学校校長）▼福岡小神学校校長 川口康顕（司教館）▼司教館 牧山重光（人吉主任）▼人吉主任 オーファレル（コロンバン会東京本部）▼パリ外国宣教会北九州（八王寺）本部 徳山登（天神町主任）▼天神町主任 デシャンブ（小倉助任）▼小倉助任 下町豊重（福岡小神学校） 略敬称

微光

少し大仰であるが、司教館の構内は緑の宝庫・天然の植物園と思っている。緑一色に何気なく馴れ親しんでいるけれども、注意深く観察の足を運ぶといろいろの樹木に出会う。くろがねもちやくすの木など数本の巨木は、昭和四十八年九月付で福岡市から指定された保存樹木である。その他に、竹や杉の林が一角を占めている。やがて、桜も目を楽しませるであろう。今盛りの椿は前座的な存在か▼松竹梅は日本の優雅な縁起物だが、不思議なことに司教館には竹林しか見当たらない。かつて松や梅もあったようだが、いつの間にか立枯れになったそうだ。俗塵をさけた司教館を竹林七賢にみたてて、遠慮したのかもしれない。竹林は放任された状態であるが、時期が来ればこまめに筍を恵んでくれる。放任と実利の観点からすれば、司教館にふさわしい植物とみなすべきだろう。筍の生産の時だけ、関心をもたれる竹もあわれ▼最近の福音宣教の掛け声は高いが、清談だけで満足する逃避型信者であってはなるまい。生産的な前向きの姿勢を貫くためには、欲ばったプランは必要でなく信頼にみちた小さな希望を持ち続けることだ。日本人は非宗教的な民族だから、と宣教に消極的になるのは敗北のしるしになる。無駄な働きにみえても、キリストの望みに応じ網を投げる意気込みを大切に育てたい。人間に不可能なことも神には可能であることを、真に信じよう。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

司祭職への確な歩みを感じる
新戦力となった助祭四人組

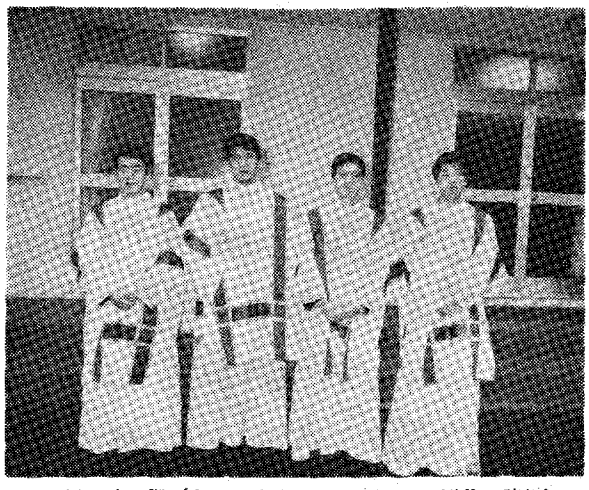
雨天のために参加者の出足が心配された三月十七日の助祭叙階式であったが、式直前には雨も止み四百人を越える信徒で浄水通教会は埋めつくされた。

午後二時、約三十数人の司祭団と平田司教は、四人の助祭候補者とともに賛美歌の唱和のうちに入堂し式がはじまった。いつもの事ながら、大神学生の聖歌奉仕が壮厳な宗教的雰囲気を作ってくれるのはありがたい。

本日の平田司教の説教には、喜びと興奮が伝わってくる。受階者の喜びもさることながら、一挙に四人の助祭の誕生をみた教区にとっては大きな神の恵みである。恐らく司教の脳裏には、一年先の四人の司祭の姿が画かれていたのではあるまいか。

司祭職にかなり近づいた四人の助祭は、司教が差し出す聖書やカリスに触れながら、みことばと秘跡の奉仕者とされた。司教に従順と尊敬を誓うかれらの姿に、三十数年前の感激の場面が浮んだ。喜びの四人は、青木悟(今村)、平田三好(今村)、川上愁一(小倉)、桜井尚明(佐賀)の諸師である。

式後司教館ホールで祝賀会となったが、立食パーティの簡素な形式のうちにもにぎやかな歓談が続いていた。とくに、受階者の近親者の顔は美しく輝いていた。



新　助　祭（左から青木、川上、平田、桜井の諸師）

(第一面から)

としての他宗教との対話が考えられた。他宗教信者との結婚後の洗礼問題、また、他宗教の行事に参加して心の安らぎを感じる信者への対処法、新興宗教への対応、エキュメニズムへの信徒の教育はどうあるべきかなど多くの話題が出た。田中司教の講話から、他宗教への無知の反省と他宗教を知ることの大切さを学んだ。(b)グループは、「祖先と死者についてのカトリック信者の手引」の大切さ、とくに若い信者に必要である。興味がある反面知らない、だから普及させて頂きたい。自分の宗教への再意識の大切さを訴える。他宗教との関わりについては、よく研究している人を通して行う、心の広さ、信仰の成熟さが求められる。祈りの心を深め、信仰の恵みの有難さを自信をもって実践する。カトリック大学の研究グループを通して資料を送って頂き、他宗教との関わりをする。日常生活での対話として、福音宣教の機会である結婚式・葬式のときのカトリック側の積極的な姿勢が必要である。一例として信者の葬式を荘厳に感じさせるため、三人位の司祭の共同司式にすることなど考えてよい。近所付き合いをよくするために、教会の庭や建物を開放することもできる。(c)グループでは、講話を通して他宗教への無知を反省する。他宗教に聞く姿勢が不足していた。新興宗教の魅力について、学ぶ点があるのではないか。生活に密着した信仰の喜びを与える必要がある。社会における小さな愛の実践、例えば共同病室の信者だけのお見舞などは閉鎖的な態度で、同室の他宗の病人にも声をかけてやる。信者非受洗者の結婚における幼児洗礼の問題、家庭における非受洗者への配慮、他宗教の儀式への関わりを通しての対話が必要であるとの意見が出た。(d)グループは、仏教を外からただ知ることだけを考えていた、対話が欠けていたとの反省が出る。神学生時代から他宗教を学ぶ必要がある。他宗教を尊敬する姿勢が大切排他主義的な態度があったので、宣教上持っていた具体的な問題を話し合ってよかった。こういう機会をたびたび持ちたいとの要望もあった。田中司教の講評――各グループのまとめを聞き(これは氷山の一角でもっといろいろの深い意見があったと思う)、皆さんが他宗教との対話に熱心に反応しているのがわかった。討議の中には、私にでも気付かない点も多く教えられるものがあった。とくに、この対話については外人宣教師の関心が高いのに驚かされた。各地の国際会合でもそのことが認められる。司教のセットムはい有え、皆さんの関心が高いことを難く思った。自分の宗教宣伝のためだけにする新興宗教については、相手を識別して賢明に行動する必要があり、体験情報を密にして対応すべきである。諸宗教への無知は皆さんだけでなく私のためにもあてはまる。宣教と対話の調和、対話の神学はこれからで、文化についても同じである。――

祝　賀　会

助祭叙階式

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

会合と催し

☆平田司教
4月4日　聖香油聖別ミサと銀祝司祭の祝賀会11時
聖木曜日夜（大名町）
5日　聖金曜日夜（〃）
6日　聖土曜日夜（〃）
7日　久留米聖マリア病院チャペルの起工式2時

☆福岡默想の家
3月31日～4月2日　海星女子学園幼稚園の研修会
4月2～3日　笹丘カトリック幼稚園の研修会
3～4日　雙葉学園教師の研修会
28～29日　九州地区聖母カテキスタ会の研修会

飛脚

▼長崎市小峰町の聖フランシスコ病院に入院している深堀仙右衛門司教は、三月十九日容体が悪化し危篤の憂つべき状態にある。九十歳の身に加えて、点滴だけの生活が続いている。神のみ旨に沿って祈りを捧げよう。

▼福岡市平尾四ツ角の吉川病院で加療中の平田惣五郎神父は、最近好調であまり人手を必要としない生活になっている。ただし長い病床生活であるため、歩行が困難のようである。木村ミキエさんが毎日通って面倒を見てくれている。

▼本年の福岡小神学校入学者は四人になった。江村俊作（新田原）鈴木一也（今村）平田政夫、橋本康平（二人とも今村）で、泰星中学校の入試の難関を突破して晴れて小神学校に受け入れられた。努力と準備があれば、泰星中学校に入学できることを立証した。確実な入試合格のためには、塾通いも大事な条件のようである。福岡小神学校（校長・川口康頼神父）の神学生総員は十一人だが、学年別の氏名を紹介する――高2谷口雅春（新田原）中村隆志（大島）高1森山兼一（戸畑）中3生田晃朗（唐津）牧山美好（西新）森山治郎（戸畑）鳥羽博文（新田原）中1は前記の四人。

▼三月十六日午前十時から、福岡聖スルピス大神学院聖堂で教会奉仕者・宣教奉仕者の選任式が行われた。主司式者鹿児島教区長糸永真一司教を中心に平田三郎司教や約三十人の司祭の共同ミサで、教会奉仕者二人、宣教奉仕者四人が選任された。福岡教区では、教会奉仕者に山下正、宣教奉仕者に森山信三の両神学生が選任の恵みをいただいた。

▼カテケージス研修会が二月十日浄水通教会で行われ、三十一人の参加者は子供の信仰教育について研修をした。先ず教会学校に関するアンケート調査では八ケ所から返答をうけたが、これからも随時郵送によるアンケート調査を続けてゆく方針である。ビデオ「ルカによる福音」の中の『最後の晩さん』と『十字架』の二本を見て、グループ討議をした。その結果、ビデオを見せる前に、子供たちの心を準備する必要がある。例えば典礼の勉強、子供向きの質問の作成、テーマを絞って質問をつくるなど。また、教師はそれらを補足する立場にあるとの意見が出た。なお、ビデオは教材として備え、貸出しできるように検討する。

▼四月の聖週間を恵み深く過ごし、祈りと節制、愛の実行を心がけよう。中でも聖なる三日間と呼ばれる聖木曜日（四日）聖金曜日（五日）聖土曜日（六日）の夜の典礼行事には、できる限り参加して救主のご受難、死去、復活を感謝のうちに默想しよう。イエズスと一体となって十字架を担って進む者に、復活の喜びが約束されるのである。また、聖香油聖別ミサは四月四日午前十一時から、浄水通教会で行われる。聖金曜日には満十八歳以上五十九歳までの人は大斎、十四歳以上小斎の義務。

四月命日の司祭

▼フランソワ・ブレンゲ神父（パリ外国宣教会）一九四六年四月五日元佐賀教会主任

▼ジョゼフ・ドレル神父（パリ外国宣教会）一九八四年四月十五日元直方教会主任

▼アンリ・レウトル神父（パリ外国宣教会）一九四四年四月二十五日元新田原教会主任

第4回

聖霊による刷新九州大会

〝わたしの喜びが、あなたたちの中であふれるように〟
（ヨハネ15・11参照）

ねらい　①各自の生活の中に信仰の喜びと希望があふれるように。
②その喜びと希望を、共同体の中で分かち合い、互いに励し合っていけるように。
③地域社会の中で、福音に生かされている喜びのあかし人になれるように。

期　日　S.60年5月3日(金)3：00 PM～6日(月)昼食
（3日1：00より受付、当日もごミサあり）
3泊4日（全個室）

会　場　全日空研修所（熊本乗員訓練所）
〒869―11 熊本県菊池郡菊陽町戸次1397―1
※　熊本空港より徒歩10分、熊本駅前から空港行きバスで約1時間。

会　費　¥18,000（内、申込み金 ¥5,000 前納、欠席でも返金なし　当日納入 ¥13,000）

※　会費のために参加を諦めることのないように、申込み先（カトリックの家）にご相談下さい。ご参加を心からお待ちしています。

主　催　カリスマ刷新九州大会委員会

神学講座
（昭和60年第1学期）

1．講義科目、担当講師
聖体祭儀についての考察
みことばの祭儀感謝の祭儀についての実践的な解説、聖体の信心についてなど
福岡サン・スルピス大神学院
ラブラント神父

2．講義期間　時間
4月9日～6月25日までの
毎週火曜日午後6時～8時まで

3．講義会場
福岡市中央区浄水通39
司教館新館5Fホール

4．聴講料
（全期間）
500円（1回）×12回＝6,000円
当日会場で受付ける。

「社会的霊性」研修会（ワークショップ）

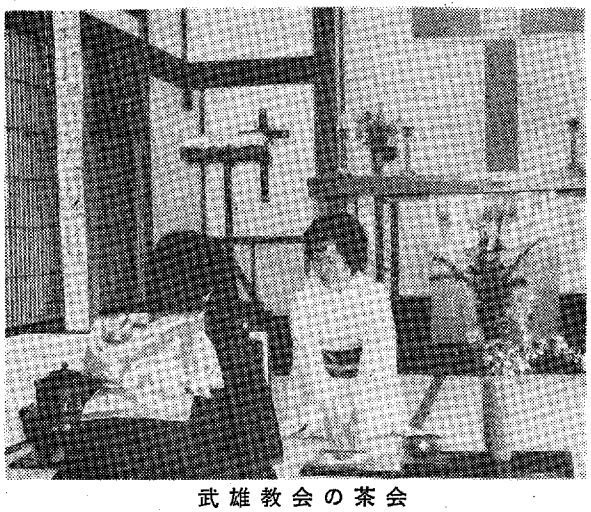
期　日　昭和60年5月2日18時夕食～5月5日昼食まで
場　所　玉名市1925玉名カトリック教会内「玉名默想の家」
ヘルパー　E・ネメシュ神父（イエズス会）
長島　正氏（上智大学助教授）
定　員　参加者定員は26名です。定員オーバーは出来ませんので、申込み取り消しの方は直ぐ御連絡下さい。
参加費　一人に付一律　10,000円
申込金　申込書にそえて申込金2,000円を御送り下さい。取り消しの場合でも、代りの申込者が充足されるまでは、返金出来ません参加の場合には参加費の一部に充当します。
申込先　〒862 熊本市国府2―6―102
☎ 096―371―4156
郵便振替口座　熊本 7―24098
中野尚夫（ナカノ ヒサオ）

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8―8
TEL 531―3831
夜間 521―0820

祭壇・洗礼盤他
素材｛石 石 理 影 大 御 そ 他
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2―21
TEL 52―2417

日本の茶の湯 ①
――キリスト教的評価――

六年ほど前、畳敷きの聖堂で、親しまれている武雄教会で、二十人ほどの茶会が催されたことがある。それは如何にもキリシタン時代を思わせる風雅なものであった。教会での茶会―それは初めての試みではあったものの違和感を感じさせない素朴な、しかも格調高い雰囲気であったことが今でもなつかしい。実はその茶席で佐賀教会所属・牧山敏浩先生（高校教諭）から「日本の茶の湯」について蘊蓄ある話を聞かしていただいた。特に中国・アメリカ等の文献を翻訳した内容のものであったので印象が深い。以下それらの話をまとめて文章化したものであることをご容赦願いたい。（前段、歴史・背景の部分は省略した）――戦国時代（16世紀）の終りに茶儀が大阪の近くの堺で、特に大名の間で広まった。秀吉の保護の下に茶の湯の師匠・千宗易（一五三一―一五九一）（千利休でもっとよく知られている）が茶儀の決定的な規則を後の世代のために制定した。彼は史上最大の茶の湯の師匠と考えられている。彼は落着きと純粋さの美点を伸ばすどころか、苦労が増える傾向にあった当時の見栄を張ったぜいたくなやり方に抗議した。俗悪な欲望から解放された満足感が彼の理想であった。そしてそれは彼が日本の茶の湯のために設けた細心のしきたりや、きまりの中における表現を見出したのである。典型は和敬と静寂の表現の中に要約された。


武雄教会の茶会

彼の組織は利休派即ち千家流として知られるようになった。一五九一年に利休は秀吉の激怒をかって切腹を命ぜられた。日本における教会史家たちは、千利休は聖フランシスコ・ザビエル（一五〇六―一五五二）、ルイス・フロイス神父や近畿地方の初期の日本キリスト教徒たちとの接触を通して、決定的な変化を受けたということをわれわれに告げている。しかもこれが、祈りや瞑想、特にこれらの傑出した宣教師たちによるミサを目のあたりにしたその献身と神聖さの何物かを、彼の茶の湯に加えるようになった理由である。

彼の七人の最もすぐれた門弟の中に、五人のキリスト教徒たちがいたということである。彼等の傑出したリーダーはユスト高山右近（一六一五没）であり、文武両道に秀でており、日本武士道の典型そのものであった。もう一人は細川忠興で、そのガラシヤ夫人はキリスト教徒になり、殉教者の誉れを受けてなくなった。（註・足袋の使用は彼が茶会に参加する時、冷え症のため足袋を作ってくれた彼の母に由来する）

初期の宣教師たちは、日本における新しいキリスト教文化の発展のための貴重な要素として、茶会を認めたようにみえる。高槻の城で御ミサが行われた後に、高山右近が茶会をもったという事実は、この相互の融和を示している。京都地方における、かくれキリシタンの日曜の祈りは茶日（ちゃにち）（お茶の日）と呼ばれたし、また長崎地区では茶合（ちゃごう）（お茶の集まり）と呼ばれた。

（佐賀・牧山）

〈新刊紹介〉
キリスト教布教の史書「鍋島藩とキリシタン」刊行

このたび佐賀教会所属北島治慶氏（六一）による著作「鍋島藩とキリシタン」が一冊の本にまとめられて、三月八日佐賀新聞社から出版された。

佐賀教会では昨年末、創刊八十周年を記念して「佐賀カトリック教会史」を発行したが、その編集委員のメンバーでもあった北島氏は現在、佐賀大学附属中学校の教諭。これまで永年にわたり教職のかたわら、佐賀におけるキリシタン関係の歴史について書きとめてきたもので、数多くの史料を忠実に紹介しているところが特色といえる。

これまで佐賀県の郷土史で、キリシタン史の解明は史料不足のためほとんど未開拓のままだった。

こうした中で、氏が緒言でも述べているように、現在松山市在住のドミニコ会・デルガド神父の好意で、江戸時代の初期鍋島藩の布教を担当したドミニコ会に関わるかなりの史料提供を受け（マニラのドミニコ会修道院古文書館から発掘されたもの）それらを軸に纏めた労作で、校註・年表を加え学術研究書としても高い評価を受けている。

（B5変型、二九〇ページ、二〇〇〇円、佐賀新聞社・佐賀カトリック教会などを通じ予約販売）

（佐賀・牧山）

住所変更

旧　福岡市中央区桜坂三―十一―二〇―五〇一

新　福岡市中央区輝国一―一〇―一〇TEL七五一―二四六六
イエズス福岡レジデンス

福岡教区第24回クルシリヨ

1. 日時　5月3日(金)午後7時～5月6日(月)午後4時
2. 場所　福岡黙想の家
3. 参加費　8,000円（宿泊、食事、用品代）
4. 申し込み先
教区クルシリヨ事務局
（〒803北九州市小倉北区中井4―7―7～204 佐々木信幸）
TEL　093―582―1654

（注）申し込みのしめきり　4月24日まで

信頼に誠意と技術で応える
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 信仰の模範なる聖母への信心
(布教) 第三世界における青年男女

東光町にカトリック伝道所
信仰の活性化と福音宣教に
ルルド洞窟も間もなく完成

福岡市博多区東光二丁目に、カトリック伝道所が開設される。現場は、博多駅新幹線口から空港通りに沿って歩いて約十分。以前は東光町巡回教会として使用していたが、諸事情のため閉鎖し放置されていた。

このたび、教区は、日本司教団の要望に答えて宣教活動と信仰の活性化を強めるために、教区所有の遊休地の活用を考えた。三七〇坪の敷地の一角に、大名町教会の旧信徒会館を移築して伝道所に当て、福音宣教事業を推進する。また、広大な庭の片隅にルルド洞窟を建立することになった。やがてこの場所が、ルルド巡礼の聖地として敬けんな人々の祈りにこだまし、教区民の礼拝と自由な宣教活動の場として再起することを期待してやまない。

ルルド洞窟は、五月一日(労働者の聖ヨゼフの祝日)に起工式、五月十九日(御昇天祭)に完工する予定で、つぎの落成式の運びになっている。

祝別落成式
日時 昭和六〇年五月十九日(御昇天祭)十二時
ルルド洞窟と礼拝所の祝別
広場での野外共同ミサ
(平田司教と参加司祭)
ミサ後参加者にべんとう配給
雨天決行 駐車場がある
多数の参加者を歓迎希望する

ルルド洞窟の起工式

五月の聖体礼拝当番教会

五月五日 美野島・崎津
五月十二日 老司・島崎
五月十九日 高宮・玉名
五月二十六日 吉塚・手取

☆カテドラル建設資金に
一金 三十万円也 村上芳隆神父
(故母堂 ユキ子様の香典返し)

カテドラルの工事進捗状況

福岡市中央区大名町カテドラル(司教座聖堂)の新築基礎工事は二月二十五日頃はじまったが、すでに地下四〇米まで打ちこまれている四〇米の杭打ちが完了した。現在基礎工事中の床張りが五月二十九日頃、躯体工事が六月初めには完了予定になっている。塔屋の基礎工事もはじまり、鉄骨組立の第一段階が姿を現す。いまのところでは工事はほぼ順調に進み、来年一月末完成を目指して工事事の出入りがにぎやかである。

林立するモダンな高層ビル街の中にひっそりと置き去りにされた感じの大名町教会も、来年二月には面目を一新した偉容を見せてくれることであろう。

なお、工事開始につれて建設資金の分担金も徐々に寄せられているが、小教区分は一四、〇六万七、二〇〇円、宗教法人「カトリック福岡司教区」立幼稚園分は二七、四五万円送金されている。

(司祭異動)

▽司教館 浦口均(北海道厳律シトー会) ▽泰星学園(高・中)校長 曽根忠明(広島学院校長イエズス会) ▽泰星学園付、生熊秀夫(広島学院イエズス会) ▽泰星学園付 マギーニヤ・マリヨ(栄光学園イエズス会) ▽泰星学園付棚町健之助(東京イエズス会)略敬称

微光

鯉のぼりは五月の風物詩といわれるが、マンションではどうもピンとこない。郊外の日本家屋の庭先きで高く力強く躍動する姿に、伝統の美しさと心くばりを感じるのは筆者一人ではあるまい。近世以降旧暦五月五日に祝った端午の節句は、元気な男児の成長を祈る行事であった。武者人形や鯉のぼりを飾り、しょうぶを軒にさし、柏餅かちまきを食べたのはそのためだった。当節の鯉のぼりは新暦を好む▼二十二年前の話だが、結婚信者になって間もなくの一人の母親が心配顔で質問した。「私の親(非受洗者)から鯉のぼりを頂いたが、信者の家庭に飾ることができるか」。勿論できる。家族の一人が異教徒の行事を真似てはいけないと忠告したらしい。彼女は実家の折角の厚意を無にしてならないとの思いで、教会にかけ込んだのであった。信仰教育の無知と偏見は、[illegible]稿を通り過ぎて罪作りの片棒を担うことになる▼五月は、陰れた宣教者聖母の月でもある。小さき花のテレジアも、この類に加えることができよう。ここで、祈る宣教者の側面を重視したい。宣教の教会については、とかく行動面だけを注目しがちであるが、神との対話抜きにして何ができようか。宣教の教会は祈りの教会になり切ってはじめて、対話の教会の展望が開けるのではないか。観想(祈り)の中に神との一致を保ちつつ宣教に生きてこそ、明日の豊かな教会の発展になると思う。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

計り難い神の御摂理の深さよ
大野正恒神父（イエズス会）逝く
泰星学園の基礎固めの途中で

駄駄児が喜んで持っているものを平気でとりあげる神の御摂理の深さに、人間はただ驚くばかり。福岡市中央区輝国二丁目の泰星学園（中・高）前校長大野正恒神父は、四月十三日午前十時二十五分東京がんセンター病院で、肝臓ガンのために死亡した。享年六五。

葬儀ならびに告別式は、翌十三日午後二時十五分から東京都千代田区麹町六の聖イグナチオ教会でしめやかに行われ、イエズス会をはじめ教会・修道会関係の多数の会葬者が式場を埋めつくした。

また故大野正恒師が死去直前の三月三十一日まで校長であった泰星学園の学園葬は、四月二十三日午後一時から、同学園体育館で行われた。全校生徒・教職員ならびに父兄ら関係者が見守る中、イエズス会管区長であるとともに泰星学園理事長である粟本昭夫師が葬儀ミサの主司式者となる。この共同ミサには、平田福岡司教や五〇人近い司祭らが加わり、しめやかなうちにも盛大な葬式であった。

葬儀委員長は泰星学園校長曽根忠明師で、喪主をイエズス会福岡修道院院長キース・ウーリック師がつとめた。尚、引き続き行われた告別式では平田司教が司式した。弔辞は、福岡県私学協会会長、教職員代表、生徒代表、後援会代表や同窓会代表から寄せられ、在りし日の大野校長を偲んだ。短時間流れた生前の卒業式の訓辞のテープの声には、眼前に生存しているような錯覚に捕われたほどの臨場感があった。そのあと弔電披露や曽根葬儀委員長の挨拶があり、献花をもってとどこおりなく式は終了した。

大野正恒師は、一九二〇年三月十六日佐賀に生まれた。一九四七年十一月イエズス会に入り、一九五八年三月司祭に叙階された。一九五九年から七三年まで広島学院、一九七三年から八一年まで六甲学院で教職にあった。一九八一年から一九八二年にかけて別府光の園の施設園長を引受け、周囲の人望を集めていたが、一九八二年から泰星学園の再建のために請われて、校長の激務を続けた。在職中の大野師は学園内外から信頼され、中学校を併設して学園の発展をこれから見守る時期であった。神の深い御摂理とはいえ、病魔に倒れて神に召された師はあまりにも惜しい人物であった。

C．J．愛の献金

能古	14,128	戸畑	85,120
光ケ丘	81,426	若松	62,566
箱崎	20,000	天神町	266,434
美野島	28,000	黒崎	71,800
茶山	3,930	水巻	190,606
老司	30,000	飯塚	34,410
二日市	120,000	田川	11,710
久留米	78,002	荒尾	80,268
今村	114,582	本渡	51,000
本郷	53,695	水俣	4,500
直方	13,460	大江	11,080
新田原	59,500	崎津	70,000
呼子	37,000	島崎	106,600
伊万里	27,000	玉名	39,261
武雄	9,850	武蔵ケ丘	32,167
松島	19,500	馬渡島	58,267
門司港	72,980	合計	2,144,933
小倉	127,530	大名町（C．J．へ	
湯川	58,561	直送分）	228,863

福岡カルメル会修道院の創立
三位一体のマリジョセフ帰天

福岡市城南区神松寺三丁目のカルメル会のカルメル山の聖母修道院は、創立者で当修道院の精神的支柱であったシスター三位一体のマリ・ジョセフを神に召され深い悲しみに包まれた。亡きシスターは三月二十八日午前十時、当修道院で死去した。八二歳であった。

葬儀ミサと告別式は三月二十九日午後二時から当院聖堂で行われたが、平田司教も参列して故人の永遠の安息を祈った。

三位一体のマリ・ジョセフシスターは、一九〇三年三月十二日ベルギーのブリュージュ市に生まれた。一九二七年七月ベルギーのフレーズンベルグのカルメル会修道院に入り、一九二九年一月初誓願を宣立した。一九三一年七月にはベルギーの、ブランケンベルグのカルメル会創立に参加する。一九五〇年十月来日し、一九五一年七月福岡カルメル会修道院を創立初代院長となる。一九五七年五月日本に帰化し、三木信の日本名。一九七九年一月には、誓願五〇周年の祝福を受けたが、福岡カルメル会修道院の生き字引的存在であった。

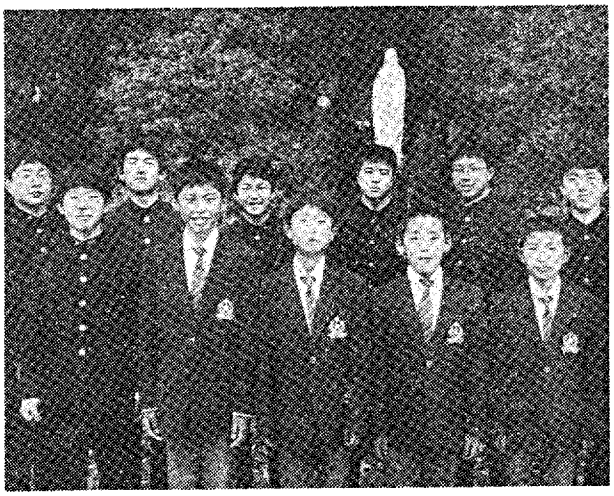
五月命日の司祭

▽フランソワ・ルマリエ神父（パリ外国宣教会）一九四五年五月五日元八代教会主任▽フェルナンド・チリ司教（パリ外国宣教会）一九三〇年五月十日初代福岡教区長▽ヨハネ棚町正万神父一九六八年五月十五日元茶山教会主任

赤レンガ旧聖堂
聖マリア病院で
移築起工式

福岡市民から復元保存を懇請されていた大名町「赤レンガ教会」は、久留米市津福本町の聖マリア病院に移築することになり、四月七日、現地で起工式があった。

平田司教や井手一郎聖マリア病院長のほか、近見敏之久留米市長ら約百人が出席した。聖歌が歌われたあと、建設予定地に平田司教が聖水をかけ、工事の安全を祈った。旧聖堂は鉄筋コンクリートで骨組みをし、レンガを張った外観になる。今秋完成の予定で、「雪の聖母聖堂」と呼ばれる。中にはドイツ製のパイプオルガンも。



福岡小神学校の生徒一同（既報）

聖地献金

大名町	115,200	馬渡島	14,748
浄水通	15,000	島栖	10,000
光ケ丘	25,007	武雄	3,000
箱崎	15,000	門司港	13,147
西新	18,100	小倉	58,307
美野島	10,100	戸畑	14,505
茶山	16,454	天神町	15,000
高宮	61,200	黒崎	31,500
老司	26,600	八王寺	7,640
吉塚	24,587	水巻	30,464
志免	3,920	飯塚	10,000
二日市	25,000	荒建	7,000
久留米	39,615	建軍	8,000
今村	78,455	水俣	5,000
本郷	31,886	大江	5'200
新田原	30,000	島崎	24,500
呼子	6,000	玉名	5,300
佐賀	20,000	菊池	6,000
伊万里	5,000	武蔵ケ丘	16,030
		合計	852,465

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

両手に塗油されて二十五年
おめでとう四人の司祭たち
司祭職の恵みを隣人に注ぐ

四月四日（聖木曜日）午前十一時から、平田司教は約六十人の司祭との共同司式ミサ中、浄水通教会で聖書油を聖別した。とくに今回は、三月十七日に叙階されたばかりの四人の助祭たちや教区大神学生らが活躍し、聖式を盛り立ててくれた。

ミサ後、銀祝司祭たちの祝賀会が司教館で催されたが、ことしの銀祝司祭の一人草野純英師（イエズス会）は学校用務の都合上出席できなかった。席上平田司教は祝いのスピーチのあと、銀祝組にそれぞれ金一封と記念品を手渡した。欠席の草野純英師の分は、同じ会のラミーレス師（浄水通主任）が代理で受け取った。

銀祝司祭の略歴を簡単に紹介しよう（司祭叙階順に述べる）―草野純英師は、一九二六年十月十七日名古屋市に生まれた。一九五四年三月、上智大学文学部哲学科卒業。一九五五年四月～一九五七年三月、上智大学神学部に入学。一九六〇年三月十八日、司祭に叙階。一九六一年三月、上智大大学院神学研究科卒業。一九六三年四月以降、殆んど六甲学院（高・中）教諭。一九八四年四月、寮星学園教諭、現在に至る。鵜野泰年師は、一九三二年十二月一日、久留米市に出生。一九五一年三月、福岡県立明善高校卒業。一九五二年四月、福岡サン・スルピス大神学院入学。一九六〇年三月二〇日、司祭に（卒業）一九六〇年四月、大名町助任。一九六一年四月、小倉助任。一九六四年七月司教館。一九六七年四月、大名町助任。一九七二年四月、茶山主任兼幼稚園長。一九七四年四月、直方主任及び幼稚園長。一九八四年四月、大楠主任と幼稚園長。また司祭評議会議員を一期（一九七九年七月から）つとめた。

岩永義人師は、一九三四年八月八日熊本市に生まれる。一九五三年四月、福岡サン・スルピス大神学院入学。一九五六年九月、カナダ・モントリオール大学神学部入学一九六〇年五月二十一日司祭。一九六一年四月、大名町助任。一九六三年九月、小郡主任と幼稚園長。一九七四年、行橋主任及び幼稚園長。一九八四年四月、二日市主任兼幼稚園長。

マホニ師（聖アウグスチノ修道会・笹三教会主任）については、略歴の資料が不十分で間に合わず、割愛しなければならなかったことをお詫びしなければならない。

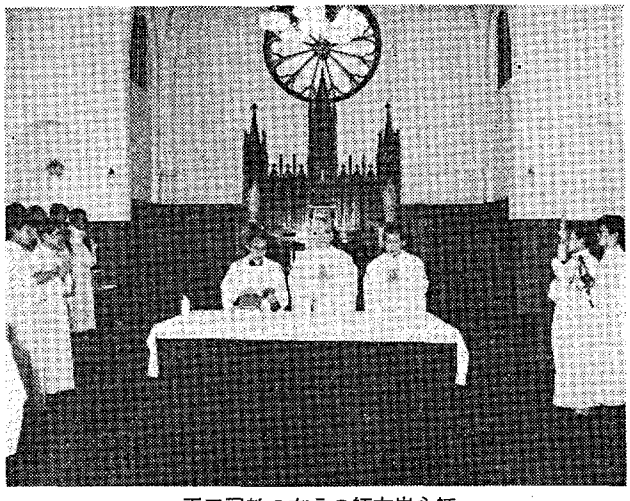
が、容体は一進一退のくりかえしで重体であることに変化はない。依然として、酸素吸入と点滴だけに支えられた状態である。意識はかなりあるようだが、かれ自身話すことはできないし、笑うことも殆んどない。

☆直方教会主任の牧山藤房師（六八）は四月十日、腎不全のため福岡大学病院に入り、療養生活を余儀なくされている。また吉川病院の平田惣五郎師は、かなり落ち着いた状態で心配はあまりないようである。

☆四月二十一日、福岡司教館で開かれた教区信徒協役員会ではカテドラル建設費の募金状況や福音宣教の具体的方法、実践について意見を交換した。またカテドラル起工式に関する教区本部の信徒に対する不手際が指摘され、今後のための良い反省材料となった。又教区信徒協主催の講演会が、八月中に計画されている。『韓国カトリック教会の現状と福音宣教について』＝崔神父（六三）＝韓国教会史研究所所長＝を予定。福岡地区（北九州を含む）三カ所、熊本地区二カ所、佐賀地区一カ所の案が検討されている。

☆福岡地区婦人会総会が四月二十二日午前十時から司教館新館で開かれ約八〇人の出席があった。午後は、多久教会主任アレグリーニ師（ミラノ宣教会）のユーモアに富んだ講話やミサがあった。

☆三代目福岡教区長であった深堀仙右衛門司教は長崎市内の聖フランシスコ病院に入院加療中である



平田司教の左うの師右岩永師

記念品をうけるマホニ師

会合と催し

☆平田司教
- 5月7日　教区全司祭の集会
- 12日　学士会
- 19日　東光カトリック伝導所及びルルド祝別ミサ
- 26日　伊万里教会聖信式

☆福岡黙想の家
- 5月3～6日　クルシリヨ
- 10～11日　新求共同体
- 12～13日　カテキスタ会
- 16日　聖公会婦人会、ミカエル会の集まり
- 19日　大神学院の静修
- 21～23日　全国司教司牧委員会の会合
- 27～29日　大神学院着衣予定者の黙想

きぼうの電話　―喜ぶ人とともに喜び　泣く人とともに泣く―

(092) 865―1212

※相談：生き方，家庭，学業，仕事，恋愛，宗教
※時間：月・水・金曜日　午前11時～午後4時
午後8時～午後10時
※相談時間外：テレホンサービス

カトリック　福岡黙想の家
〒814-01　福岡市城南区西片江1-17-63

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8―8
TEL 531―3831
夜間 521―0820

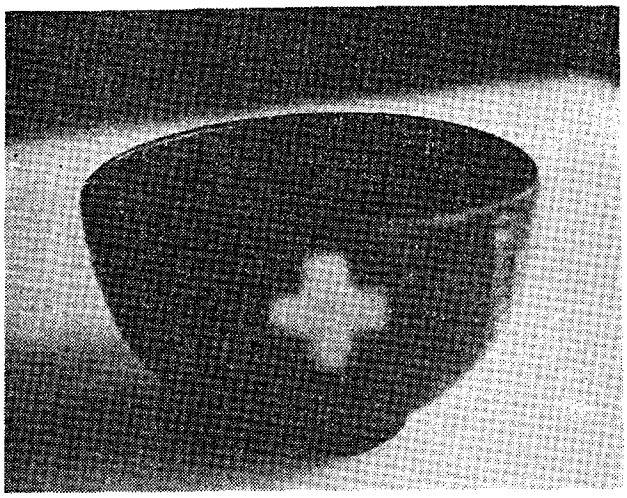
祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想
石の影
他の大御所
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2―21
TEL 52―2417

日本の茶の湯 ②
――キリスト教的評価――

茶道は美学の宗教と呼ばれる。それは美の慰み即ち祭式であり、その中に作法、料理法、建築法、華道、書道そして陶器や木彫りの芸術品の鑑賞は、自己修養に資する微妙な小声で話す準宗教的な行為に結合される。茶の湯の真の帰依者は、芸術と自然の完全な調和の仕方を会得していると考えられている。このようにして作られるお茶の雰囲気は静寂と落ち着きに導かれる。茶会は完全に日本的であり、その意味と原則は日本国民の文化生活を理解するのに大いに助けとなるだろう。

有名なトラピストの宗教作家であるトーマス・マートン神父は、特につぎのように言及している。

「手ほどきを受けていない西洋人は一目見て、茶会は聖なる美術の形式、霊的な意味や精神生活のない外面的形式の典礼であると思うかもしれない。精神的な意味を持つべきであるとして行われるならば、それは異なる。これは真の意味における芸術であり、精神修養である。単純さ、沈黙、謙譲、黙想の規律である。茶の湯は、正しく理解するならば単一性と集中性の儀式であり、多様性と原子化の征服であり、聖餐のある初期キリスト教徒の会食である。



十字紋入り抹茶碗

まず第一に茶会の席に参加する人は、出来るだけ人為的な、社会的な、外面的な人格をとり去って貧しいともいえる単純性、参加者の一致に入らなければならない。そしてそこには貴族と庶民のいかなる区別もない。序でながら茶の湯の心の中にはフランシスカンの一種の素朴さがある。岡倉氏は言う"茶道は一種の生活法の宗教であり、純粋さと洗練の崇拝であると共に、茶道は道教の化身である"と。この道教は禅僧によって後世に伝えられた。茶室の質素と純粋性は禅道場の競争的精神から生じた。これはお坊さんのための住居であるばかりでなく他の仏寺とは異なっている。その聖堂(禅堂)は礼拝や巡礼の場所ではなくて、お坊さんが討論や瞑想(座禅)のために坐り、修養するために集まる室である。その室は中央の床の間(壁の入り込み)を除いては、何もなくがらんとしている。その中の祭壇のうしろに六世紀に中国へ渡ったインドの僧侶、達磨大師の像がある。彼は開祖として禅の伝統を作り上げた。

祭壇の上には花や香が供えられる。瞑想の長い時間の間に、お坊さんは座禅中の眠けを覚すためにお茶を用い、そこから茶の湯の儀式が徐々に発展していった。禅堂の壁の入り込みは、床の間のひな型であり、掛物やお花が客の教化のために憧かれる。

アラン・ワッツは次のように述べている。「キリスト教はぶどう酒、イスラム教はコーヒー、そして仏教は確実にお茶である。その静寂、清澄さ、少々にがい味わいは、めざめ(悟り)それ自体と同じ味わいを仏教に与えてくれる。その苦しみは自然の雰囲の心地よい渋味にぴったりである。甘さと酸っぱさの中道に一致する。

最後にサドラーは、われわれに次のように語っている。「ある意味では日本文明はお茶の文明である。――というのは国民の生活が禅によって浸透されているように、お茶によって色づけられている。そしてこれらの二つの影響力は国民が広く作っている限り持続するようである」。

(佐賀・牧山記)

広報の日(五月十二日)
「マスコミと青年
キリスト教的な成長」

本年の広報の日は、青年に関わるマスコミの功罪について訴えている。マスコミは若者を成熟したキリスト者・おとなにするために役立っているか。利益をあげるためあるいは特別な政治組織のイデオロギーのために、マスコミが偏向し青年を毒していないか。若者たちを消費者主義、世俗的自由主義、放任主義、いろいろな種類の非キリスト教的イデオロギー、現実からの逃避、利己主義、暴力、快楽主義などに誘惑していないだろうか。テレビ、ラジオ、印刷物やシネマが若者たちの貴重な時間を奪っている時、教会の司牧者は何をなすべきだろうか。司牧者は若者たちのキリスト教的な成長を助けるため、若者の立場で、かれらと出会い、かれらの理解できる言葉で、福音を伝えなければならない。勿論、ある地方では、地域のラジオやテレビ、有線放送が若者との対話に大いに利用されていることもある。若者たちは、人類や教会の仕事に積極的に協力し、成人社会、マスコミとのかかわりに深い興味を示している。むしろ大人の世界が、若者の意見や感情に何の関心も持たないで、マスコミに活動的に参加するチャンスを用意していないこともあるのではないだろうか。教会の最終的関心事は、福音宣教である。今年の世界広報の日に当たっての関心は第一に若者の福音宣教に集中されるが、これは家庭及び学校、仕事、余暇の活動を通して行われる。マスコミのメディアを上手に用い、情報と意見を交換しながら若者に近づくことが大切であろう。

〈書籍案内〉
「生ける石、信徒神学」 犬養道子著

著者が師事する神学者イブ・コンガル師の"信徒神学"を骨格にして、日本人向きに肉付けした信徒についての啓蒙の書である。注意深く読んで頂きたい。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所 大石真澄
〒810 TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長 吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 近東諸国の平和
(布教) 福音の堅実な土着

信徒除外の教会はありえない
教区司祭の研修会を通して
信徒の使徒職に理解を深める

五月七日司教館新館で、教区司祭三〇人が参加して研修会を行った。席上福岡聖スルピス大神学院の高木善行院長は、午前十一時から、信徒の使徒職の神学について約一時間講話したが、以下はそのあらましである。——

信徒の地位の考察

約二〇年前の第二バチカン公会議は教会を神の民とうけとめ、教会についてのすばらしい宣言を発表した。すなわち教会は信徒の本質的聖業を認めたのである。信徒は教会という共同体の本質的なメンバーであり、位階階級の司教、司祭と信徒は修道者を含めて、相互に分かちあい、共同責任をもつことを示した。しかし、神の民と現実の姿との間にはずれがないだろうか。司牧者にまかせきりの教会、司牧者と信徒との間に対話がなくまた、司祭も信徒の使命を重視しない傾向が続く限り、教会の本当の姿は一向に実現しないことになる。聖なる教会会議は教会憲章第四章で、信徒について多くの考察をしている。公会議は、聖職位階の任務を明らかにした後、信徒と呼ばれるキリスト信者の身分の考察に移ることを喜びとすると語っている（教会憲章三〇）。神の民という場合、信徒の役割を強調している。信徒を除外した教会は考えられないという公会議の姿勢が、現代の教会の時のしるしとして一貫している。

公会議は信徒の使徒職について考える必要性を認めている。現代の教会は信徒の持つ奉仕とカリスマに目をつけ認める。使徒職は使徒の後継者司教に、司教を通して司祭の手に委託される。使徒的権能をもつ人は、歴史上代々信徒の使徒職を認めてきた。現代の教会は、この点をとくに強調する。司牧者として信徒のカリスマと奉仕を認めないとき、教会の使命に忠実な者といえない。使徒職は位階階級の独占事業ではない。信徒とは何か、日本でも信徒と信者の意味を区別するようになった。信者という場合、位階階級の司教・司祭や、修道者、信徒を意味する。信徒は、叙階の秘跡を受けた者と修道者以外のすべての信者の謂である。洗礼をうけキリストに合体された者の一部であり、神の民の一員としてキリストの共通司祭職に与る者である。中でも洗礼は、信徒の身分の根拠になる。

信徒の世俗性

修徒のもつ条件は世俗性で、信徒に固有の特質でもある。それは世俗化というような悪い意味ではなく、人間が生きてゆくため絶対に必要とする生活のことである。信徒に固有の召命は、現世的な働きに従事し、それらを神に従って秩序づけながら神の国を追求することである。信徒は世俗の中に生きている。すなわち、世間のそれぞれのあらゆる務めと仕事に携わり、家族と社会の一般的生活条件の中で生活しながら福音に生き、神との出会いに進む。他方、聖職者は、ときには世俗の仕事に携わり、世俗的職業に従事できるが、自分たちの特殊の召命のために、本来聖なる奉仕に秩序づけられている。叙階の秘跡によって、キリストの救いの業を秘跡的に継承している。また修道者は、真福八端の精神をもって世の姿を変え、世を神に奉献する者である。

信徒の使徒職

すべての信徒は神自身から、使徒職に招かれている。しかし、司教の権限は叙階の秘跡を通して、キリストから直接受けるが、その行使のためには教皇との交わりが必要である。同様に、信徒の使徒職も神から受けたものであるが、司祭との交わりの中で行使する。公会議（教会憲章三三）は「信徒の使徒職は教会の救霊活動そのものへの参与であり、すべての人は洗礼と堅信を通して主自身からこの使徒職に任命される。諸秘跡、特に聖体の秘跡によって、全使徒職の魂である神と隣人に対する愛が授けられ養われる。」と教える。信徒の使徒職は信徒の存在の本質に関係する。司教・司祭の意志に依存するものではない。しかし、その行使にはかれらとの交わりが必要である。カトリック・アクションとは区別される。これは信徒の本質から出てきたものであるが、本質そのものではない。カトリック・アクションが信徒の一般的義務であるに反し、信徒の使徒職は普遍的義務で、すべての信者に神から求められている。信徒の使徒職を位階的司祭の使徒職から区別するものは何か。「信徒にようなければ教会が地の塩となることができない場所と環境において、教会を存在させ活動的なものにすることが、特に信徒に与えられた使命である」ことを銘記しなければならない。位階的司祭の使徒職に協力しながら呼ばれて応ずるカトリック・アクションは、信徒の使徒職の一形態であるが本質ではない。これを混同すると、信

（第二面につづく）

六月の聖体礼拝当番教会

六月 二 日 茶山・八代
六月 九 日 大楠・武蔵丘
六月 十六 日 箱崎
六月二十三日 笹丘
六月 三〇 日 小神学校

微光

今年は時序の正しき入梅かな 虚子

太陽が春分点を出て、再び春分点に達するまでを黄経（周天）三六〇度とする。入梅とは、この黄経八〇度に達したときを指す。毎年五月十一日頃で、気圧の配置が梅雨型に入る時期と解釈できそうだ。だから、暦と実際にはかなりの違いがあることも少なくないが梅雨空は、秋空の如く浮気者らしい。うっとうしい雨天が、急にカンカン照りになったりする▼六月につきあい、楽しませてくれる花の一つがアジサイであろう。多くの広楕円形の葉にかしずかれて咲き出る花は、白から紫さらに淡紅に変化してゆく。特に、雨に打たれているときのこの花には、ロマンよりも不気味さを覚える。ある地方では、ゆうれい花の俗称さえあるが、そんな感じを与える損な花であろうか。バラが目立ち派の陽性の花とすれば、アジサイはさしずめ梅雨時に相応しい控え目の陰性の花かもしれない▼重苦しい季節に、冴えない顔をたいても名案は出てこない。六月のキリストの聖心は「重荷を負って苦労している者は皆、わたしのもとに来なさい……わたしは心が柔和であり、謙遜であるから……わたしの弟子になりなさい。」と語りかける。優しいキリスト者の心になって再びアジサイを眺めると、床しく、愛らしい花に見える。万事はこのとおりに、見る者の心の明暗に左右される。幸せは心の美化作業から出発するのでは…。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

(第一面から)

徒の使徒職の低下につながってしまう。

信徒の司祭職への参与

信徒の次元で、キリストの霊によって信徒の共通司祭職に与り、キリストの生命をうけ、その救いの業に参加する。キリストは自分の生命と使命に密接に結ばれた人びとが、神の賛美と人びとの救いのために霊的礼拝を行うように自分の司祭職の一部を与えた。信徒のすべての仕事、祈り使徒的努力、結婚及び家庭生活、日々の労苦、心身の休養を霊において行い、忍耐強く生活する時、神に喜ばれる霊的供え物となり神に礼拝をささげる者として、世そのものを神に奉献する。(祭職)また、キリストは信徒を福音の証人と定め、信仰の感覚とことばの恩恵を与えて、福音の力が家庭と社会を照らすように。(預言職)その上、キリストは死に至るまで従う者となり、神の国の栄光に入った。神がすべてにおいてすべてとなるために、すべてのものはキリストに従わせられる。キリストはこの権能を弟子たちに授けた。かれらは自己放棄と聖なる生活をもって、自分の中の罪に打ち勝ちキリストへの奉仕によって、人びとを主であるキリストに導びくのである。主は自分のこの国を信徒を通して広めることを望んでいる。(王職)このように、すべての信徒はキリストの共通司祭職に参与しているのである。聖なる牧者は、教会における信徒の地位と責任を認め、またこれを向上させなければならない。信徒の賢明な助言をこころよく受け入れ、教会の奉仕のために信頼をもってかれらに任務を委ね、行動の自由と余地をかれらに残し、さらに、かれらが自発的に着手するよう激励しなければならない―午後一時から、三グループに分かれて討議し、全体会でそれぞれのグループの意見発表があった。

宣教の体験発表と講話に沸く
福岡地区婦人会の研修会

少し古い報告になったが、三月二十二日福岡司教館新館で、福岡地区婦人会の研修会が開かれ、会員八十人が参加した。

総会を兼ねた研修会であったために、午前中に年間行事と予算の報告があった。そのあと、三人の会員による宣教体験の発表が行われた。高宮の和気さんは入信の恵みを感謝しつつ、信仰者の確信の必要性と信仰による、諸問題の解決や悩みからの離脱を訴えた。光ケ丘の一の瀬さんは宣教信仰対策には主の愛に育くまれた笑顔が大切であると力説した。二日市の船津さんは、信者の身分を神の愛の賜物と受けとめ、愛の証しを周囲の人びとに実践しなければならないと語った。

午後には、多久教会主任アレグリーニ神父の〝宣教について〟の講話があった。静かな話し方ながら内に秘めた情熱が感じられ、説得力をもった内容で、気づくことなく心のありのままの姿を主に委ねるようにとの勧めであった。会員の心に眠っているものを揺り起すような、ユーモアと教訓に富んだ講話の印象をうけた。総会は平田司教のミサをもって閉じられ、感謝の喜びのうちに散会した。

これからの福音宣教について
講話抜きですぐ分科会討議
燃える福岡地区信徒協研修会

福岡地区信徒使徒職協議会(会長・山田耕三郎氏)は五月三日午前九時から、〝これからの福音宣教について〟を議題の中心に、司教館新館で研修会を行った。

定刻に開会し、五十一人が参加した。先ず山田会長が挨拶に立って、本日の研修会では、日本司教団より出された『日本の教会の基本方針と優先課題』をもとに、福音宣教について建前ではなく本音を出して討議するよう要望した。

今回の研修会は福音宣教についての日本司教団の文書があるために、事前の講話はなく直ぐに分科会による討議に入った。一グループを約十人位で構成し、五グループに分かれて討議した。討議時間はたっぷり取り、三時間二〇分を当てて本音の意見交換となった。

各グループの討論(要望)事項を、簡単に紹介しておく―

Aグループ(山田司会)

○家庭を宣教の個体として、宣教の場所とする―御絵、聖像
○社会において―車にステッカー
○家庭集会をして親しい人を招く
○地区集会を行う
○青少年の教会離れの対策
○家庭内での未洗者との結婚後の対策について
○一番親しい人を教会に案内する
○その時の教会の受けいれ体制が十分でない
○お互いに挨拶を大切にしよう
○神父様とよく話そう
○子供について他人の子供も深めて関心をもつ。教会全体で子供を育てよう。
○自分の生きかたで信仰を広める
○他宗教の熱心さを参考にしよう
○グループを作り宣教の母胎とする。グループは各自が率先してつくる
○不平の聞き手になれ
○青年会の後押しをせよ
○相手の言い分をよく聞く。他人に感じのよい態度で接しよう

Bグループ(青柳司会)

○福音宣教についての司教団の基本方針が出されていることを知っているか―グループ員の六割が知っていた。過去二回そのことで役員会を開く。全員での討議はまだである。パンフレットは配布されている。説教の中で聞いた。神父様より話しがあった。パンフレットも置いてあったが何人読んだか。前から学習している。
○小教区の中で独自の宣教的な活動をしてきたところもある―十年前よりボーイ(ガール)スカウト活動を実施。正義と平和運動、挨拶運動、プロテスタントの人たちとの連携等。
○新・旧信者の宣教に対する考え方の相違について―九九%が旧信者の教会もある。新・旧の壁など元々ありえない。話し合いが大事、司牧者の役割も大。
○信仰の喜びが感じられない―議論ではなく実践。カトリックは実践の手引きが下手。活動の場(病院、組合活動など)、自分の日常活動で宣教しよう。カトリック信者として自信を持つ
○休眠中の信者の掘りおこしも大事―家庭訪問。洗礼後教会に来なくなる人がいる。皆で少しずつでも教会の役を分かち合う
○目を外に向けよう―外国の中の日本、プロテスタントの人たちとの連携。差別をうけている人たちとの対話。
○カトリックでは青年の活動の場が少ない―統一原理運動派は多くの青年を集めている。
○教会のミサを出たらそれで終わり―行きましょう主の平和のうちに(日本)、福音を述べ伝えに行きましょう(韓国)
○対話する教会へ―カトリック文書(教書、方針、パンフ等)はみな固い感じ。分かりやすい表現をとれないか。
○互いに助け合う教会へ―互いに親しくなろう。駆け込み寺的な教会へ。創価学会のような助け合いは参考にならないか。
○小教区相互間の協力―大名と高宮の合同黙想会など。
○八七年に向け生の声を盛り込んだ宣教プログラムを作ろう―司祭と信徒との話し合いも必要ではないか。

Cグループ(秋吉司会)

○現状―教会に来て信仰の喜びを感じたことが少ないみたい。喜びの表現が下手なのか。真の喜びがあれば顔に出る。一時の喜びも永続しがたい。神の恵み

(第三面へつづく)

一九八五年度の教区司牧の目標
私たちは宣教共同体

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2―0646
〃 駅前5秒店 ☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641―7177
〃 ダイエー城野店3階☎922―5637

(第二面より)

が大きくて解らないのでは。秘跡の真の意味が解っていない。教会は縦の連がりはあるが、横のつながりは少ない。

○信仰の本質を求めるには――真の祈りがあれば行動に結ぶ。ミサにあずかるのも行動ではないか。黙想会が黙想するようになっていない。やり方を変える必要があるのでは。神を愛することは隣人を愛することである

○当面の問題点――物質文明の便利さに満足している人が多い。いやかえって何かを求めている人が多い。教会は人を寄せつけない雰囲気がある。誰でも行ける場所にすべきだ。教会の体質の改善。神父のできない場を信者の社会での活動で生かす。広報活動が不足。若者向きの公教要理が必要ではないか。神学校では現代の宣教への配慮を十分しているのか。世界の現状を踏まえて宣教する。ここで話し合われたことをどう末端まで伝えるのか

Dグループ（是永司会）

○教会に入りにくいとの声が、入り口に呼び掛けの掲示が欲しい例―主のみことば

○入り口に受付を配置する

○今の日本人は悩んでいる―主のみことばが必要

○隣人への愛の行為を実践することが宣教になる。

○同じ家庭内に未洗者がいる場合の対策――強制はよくない。身をもって信仰を示す。未洗者を愛し、その人の言い分をよく聞こう。その人のために祈ろう。その人が幼児の時キリストの教えを受けた、あるいは教会に行ったことがあれば導き易い。幼児の教育は大事だ

○生涯教育が必要

○小教区でのビジョン作りが必要

○共同体のコミュニケーションが足りない○各小教区の実状紹介――宣伝ビラを新聞に入れ多数配付した。その結果教会に来た人五、六人

Eグループ（鬼木司会）

○今日の資料の前もっての配付が教会によってバラバラである

○教会の諸行事に夫婦そろって参加することは難しい。主婦が家を空けることへの抵抗

○教会向きの顔と一般向きの顔の使い分けをする。いやよい恰好をしているうちは駄目

○とことん苦しんだ。でも神さまから見放されなかっただけでも幸せと思った

○生死の境に直面した時神にゆだねる気になり、自分で洗礼をうけた。信者からの働きかけは無かった。自分独りで迷っている人は多い筈だが

○教会に気楽に近づけるムード作りを望む

○信仰の喜びを外部に表現する

○自分自身のレベルアップだけでなく、外部への働きかけが必要

○家庭殊に子供の教育が問題。家庭での親の姿勢が大事

○隣り近所と教会の行事のからみあいをどうするか、その時点で判断すること

○一般にキリスト教は知っているがカトリックのことは知っていないことが多い、知らせること

○一冊の本から洗礼へ、またカナの会で意外な組み合わせが出来ることもある。これも布教

○一人では弱いもの、グループ活動の場所作りが必要。誰でも気楽に集まれる場所を。以前の大名町教会にはこのような場所があって他の教会の人もよく来た

○今は恵まれている、昔は信者ということでよくいじめられた

午後には、全体会議（各分科会の発表）のあと鈴木、山田両師の助言と励ましをうけた。第二回全体会議では、各分科会の発表内容に関して活発な意見交換がみられた。最後は平田司教と山田、鈴木両師の共同司式ミサに参加し、四時三〇分決意も新たに散会した。

会合と催し

☆平田司教

6月2日　鳥栖聖信、移動青年のための集い

4日　司祭評議会

5日　聖書共同訳実行委員会

9日　佐藤新潟司教の祝聖式出会いの集い

16日　三末広島司教の祝聖式

17～22日　全国司教会議

23日　浄水通聖信

☆福岡黙想の家

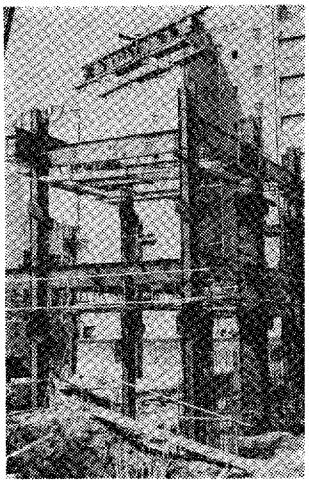
6月1日　西南大学のゼミ

4～7日　幼きイエズス会シスターの黙想会

10～11日　山口県防府婦人会

16～18日　ご受難会の集まり

20日　ミカエル会



カテドラルの鉄骨工事

六月命日の司祭

▼平田好神父一九三八年六月二十一日元門司港教会主任

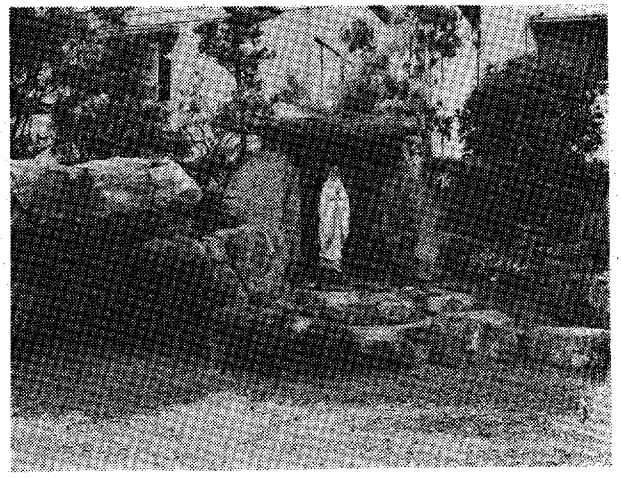
飛脚

☆五月十九日正午から、福岡市博多区東光二丁目のカトリック伝道所とルルド洞窟の祝別式が行われた。あいにくの悪天候だったが、平田司教と鵜野師の共同司式ミサに三三〇人の参会者があった。ミサ後、用意された心づくしの弁当を食べながら歓談のひとときを過ごした。

☆五月二十一日～二十三日まで、司牧司教委員会が福岡黙想の家で開かれたが、安田大司教、糸永・平山・深堀・島本・松永・平田の諸司教と関係者が出席した。

☆第四回聖霊による刷新九州大会が五月三日～六日にかけて、熊本県菊池郡菊陽町の全日空研修所で催された。〝わたしの喜びが、あなたたちの中であふれるよう〟をモットーに、各自の生活の中に信仰の喜びと希望が充満するように、そしてその喜びと希望を、共同体の中で分かち合い、互いに励し合っていけるように、最後に地域社会の中で、福音に生かされている喜びのあかし人になれるように、と祈りつつ大会を進めた。この催しには九州各地から数人の司祭と一二〇人の信徒が集まり、聖霊による個人と社会の刷新の実現を願った。途中、平田司教も顔を見せ、参加者一同を励ました。

☆六月二十九日の聖ペトロ、聖パウロ使徒の日は、平山三郎司教の霊名祝日である。一九七〇年から第四代福岡司教として敏腕をふるい、今日の福岡教区の発展をつくり出した。司教に祈りと祝い！



東光町伝道所のルルド洞窟

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

〝福岡はなびら〟拡大写本グループのこと

いま福岡教区のうち、光ケ丘教会、高宮教会のほか高校クラブ活動などで、地味ではあるが着実にボランティア活動を続けているグループがある。〝福岡はなびら〟と称するその会は、弱視者を対象に、絵本や教科書を大きな文字に書き直し、製本して贈る奉仕グループで、このところ各地の教会を核に静かな拡がりみせている。

〝福岡はなびら〟の誕生は十二、三年前に遡る。東京はなびらの会員で吉祥寺教会所属の石川女史(八〇)が、たまたま福岡を訪問された時に呼びかけられたのがきっかけとなった。現在、光ケ丘教会の三沢マサ子さんは当初からの会員で、この会の会長であるとともにご主人共々面倒見のよい世話役でもある。教区内ではこのほか、学校のクラブ活動として採り入れているところも多い。福岡県立中央高校、鏡葉高校、海星女学院高等部、明光学園、筑紫女学院等があり、県外では熊本、鹿児島、萩市の光塩学院なども。はじめ四人で発足した会員もいまでは七十二人に増え、このほか資金の援助役に回って下さる賛助会員も多いという。毎年、クルシリヨの講師をつとめる田中幹子さんも、福岡はなびらのメンバーであったが所沢市に委られたあとも、せっせと教会や学校に出向き、既に多数のボランティアを育てている。

〝拡大写本〟4月例会

「弱視」―、専門家の説明によると、眼鏡等で矯正しても両眼の視力が〇・一程度あるいはそれ以下で、視力による社会生活は可能ではあるが非常に不自由な者、とされている。一人ひとりそれぞれの見え方があるといわれ、健眼者にとっては理解しにくく、一般にはまだ正確に知られていないそうだ。以前点字のボランティアをしていたという高橋愛さんは「何でスタスタ歩いて来る人が、盲学校にいるのか分からなかったのです。でも自分が弱視になって歩くことが出来ても、字が見えない人だっているということが分かりました」と語っている。

このほか、二百分では〝福岡はなびら〟の一会員ですーと謙遜されるお方に江頭千鶴子さん(六九)がおられる。福岡市西鉄薬院駅近くに住まわれる江頭さんは二十年来ボランティア活動を続けてこられた心優しいおばさんで、本格的に拡大写本に取り組まれたのは丁度洗礼を受けた昭和四十七年、ころからであった。ご本人はプロテスタントの信者であるが、マザー・テレサの大の共労者で、彼女を知る人々は皆一様にその使徒的活動の素晴しさを称える。江頭さんは五年前に亡くなられたご主人の遺志を大事にこの道に生かされているようだ。ボランティア活動で会場に不自由している〝福岡はなびら〟の話を聞き、自宅の一室を解放され、以来例会はしばしば江頭さん宅を利用させていただいていると聞いている。たまたま私が訪問した日も約二十人の人々が明るく楽しく写本発送の仕事をされていた。ここはカトリックも新教も仏教の人達も宗派の区別なく「いと小さき者」への奉仕に馳せ参じ、まさに、キリストの実在を思わせる和やかなひとときであった。

江頭さんには、齢すでに七十を過ぎた姉様が大阪におられる。やはり、弱視児童のため絵本や教科書の写本をこつこつ書き続けておられ、それを江頭さん達が複写・製本して、全国の盲学校や弱視学級へ無償でプレゼントしてこられた経緯がある。かって文部省に、国の責任で拡大写本を作るよう陳情したところ、「今のところあなた方の善意に頼るしかない」と返答してきた。その後江頭さんは複写機、製本機、断裁機等を購入、年間約三百万円をこえる私財を投じて活動を続けておられる。自宅にはボイス・ライブラリーも設け七〇〇本余のテープを貸し出すなど福音宣教への意気込みは格別である。こうして〝福岡はなびら〟は大樹の陰にありながらも、江頭さんの寛大な厚意と協力で今後一層大きく花開いてゆくことだろう。

ある弱視児童から次の様な手紙が届いていた――

こんにちは

わたしは群馬県立盲学校の六年生です。国語の本の字を大きく書いて下さって本当に有難うございました。今までの本はルーペを使って見ていたので、目が疲れて頭がいたくなって読みの時間がきらいでした。あの本をいただいてから、目がとても楽です。石うすの歌など楽しく勉強させていただきました。わたしは漢字が一番にがてです。でもこの本だとよく見えるのでがんばりたいと思います。

橋本登喜江より

いま最も切実な問題は、三年に一度廻ってくる教科書改訂の年が丁度来年に当たること。加えて最近特に中学校用の国語と科学の要望が急増してきたこと。従って弱視者教育の現場では、子どもの母親、教師、ボランティアの人々によって、いま教科書の拡大写本作りが必死に続けられているということである。

〝福岡はなびら〟のボランティア募集のチラシには「弱視の子ども達にとって、教科書をはじめ、店にあふれている立派な美しい絵本や物語は、文字が小さいためになかなか読むことができません。この気の毒な子どもたちにあなたの時間を少しだけ下さいませんか―」と呼びかけている。そしてこの奉仕活動は①誰でも手軽にできる②自宅で写本し、月一回の例会に持ち寄ってみんなで仕上げる③各人の能力に応じて書写、さし絵、絵の色塗り、糊はり、製本など分業もできる④完成した拡大写本は弱視学級や盲学校で利用される、など。〝福岡はなびら〟への資料請求または問い合わせは左記へ。

▽816春日市若葉台東三ノ三五
拡大写本グループ　三沢マサ子
(〇九二―五〇一―八六二二)
▽810福岡市中央区薬院一ノ五ノ四
江頭千鶴子
(〇九二―七四一―二五〇〇)

(佐賀・牧山記)

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 信仰と正義のために迫害される人
(布教) ベトナムにおける教会

困難な職場の事情もあったが
第六回移動青年の集いを開く

六月二日、福岡地区青年会主催の第六回移動青年の集いが、福岡司教館新館五階であった。

この集いは、県内外から市内へ新たに転入してきた青年と先輩の青年との交流、親睦を深めるために毎年催されている。今年は転入者七〇人のうち約十五人の他、遠く熊本からの四人を含む六十人の参加者でにぎやかだった。

集いは、福岡地区青年会の平野会長（大名町）の挨拶で午後一時半から始まり、担当者、来賓のことばの後、茶話会に移った。途中各小教区の青年の紹介や移動してきた青年の来福してからの感想、先輩転入者の体験談などを交えながら、午後四時過ぎ第一部を終了した。第二部は、会場を司教館下のグラウンドへ移しバレーボールを行った。第一部の堅い雰囲気に比べ、汗を流しながらあるいは応援をしながらのスポーツ観戦は和やかなムード一杯であった。そのあとは、時間の都合がつく者だけであったが、担当の竹森師を囲んでの夕食会も行われた。

畠山副会長（西新）談——予想を上回る約十五人の転入者を、この集いに迎えられたことほとても喜ばしい。しかし、仕事などで出席できなかった人があったことは残念でならない。後日の反省会では、ゲームなどを使った交流の時間をもっと設けてほしいなどの貴重な意見があったので、次回はこれらの反省を生かしながらもっと意義深いものにして行きたい。今回の集いは一つのきっかけであると思われるので、出席できなかった人も他の機会などを利用して、カトリック青年相互のきずなを深め協力し合って、都会生活での不足を補いながら、人生の一時期の糧とするように希望している。

七月の聖体礼拝当番教会

七月 七日 八王寺
七月 十四日 天神町
七月二十一日 黒崎
七月二十八日 小倉

(司祭異動)

六月二十三日付

▽直方教会主任 浦口 均（司教館）▽司教館 牧山 藤房（直方教会主任） 略敬称

暑中お見舞申し上げます

昭和六十年七月

福岡教区司教 平田 三郎
福岡教区司祭一同

小教区宣教共同体作りの検討
司祭職への召命活性化など

本年二回目の司教評議会（通算二十九回）が、六月四日午前十時半から司教館新館で開かれ、平田司教以下十四人が出席した。

つぎのことについて討議した。

一、教区司教評議会の規約（案）について——規約を決定し、司教の承認をうけた。ただし、規約中の人数の調整は司教に一任する。この調整が完了次第、規約が発効することになる。

二、教区・小教区の宣教共同体作りの具体化について——これについて司祭が信徒に働きかける。司教団の「日本の教会の基本方針と優先課題」に肉付けし、信徒の中に浸透させる。信徒に責任を持たせ要理などの協力を願う。信徒に宣教に対する自信を持たせる。宣教の場を信徒に与える。各小教区毎に司牧委員を決め、テーマを与えて研究させる、の意見が出た。

三、司祭職への召命活性化について——秦星中学校の入試に合格できない小神志願者への対策。中学入試の一年前位から受験の準備をさせる。入試に二度失敗しても小学生浪人を認めてよいのではないか。高校生以上の者にも召命の門を開いておく。召命担当司祭が各小教区を巡回し勧誘する、などが提案された。

四、教区青年大会への協力——十一月九～十日に行われる青年大会に、協力要請と準備会の経過報告があった。

五、〝生命、神のたまもの〟の小誌について——この司教団発行の小誌の内容のあらましの説明。

六、前原教会の設置の問題点について——前原地区では、月に一度生熊氏宅に三十人前後の信徒が集まりミサに参加している。教会用地を確保してほしい。

☆神学校援助の寄付金

一金 二百万円也
福岡市堅粕 田川チエ子様

微光

都合により編集が遅れた序でに、六月一日から三十日までの、日刊紙（朝刊）の折込広告数を調べた。これは福岡都市圏の、西日本（十九版）と朝日（十四版）に限ったものだが、六月十日が休刊日であったので二十九日分の枚数ということになる。なんと驚くなかれ、西日本には一八三枚、朝日では一四六枚のチラシが入っていた。広告には情報化社会の尖兵として、惜しみなく金が使われている。

▼情報の媒体にはいろいろ考えられるが、広告の果たす影響は決して小さくない。一例だが、ある教会が要理教室の案内のチラシを新聞に入れたところ、翌日三人の求道者の問い合わせがあったそうだ。情報の不足や無知は無関心と誤解の因になる。反社会的なニセモノの横行にも発展しかねない。逆に、情報過多も多くの弊害の種を蒔きやすい。今日の社会では、知り過ぎたための不幸や悲劇が余りにも大きいのであるまいか▼情報は速く正しくといわれるが、拙速は避けなければならないし、正確なものであるべきことはいうまでもない。取材合戦の功名心に毒されて、A新聞で生存中の人物がB新聞では殺されていたということもあり得る。また、豊富な情報の中から人間の役に立つものを選択することも大切であろう。福音宣教の基本方針にある「社会の刷新」は、情報の福音化にも通じるのではあるまいか。善い情報は善い実を結び、悪い情報は堕落を作る。

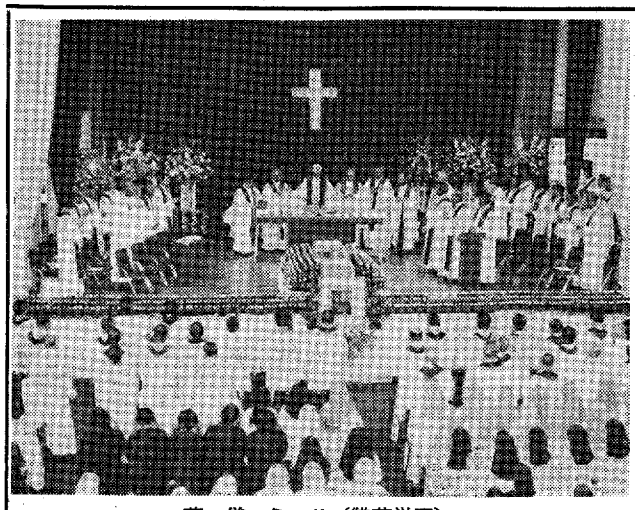
東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

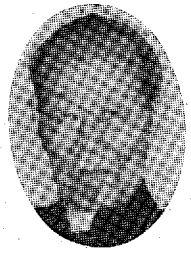
熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

永遠の生命を説き続けた人
深堀仙右衛門司教天父の傍に
すべて成し遂げられた91年

第三代福岡教区長であった深堀仙右衛門司教は六月二十一日早前十時四十三分、老衰のため長崎市小峰町の聖フランシスコ病院で逝去、九十一歳。葬儀・告別式は二十三日午後一時から、福岡市中央区御所ケ谷一、福岡雙葉学園講堂で行われた。式後直ちに遺体は火葬に付され、市内大橋のカトリック納骨堂に安置される。しばらくの間遺骨は、司教館新館チャペルに置かれる予定である。

一九七〇年一月、福岡教区長を辞任した深堀仙右衛門司教はわが一て司教館を離れて、熊本、湯布院八王寺、長崎三ツ山を転々として老後の静養を続けたが、福岡教区の十分の配慮を受けたといえないかもしれない。最終的には、長崎市三ツ山町のときわ荘（長崎純心聖母会経営）に安住の地を得て、最後の瞬間まで五年近くの温かい看護をうけて天国へ旅立つことができた。ここに福岡教区は全教区民あげて、教区の肩代りをしていろいろ手厚くつくしてくれた長崎大司教区、長崎純心聖母会、聖フランシスコ病院、熊本市のマリアの宣教者フランシスコ修道会、大分県湯布院の厚生年金病院、北九州市パリ外国宣教会八王寺本部のみなさんに心からの感謝の気持を表明するものである。


葬儀ミサ（雙葉学園）



三月十九日早朝、聖フランシスコ病院に入院中の深堀司教の容体が悪化したとの知らせをうけて、平田司教が長崎に向かった。到着時は小康状態で、死の危険は遠のいた感じであった。しかし、その後の病状は一進一退のくりかえしで周囲の人をハラハラさせていた。天命の六月二十一日は朝早くから出血がひどく、衰弱のため危篤の身になったが、ついに午前十時四十三分不帰の人になった。

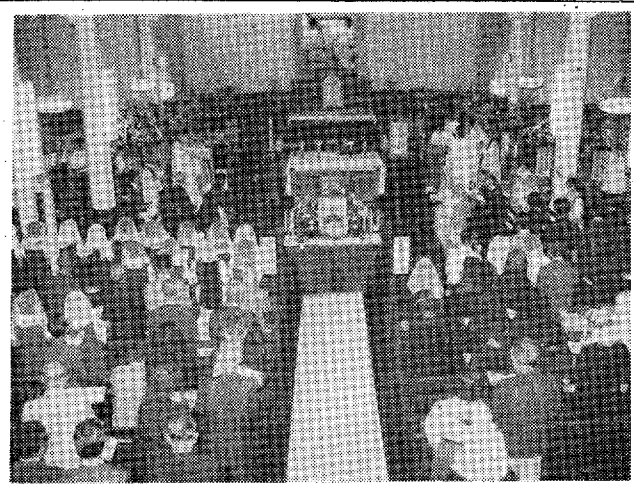
しばらくして、遺体は三ツ山ときわ荘の礼拝堂に移され、長崎大司教区当局や純心聖母会の深い配慮のもと、盛大な通夜と個人ミサや祈りが延々深夜までささげられた。また翌二十二日朝も、福岡教区の遺体迎えの一行が到着した午前十時半頃まで、ミサ・祈りの声が聖堂内に響いていた。いよいよ長年故司教が尽介になった修道院を出発である。福岡から差し廻しの霊柩車を先頭に、司祭・信徒が分乗したマイカー九台（福岡教区司祭信徒用六台、純心聖母会、葬儀社その他三台）が随伴して出棺となった。長崎を出発した一行は予定が大幅に狂い、午後三時四十分近くに大名町教会に到着した。

福岡市大名町教会での通夜は、午後七時から、四百人余りの信徒を交えて平田司教が司式し、社会生活を体験したあと司祭、司教になった故人の信仰と偉業をたたえる説教をした。深堀司教は三十六歳で神学校に、四十二歳のとき司祭に叙階された。通夜のあと、司祭有志により個人ミサが深夜まで続けられ、故人の冥福を祈った。ミサ後も翌日の葬儀まで、柩の傍では不寝番で福岡市内の修道院・教会が交替で祈りをささげた。

雙葉学園での葬儀ミサ・告別式は、しめやかにそして盛大に行われた。平田司教主司式のミサに長崎大司教里脇枢機卿代理松永司教をはじめ、鹿児島糸永司教、大分平山司教、那覇石神司教、高松深堀司教、東京、大阪、横浜、広島の司教代理、その他五、六十人の司祭が共同司式し、約千人の信徒が参加した。深堀高松司教は追悼の説教で、故司教の生涯を「すべては成し遂げられた」（ヨハネ十九・三〇）を引用して讃えた。

告別式でも、故司教の信仰・祈りの人を力説する弔辞が多く、中でも故人の十八番であった「永遠の生命」の説教は余りにも有名であった。

故深堀司教は一八九四年六月十三日生まれ、一九三六年七月福岡で司祭叙階。一九三八年十月黎星中学校長、一九四一年三月司祭の身分で福岡教区長を拝命。一九四四年五月福岡司教に祝聖。一九七〇年一月福岡教区長辞任。二十九年司教職だった。その他は、紙面の年間の教区長、約二十六年の福岡一都合で割愛。


大名教会の通夜

御会葬御礼

福岡教区第三代教区長故深堀仙右衛門司教の教区葬に際しましてはご多用のところまた悪天候にも拘らずわざわざ御会葬賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

昭和六十年七月一日

福岡市中央区浄水通三九
カトリック福岡司教区
福岡司教　平田　三郎

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃 駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃 ダイエー城野店3階☎922－5637

ガストン・オーブリ師帰天
福岡大神教授中心の宣教活動

元福岡サン・スルピス大神学院院長ガストン・オーブリ神父（七七）は、二月二六日カナダで病死、遺体は三月二日、モントリオール大神学院の墓地に埋葬。

オーブリ神父は、一九〇八年二月二十六日カナダのセンポリカルプに生まれ、一九三三年六月十日モントリオールで司祭に叙階された。一九三五年、フランスのイシーでサン・スルピス会に入り、まもなく宣教師として来日した。一九三八年から一九四九年まで（戦時中五ケ年の抑留）、福岡サン・スルピス大神学院教授、一九四九年から一九五七年までは同大神学院長をつとめた。司祭養成のために不滅の足跡を遺したが、一九五七年以降故国で過ごしていた。

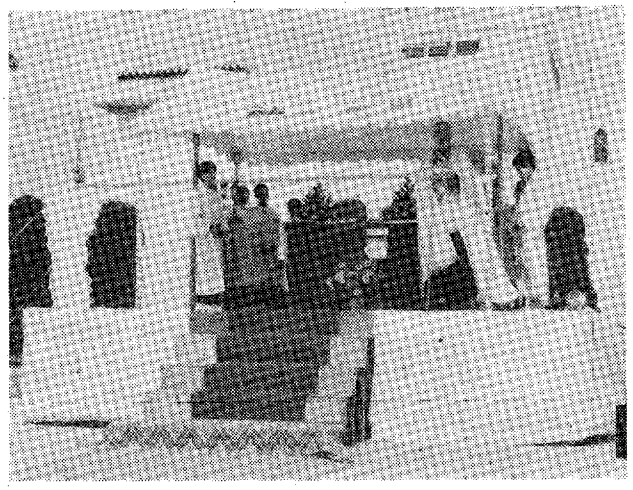
七月命日の司洗

▼ヤコブ平田勇神父一九八〇年七月二〇日元西新教会主任
▼ジョセフ・ブルトン神父一九五七年七月二十五日元呼子教会主任
▼ジョルジュ・ラクレア神父一九八二年七月二十五日元門司天使園
▼ルネ・ルリエ神父一九七〇年七月二十八日元本城教会主任

飛脚

▼北九州パリ・ミッション会のジュリオ・ベルトラン老師は六月六日、病弱の事情もあって、北九州市八王寺本部で内輪だけの司祭叙階六十周年祝いを行った。一九二五年六月六日、司祭に叙階。

▼六月九日午後二時から、島崎教会は恒例の聖体行列を挙行した。教会から熊本修道院（マリアの宣教者フランシスコ修道会）までのコースであったが、晴天のこともあってか荒尾市や市内の信徒二五〇人、司祭六人の参加で盛会であった。主任司祭マクナリ師の捧持する聖体への信仰告白と讃美の歌声は、周囲の人びとの注目を集めていた。



島崎教会の聖体行列

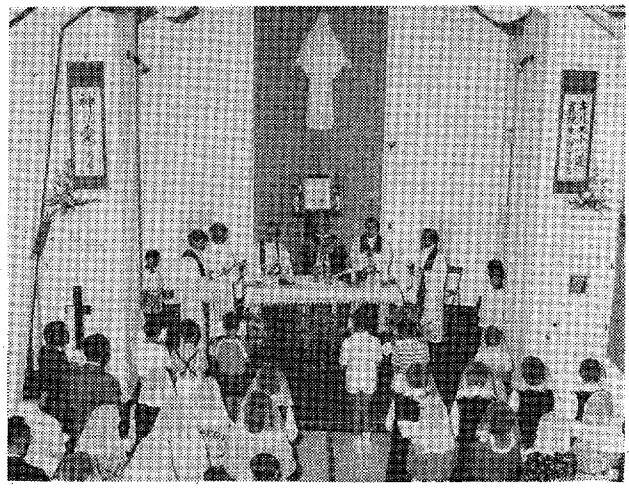
▼昭和三十年四月十日に創立された伊万里教会は、平田司教を迎えて五月二十六日（聖霊降臨祝日）創立三十周年祝いを行い、一二〇人の神の家族が喜びを分かち合った。この祝賀会には、ミラノ宣教会総長（伊万里教会主任はミラノ会のパスカーレ神父）、西木場の原塚、聖母の騎士の坂谷、当教会出身の田布の松尾、小倉の深堀の諸師の顔も見えていた。

▼イエズス会福岡レジデンス（福岡市中央区輕国一―十一）の祝別式が、五月二十七日午後四時から行われ、教区内外のイエズス会員や教会・修道会の代表、関係ある信徒などで院内は一杯であった。

▼二十四日午後一時から、同和問題にとりくむ福岡県宗教者連絡協議会の結成大会が、福岡市中央区薬院の郵便貯金会館ホールで開かれた。県下の十四教宗派から約千人が参加したが、カトリック側も三十人の信徒が要望に応じ出席した。そして、「国民的課題としての部落問題の解決にむけて宗教者として新たな決意をもってとりくむ」の大会宣言を採択した。

▼福岡サン・スルピス大神学院は五月二十九日午後四時から、助祭・司祭候補者の認可式を行った。長崎四人、大分二人が認可され、司祭職への決意を新たにした。

▼六月に二つの司教祝聖式があって、日本教会は喜びに包まれた。九日に新潟教区長佐藤敬一司教、十六日に広島教区長三末篤司教の祝聖式が行われた。司教団の世代交替も進んでいる。



伊万里教会創立30周年祝い

会合と催し

☆平田司教
7月2日　司教のご霊名祝い11時
7日　教区修女連総会10時半
14日　教区財務説明会（福岡地区）2時
27日　財務説明会（熊本）

☆福岡黙想の家
7月6～7日　老司教会社年黙想
13～14日　コロピエノ合唱団
18日　ミカエル会
21～22日　雙葉小学六年研修
25～8月2日　御受難修道女会シスター黙想会

夏期八日間の霊操

真夏の中、静かな沈黙、懇切な指導、神の声を聞き分ける生き方を養う黙想会です。4日間だけの参加もできます。前半か後半か区別して申し込んでください。初参加もOK。

☆指　導　（ヘルパー）主宰・泉類治神父様・援助修道会Sr・援助マリア修道会Sr
★場　所　熊本玉名・黙想の家　玉名下車徒歩7分
★日　時　'85／8／3・6時夕食～8／11昼食
前半8/3～7日午後　後半8/7夕～11日
★費　用　1泊につき4,000円　★定員15～18名
★申込期限　7月18日・先着順・
★申込先　〒824福岡県行橋市西泉4－8－28
☎ 09302-2-4493　追立　季治
（ご一報くだされば初参加者には、案内書送付）

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想の大御所
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

ある神父さまの余技

「水脈探知」のことなど

牧山　満安

こんにち、文明国においては水の大量汚染、発展途上国においては深刻な水不足が叫ばれている。水に対する関心が高い。二十一世紀を制するものは原子力と水だと断言する人もおり、新聞社説では「国連水会議」にも言及している。半面、水を観察する人々には、水には神秘があるという。ある形の容器に水をいれると、自己主張することなく、容器の形になる。いったい水は本来どんな形なのか。草木に水をあたえると、草木は成育する。なぜ水にこんな活力があるのか。われわれは先祖以来水の恩恵に浴してきたが、水はいつも、われわれに幸福・平和をあたえたわけではない。突如として豪雨となり、大洪水となってあばれ出し大きな災害をもたらすことも少なくない。

毎日の生活で、とりわけ日本人は水に恵まれてきた。それだけ普遍的で無尽蔵だが、その水の宝庫を掘り当てる技術は一般にあまり知られていない。

×　×　×

小さな道具をもって地面に立ち、その操作によって、地下水がどの方向に、どの位の水量で、どの位の深さの所に流れているかをピタリと予測、発見できるという技術は、いわば超自然的能力に近い。そのような特技を持った方がおられると申て上げても、にわかに信用していただけないかもしれないが日本各地で教会関係の施設や、老人ホーム、修道院などが新設される場合、よく招かれてお世話なされ、既に三十数ケ所の井戸掘りを指導してこられた神父様がおられる。

現在、静岡県函南のマリア山修道院長・友永徳一神父様（七五）がその人である。

私が友永神父様を知るに至った経緯は、昨年夏、長崎県外海町のド・ロ神父記念館などを訪問した時である。その日、たまたま外海町の文化企画課長・松下涼氏から養護老人ホーム聖マルコ園建設当時にまつわる友永神父様の水脈発見の話を聞かされたのがご縁だった。

その後、人一倍好奇心の強い私は、水脈探知のしくみについて興味を覚え、図書館に行っては水に関する本を漁り読んだ。その中、是非一度会ってみたいという気持が日ましに募り、松下氏から聞いたメモを頼りに思いきって手紙を出してみることにした。

手紙は何回も転送されて届いたらしく、かなり経って前記の住所から返事がきた。それは一日千秋の想いで待ちわびた便りだった。冒頭、優しい文字で、早速ご質問に答えましょう、という書き出しで次のようにしたためてあった。

一、神言会のオランダの神父様が或る日その実演をして下さった時、私に「あなたもその能力があるから練習をしなさい」といわれたのが動機となったこと。

二、水脈探知にはいろいろの道具があるが、昔から使われているもの、(イ)分銅と、(ロ)フランス語でバゲットと呼んでいる鋼鉄の針金を曲げて作った魚型の器具がある。分銅は親指と人指しゆびでにぎってその運動を見る。バゲットは両手で逆ににぎり、引き絞ってその回転を待つ。水があればバゲットは、しっかりにぎりしめた両手の圧力を振り切って動きはじめるのです。訓練の方法は次の通りです

ーと、詳しく書かれてあった。

その後、十数回に及び質問の手紙を出しては懇切な返事を賜った。或る日神父様は、もしよかったら一度出て来ませんかーとお誘いをかけて下さった。私共は摂理とも思えるこの機会を有難く思い、ご案内に甘えて、昨年末、富士山麗の修道院を訪ね、黙想を兼ねて三日間特訓を受けた。霊的にも、技術訓練にもみっちりご指導いただいたことは終生得難い体験となった。

つい先日もお元気な便りがあって、「関西の或るカトリック系の学園の校長さんがわざわざ地図をもって訪れました。約二万坪の土地を購入したい由で、そこに水が出るか出ないかを知りたいというのです。二万分の一の地図の上での水脈探知でしたが、すぐ反応が出て、水脈四本がでました」。

（詳しい地図の上での探知も可能である）

修道院に別れを告げて帰ろうとした時、神父様は溢れる慈愛をこめて私の肩を叩きながら、「牧山さん、あなたが第一号の後継者です。これからしっかり練習に励んで下さい。神様が人間のために準備して下さった地下の資源を、平和と幸福のために使って下さるよう祈ります」と。私達は、富士山を背景にそびえる、美しいマリア様に最後の挨拶をして、再会を誓いお別れしたのでした。

（佐賀教会信徒）

向かって左端友永師右端は筆者

～より良い家庭を目指して～

今年も、より豊かな結婚生活のための集いを開きます。生涯に一度、しかし、一年でも早くお二人で参加してみませんか

日時：1960年8月2日夜～4日まで

場所：黙想の家

連絡先：鈴木神父

(092)871-7108

深堀　純・邦枝

801-5351

信頼に誠意と技術でこたえる

株式会社　藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

福岡支店長　池内満

福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市中央区梅光園3-3-322

大石保険事務所　大石真澄

〒810　TEL 552—8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長　松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1—4—23

TEL 771—3657

吉川病院

院長　吉川東陽

福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 聖体の秘跡に対する信心
(布教) ナイロビにおける国際聖体大会

「日本の教会の基本方針と優先課題」から何を学ぶか
宣教上できることを実践する

一九八一年春の教皇訪日が、日本の教会に大きな宣教的な刺戟を与えたことは否定できない。一億二千万の同胞をかかえながら、依然として四十万そこそこのカトリック人口の低迷状態が続いている日本の教会に、どうしたんだろうか、なんとかしなければの声が出て当然である。中でも、隣りの韓国カトリック者の爆発的な急増ぶりを耳にするにつれて、ますます日本の教会に対するさびしい思いが募るのではあるまいか。

勿論これまでの、日本の司教団が福音宣教に怠慢であったわけではない。特に、一九七〇年以降、司教団は四つの福音宣教に関する指針を出して、国内教会の発奮を促していた。即ち一九七二年六月に出た司教団教書〝社会に福音を〟をはじめ〝日本における宣教について〟(一九七六年一月宣教司牧司教委員会)、一九七九年六月発行の〝日本の社会の福音化を目指して〟(宣教司牧センター現在の日本宣教研究所)、宣教司牧司教委員会の〝洗礼のめぐみを一人でも多くの友に伝えよう〟(一九八二年三月)などがある。

八〇年代の教会を取り巻く社会情勢には、経済大国のひずみがもろに現れてきた。暴力、落ちこぼれ、差別などの多くのストレスに苦しむ日本社会は、心の糧を求めている。豊かな収穫の時を迎えたいま、日本の教会は総力をあげて働かなければならない。働き手が少ないと嘆くかわりに、如何に宣教の質を高めるかに努力を払う必要があると思う。一本の糸は弱いものだが、三、四本まとめると強い糸になる。一人の宣教者・教会の活動がバラバラではそれほどの成果は見られないが、いくつかの教会が協力して事に当たれば遠ほ開くのではないか。その点を日本の教会が考えて宣教にがんばってほしい、との気持が「日本の教会の基本方針と優先課題」(一九八四年六月日本司教団教書)に盛られているような気がする。今回はその基本方針について考えたい。

八月の聖体礼拝当番教会

八月 四日 門司
八月 十一日 門司港
八月 十八日 戸畑
八月二十五日 若松

カテドラル建設資金に

一金三十万円也 横尾タツノさま
(故横尾精様の香典返し)

1 私たちカトリック教会の一人ひとりが、宣教者として、まだキリストの食卓を囲んでいない人々に信仰の喜びを伝え、より多くの人を洗礼に導き、かれらとともに救いのみ業の協力者となる——

「全世界に行き、すべての者に福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16・15)とか「あなたたちは行って、すべての国の人々を弟子にしなさい。父と子と聖霊のみ名に入れる洗礼を彼らに授け、わたしがあなたたちに命じたことを、すべて守るように教えなさい」(マタイ28・19—20)の主のみことばをかみしめなければならない。偉大な宣教者キリストは、信頼をこめて私たちを後釜に考えてくださった。あなたは宣教者なのだ。たとい羊を狼の方に送り出すような宣教上の困難、危険があっても、へこたれてはならない。「私は世の終わりまであなたとともにいる」とのキリストの励ましによって宣教一すじに、後をふりかえってはなるまい。信仰の喜びを独占することはゆるされない、またキリストの食卓を囲んでいない他の兄弟たちにも分配する責任が残されている。とにかく、四十万信者が個人としてあるいは共同体として、宣教上できることを勇気と信頼をもって実行する以外にはない。未洗者に近づいてその苦悩、人生観を聞きながら、キリストのみことばをその薬として差し出す役目があなたを待っている。これからのあなたは教会とともに、内から外への発想の転換が必要であろう。

2 今日の日本の社会や文化の中には、すでに福音的な芽生えもあるが、多くの人々を弱い立場に追いやり、抑圧、差別している現実もある。私たちカトリック教会の全員が、このような「小さな人びと」とともに、キリストの力でこの芽生えを育て、すべての人を大切にする社会と文化に変革する福音の担い手になる——

教会はいろいろの人びとや環境に囲まれている。福音的な環境もあれば反福音的な人にも出会う。福音的な芽生えには積極的に学び協力し、取り入れる寛大さが大切である。反福音的な社会、人びとには、抑圧・差別・暴力の犠牲者(小さな人々)とともに変革を迫って行く態度が求められる。社会の福音化はことばではなく、小さな人々への深い愛情で実現する。

(司祭異動)

▽熊本・手取教会主任 ジョセフ・ブロデリック(和歌山・海南教会主任)略敬称

微光

流行語の氾濫といえばそれまでだが、国際化時代が持てはやされる世の中に変わった。当代の指導層・エリート陣営はいうに及ばず、都市や町でも「国際的な」形容詞で表現することを誇りにしている。国際姉妹都市と名付ければ、世界に通用する一流大都会になったような気になるのだろうか。ミス・インタナショナルは応募した範囲での世界の美女だが、それ以上の者が存在するに違いない▼かつての日本では欧米に追いつき追い越せが合言葉であったが、日本からみた欧米は先進国になるための見本であった。欧米の思想、生き方や流行一般のすべてをよいものと判断し、無条件に採用してきた。このとき、すでに舶来型挙行と物心両面にわたるサル真似が同時進行した。外国語には堪能だが国語に弱い人たちを、成熟した国際人と認知する者はあるまい。自国の文化さへも大切にできない人が、相手の文化を尊重できるのか▼国際化とは、一方的に外来文化を移し代えることではない。人類共通の、神聖にして侵すことのできないものを共有しながら、それぞれの立場を尊重しあうことではないか。人に背を向けたままで挨拶する(ケツ礼?)者には、国際人の資格がないような気がする。平和を先取りする国際人になるため、永遠に通用する中身を所有し宣伝しよう。一時的な流行に溺れることなく、弾力性のある真理を血肉として分かち合う喜びを作ろう。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

韓国ではいま ①

――民族の悲劇的宿命をのり越えて――

六月下旬幾つかの用事を携えて韓国を訪れた。昨年五月汝矣島（ヨイド）の広場で、教皇様司式による一〇三人の列聖式に参加したあの巡礼コースの抑え難い感動と、その後、日本司教団から出された教書「基本方針と優先課題」の内容が重複し、信徒の一人として何かしなければならないという使命感と焦燥に駆られたのだった。韓国の飛躍的教勢の伸びは現代の奇蹟とさえ言われるが、その背景は何か、その根源はどこにあるのか――こうした素朴な疑問が韓国の宣教事情をもっと知りたいという気持ちにだんだん変わっていった。考えてみるとこの一年、曲折はあったものの、どういう風の吹きまわしか第二の故郷でもある韓国とのつながりが深まりゆく中で幾つかの仕事に関わらざるを得ない成りゆきになってしまった。この度はそれらの仕事の確認や報告、連絡などの宿題を果たすための旅でもあった。

ソウル市の中心、プラザホテルから歩いて光化門の方向へとむかう。高層建築の林立、人の波、車の波、まるで東京丸の内街を歩いているみたい。ソウルは賑やかな都市だ。飾り気がなく活気に漲っていた。さ来年開かれるソウル・オリンピックのせいもあろう。地下道を渡り、聳え立つビルの谷間を縫って約十五分、救世軍の事務所を右に、ゆるやかな石畳を登りつめたところに、崔神父のおられる韓国教会史研究所がある。ことし の秋来日が予定され、わたしたちのために文化講演会を引き受けて下さった神父様である。お訪ねすると、流暢な日本語で遠来の労をねぎらってくれた。親しみのあるおだやかな口調である。八月末インドで開催される国際会議のシンポジウムに出席したあと、日本へ立ち寄るのが都合がよいと仰言っていた。神父様は、日本に招請されたこと、そして韓国教会の特殊な現状と福音宣教について話す機会を与えられたことに感謝された。アンドレア崔襲祐神父様（六三）は、法政大学を卒業後ベルギー、ドイツなどに留学し、教会史を専攻、神学博士の学位をもつ。また明洞教会（司教座大聖堂）の主任を歴任のほか、カトリック大辞典の編纂などを手がけ、国際的視野をもたれる学者神父様でもある。九月初旬の講演に期待したい。

さて、その足で明洞大聖堂に立ち寄ったところ、正面聖歌台にちょうどドイツからのパイプオルガンが設置されたところだった。偶然に広島のエリザベト音楽大のホーン神父様にお目にかかる。この教会の事務長、金さんが昼食に韓国料理をご馳走してくれた。よも山ばなしの中で金さんは、最近の教会の動きについて、「一年間に大体五、〇〇〇人位の信者が増えている計算になるんですが、手放しで喜ぶわけにもいきません。落ちこぼれだって随分いるんですヨ年々増え続けるこの人達の管理も大変です。教会の魅力ですか？まあ言ってみれば、教会を訪れる人達の悩み事に、教会の役員さん達が手分けして、根気よく相談にのってあげていることかもしれません。それと教会が社会に密着し、福祉に力を注いでいること、特に盲目の人達の救済に積極的に乗り出していることも好感が持たれているようです――」。

また教友の一人、金承南氏はいう「だいたい朝鮮という国は、昔から絶えず北と南から外敵の侵略を受け、国土を蹂躙されてきました。しかも民衆は自国の支配層による二重の抑圧に苦しみ、その長い間の蓄積が人々の心に深い傷を残し、不安とおののきを与えてきたのです。それはわれわれ民族の悲劇的宿命です。そして私達のこの不安は明日にでも現実として襲って来ないとは誰も保障できないのです。この気持ちを判って頂けますか牧山さん！ですから私達は皆心から安寧を乞い願っているのです。」

――想えばその日彼と再会出来たのは四十年ぶりだったのである。我等の母校、新義州公立商業学校の四年先輩に当たる。話が逸れるが、ことし九月末、終戦後はじめて日・韓合同同窓会を博多で開く訳だが、私は日本側の準備委員として、金承南先輩は韓国側の同門会幹事長として、彼が指定した打ち合わせ場所が明洞大聖堂の待合所であったのだ。私達はこの時はじめて二人が一つの信仰に結ばれた教友であることを知って感激した。同窓会の準備についてひと通り話が済んだあと、再び教会の話に及んだ。

話が進むにつれ、身振り手ぶりが入り、感情の高まりがじかに伝わってくる。彼は真剣に韓国の歴史と韓国人の心を語ってくれた。

「わが国は李朝時代、国教として儒教が栄えました。忠・孝・長幼の序（三綱五倫）が朝鮮の習俗に馴染んだのでしょう。今でも先祖崇拝と親に対する礼儀は大切にします。儒教では天の概念は認めていますが、しかし天に至る人の道については書かれていません。儒教の道徳の上に、天主教の要理とキリストの愛の教えが、いわば二重構造となって無理なく民族の心に受け入れられているのではないでしょうか。――こちらの信者の中にもナイロン信者（しっかりしてないという意味か？）やガラスのような信者（透き通って存在不明？）が大勢います。牧山さん、韓国の多くの教友が日本の信者を大変尊敬しているのをご存じですか？。日本では長い間鎖国政策があったでしょう、しかし守りにくい状況の中で命をかけて信仰を守り抜いてきた人々、そしてその子孫の方々、そして数こそ少ないですが日本四十万の信者の方々は、韓国六百五十万の教友に較べてどれ程素晴らしい値打ちがあるかもしれません。私達は教友に、日本の信者のように真剣になりなさいといつも励ましています。宣教は数も大切ですが、中身はもっと大事と思います」。

彼は名残り惜しそうに私の手をとって、日本語で主禱文を唱え、旅路の平安を祈ってくれたのだった。

（佐賀・牧山満宏氏）

パスカル語録

☆ただ通りすがるだけの町ならば人はそこで、尊敬されたいとは思わない。けれども、そこにしばらく滞在しなければならないとなると、そのことを気にする。しばらくとは、どれだけの時か？われわれの空しい惨めな人生に相応したひと時。

☆人間は、死、悲惨、無知をいやすために、それらをあえて考えないように工夫した。それらの悲惨にもかかわらず、人間は幸福でありたいと思う。幸福でありたいとしか思わないし、またそう思わずにはいられない。だが、それをなしとげるためには、人間は自ら不死にならなければならないであろう。だが、それはできないことなので、彼は死や悲惨をあえて考えないように工夫した。

☆ソロモンとヨブは、人間の悲惨を最もよく知り、最もよく語った人である。一方は快楽の空虚を、他方は災禍の実在を知った。

司教座聖堂建設のための分担（協力）金の送り先

小教区の場合、

一、普通預金口座一〇六一四〇三
　福岡銀行薬院支店
　宗教法人カトリック福岡司教区
　平田　三郎

注＝送金したことを司教館に通知してください

二、振替口座福岡六―二〇七二九
　福岡カトリック司教区

注＝通信欄にカテドラル建設資金の分担（協力）金と記入してください

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2―0646
〃 駅前5秒店 ☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641―7177
〃 ダイエー城野店3階☎922―5637

聖ペトロ聖座献金（6月23日）

大名町	170,000	小郡	8,607	天神町	14,000
浄水通	35,000	馬渡島	10,820	黒崎	36,500
光ケ丘	51,186	直方	6,000	八王寺	5,300
大楠	10,292	新田原	48,918	水巻	27,245
箱崎	20,000	行橋	20,370	飯塚	12,131
笹丘	23,642	呼子	13,733	田川	11,000
西新	25,800	佐賀	20,000	手取	18,000
美野島	7,000	唐津	7,710	荒尾	16,000
茶山	17,938	伊万里	8,778	人吉	3,200
高宮	81,600	鳥栖	19,025	本渡	26,200
老司	31,467	武雄	4,800	水俣	6,000
吉塚	18,082	多久	2,500	大江	27,000
志免	4,600	松島	6,500	崎津	25,100
古賀	34,986	門司	13,622	島崎	46,500
二日市	39,000	門司港	8,767	玉名	13,000
久留米	35,930	小倉	65,190	菊池	6,000
大牟田	9,800	湯川	26,716	八代	8,000
今村	100,410	戸畑	28,147	武蔵ケ丘	42,286
木郷	42,585	若松	7,480	合計	1,430,463

会合と催し

☆平田司教
8月3～5日　福岡少年少女夏季練成会（皿山）
3日　健軍さゆり園起工式
6日　司祭評・常任委員会
9～27日　国際聖体大会へ
15日　墓地ミサ（大橋）
19～21日　教区カトリック幼児教育連盟研修会
25日　地区青年練成会
27～31日　聖座訪問（義務）

☆福岡黙想の家
8月2～4日　マリッジエンカウンター集会
5～8日　イエズス村
9～13日　六甲学院教師の研修会
13～18日　マリア会司祭の黙想会
18～24日　サレジオ修道会の黙想会
23～30日　聖母の騎士会の黙想会

（教）（区）（人）（事）

八月二十一日付

▽広報教区担当兼教区報編集長渡辺隆義師（小郡主任）

山田成章師退任のあいさつ

八年間、悪筆をもって教区報カトリックの紙面に汚点をしるし、読者のみなさんに迷惑をおかけして参りましたが、今回辞任が認められ、教区報編集の仕事と広報教区担当の職務から解放されることになりました。長い間、寛大なお心で購読して頂き、ご支援、ご協力とともに心から感謝申し上げる次第でございます。在任中、魅力ある新聞作りを心掛けていろいろ努力したつもりでしたが、浅才の上雑務に追われて、所期の効果を見ることができなかったことはかえすがえすも残念です。特に、教区全地域にわたる取材活動が不足し、福岡地区周辺のニュース報道に絞られた嫌いがあったことは否めない事実でした。後任の渡辺隆義師は、若くて優秀な文筆家です。小郡主任のまま、引き受けてくれます。よろしく願います。

教区巡回講演会
韓国の崔神父

韓国教会を代表する歴史学者崔神父が、国際的視野から、今後のアジアにおける宣教の展望と韓国教会の飛躍的発展の背景について語り、実践的体験と豊富なうん蓄を傾けて、福音宣教の在り方と信徒使徒職について多くの示唆を与えてくれる。九月一日から十一日までを予定しているが、いつ、どこの地区の講演になるかは確定していない。（七月二十五日現在）

この講演会は、教区・小教区の活性化のために、福岡教区信徒使徒職協議会が主催するもので、福岡司教区の後援となっている。

崔韓祐（チェソギウ）神父は、一九三二年生まれで、法政大学卒業後、ベルギ・ドイツで教会史を専攻（神学博士）。韓国ソウル教区司教座聖堂（明洞教会）主任を歴任し、現在、韓国教会史研究所所長である。

崔神父は、八月二十五日から八月二十八日まで、インドのボンベイで開催される「第三世界の教会史叙述に関するシンポジウム」に出席した後、来日することになっており、残暑厳しい時期だけにかなりの強行日程となるであろう。福岡教区での講演会は「韓国カトリック教会の現状と福音宣教について」依頼しており、韓国式福音宣教の内容が注目される。

第22回カトリック社研セミナー

日本の教会の変革をめざして
――「基本方針と優先課題」を考える――

とき　1985年8月23日～25日
ところ　横浜市中央区山手町88　横浜雙葉学園
参加費　5,000円（1日のみ2,000円、資料代を含む）当日会場受付でお納め下さい
締切日　8月15日、ただし宿泊ご希望の方は宿泊費（ホテル一泊朝食付4,700円）をそえて8月10日までに必着するようお申し込み下さい
申込み先　カトリック社会問題研究所
セミナー準備委員会
〒160 東京都新宿区北新宿1―33―20
TEL (03) 362―4659

日 / 時間	8月23日（金）	8月24日（土）	8月25日（日）
9.30～9.45	Ⅰ 開会挨拶		8.45　ミサ　於 サン・モール会修道院聖堂
9.45～12.00	Ⅱ 社会の福音化と日本の教会 横浜教区司教　浜尾文郎 共同通信社専務理事　酒井新二 ＜司会＞社研幹事　山内継祐	9.30～12.30　Ⅳ アジアの現状と日本の教会 ベリス・メルセス会宣教修道女会　弘田しずえ 韓国・釜山教区司祭　尹（ユン）景哲（キョンチョル）	10.00～12.00　Ⅵ 世界の動向と教会の対応 関西大学教授　橋本昭一
13.00～16.30	Ⅲ 分科会	13.30～16.30　Ⅴ 分科会	13.00　Ⅶ 分科会報告
		17.00～19.00　懇親会	13.45～14.45　Ⅷ 霊的講話 宣教基本方針に適する信徒とは 社研指導司祭　J・ムルグ
			15.00　Ⅸ 閉会挨拶

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531―3831
夜間 521―0820

祭壇・洗礼盤他
素材 石 理石 大理石 御影 そ の 他
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

▽四月十日からジン不全のため福岡市城南区七隈の福岡大学附属病院に入院加療中であった牧山藤房師は、人工透析器の装着によって経過が良く、七月一日退院した。現在、司教館で病後の静養生活を過ごしている。

▽七月二日、平田司教のご霊名の祝いが司祭団とともに行われた。浄水通教会でささげられた共同ミサに五十九人の司祭が参加したが「キリストの教会の礎となったペトロのように、私たちも現代の教会の堅固な土台となるよう努力しよう」との司教の説教があった。

▽教区修道女連盟の総会が、七月七日午前十時半から、福岡市中央区御供所ケ谷の福岡聾学園で開かれ、七十人余の出席があった。

▽七月十四日午後二時から、新しい宗教法人法規に基づく教会会計事務の説明会が司教館ホールで行われた。平田司教の私的財務顧問木付茂氏の説明には、福岡・佐賀・北九州の教会会計事務担当者多数が出席し、具体的な会計事務の事例について質疑応答があった。なお、熊本地区の教会会計事務の説明会は、七月二十八日、手取教会の信徒会館で開かれる。また、同日、司教館新館、故深堀仙右衛門司教の通夜、葬儀・告別式に関する反省会があり、今後のために有益な提案や反省点が示されて参考になった。

▽七月七日、細川ガラシア夫人を追悼するミサが午前十時半から手取教会でささげられ、二五〇人の信徒が参加した。ミサ後、信徒会館で、ガラシア夫人ゆかりの細川熊本県知事夫人の話しを聞き、パーティ形式の懇談で楽しい一時を過ごした。

▽八月三～五日まで、福岡地区教会信徒の小学四年から六年生の（希望者があれば中学生も受け入れる）男女を対象にした練成会を、福岡市南区皿山四丁目の伝道所で開催する。会場は県警自動車試験場のすぐ近くにあって、教区所有の一、五〇〇坪の敷地の一部には、大名町教会の旧司祭館が移築されている。三日間の練成会中二日目には、九時半から平田司教のミサがあり、三日目には、閉所式のミサを山田成章師がささげる。

▽広島被爆四十周年平和慰霊行事が、八月四日～六日まで、幟町教会（司教座教会）を中心に、広島市周辺の教会で催される。八月四日には、祇園教会の九時半のミサと映画、三篠教会の九時のミサと被爆体験を聞く集い。翠町教会の九時半のミサと映画・座談会、幟町教会の九時半のミサと平和の祈りの集い。廿日市教会の九時半のミサと広島・長崎での被爆体験を聞く小教区の集い。八月五日には、午後四時から幟町教会で、浜尾司教の平和講演と座談会（幼稚園二階ホール）。六時から、参加司教たちと司祭たちが共同ミサをささげ、原爆犠牲者の慰霊と平和を祈願する。平田司教もこの日の行事に参加する予定である。七時十五分頃から市内の平和行進をはじめて、約一時間で平和公園に到着、祈りをささげて八時半解散する。八月六日には、広島市の行事が中心であるが、平和公園供養塔前において、県宗教連盟主催の慰霊供養行事が午前六時十五分から、また慰霊碑前では八時から、広島市平和式典が行われる。

▽八月十五日午後六時から、野外ミサとパーティが大楠教会で。他教会の信徒や一般人を歓迎する。また、参加者の夕食は準備する。

▽熊本県の少年少女練成会は、八月八日～十日まで、菊池少年自然の家で開催する。

八月命日の司祭

☆エミール・ベノア神父（パリ外国宣教会）一九六二年八月六日元門司港教会主任

☆パチフィコ・マルケシーニ神父（フランシスコ修道会）一九八〇年八月八日元熊本待労病院付

☆アルベルト・ブルトン司教（パリ外国宣教会）一九五四年八月十二日元福岡教区長

☆ジョン・オーサリバン神父（コロンバン宣教会）一九八三年八月十二日元熊本地区長

☆ミカエル木村義己神父（ブラジル・マリンガ教区）一九六七年八月十四日元馬渡島教会主任

初秋の結婚準備セミナー

お二人の幸せな結婚生活のためのよい心の準備となるものです

スタッフ　司祭、医師、経験のある夫婦、その他

会　費　1人4,000円（コースの全てを含む）

福岡会場　福岡司教館内憩いの家
福岡市中央区浄水通39

第1日目　8月29日(木)　第2日目　8月31日(土)
第3日目　9月1日(日)　第4日目　9月5日(木)
第5日目　9月7日(土)　第6日目　9月12日(木)
平　日　7：00PM～9：15PM
日曜日　1：30PM～6：00PM

問い合わせ先　福岡司教館　TEL 092—522—5139
光ケ丘教会　〃　092—581—0570

熊本会場　手取カトリック教会
熊本市上通町3—34

第1日目　8月28日(水)　第2日目　8月30日(金)
第3日目　9月4日(水)　第4日目　9月6日(金)
第5日目　9月8日(日)　第6日目　9月11日(水)
第7日目　9月13日(金)　毎回　7：00PM
9：15PM

問い合わせ先　手取カトリック教会
TEL 096—352—3030
カトリックの家 TEL 096—248—3752

神学講座

（昭和60年第2学期）

1　講義科目、講師
現代神学の諸問題　高木善行神父
（9月17月～10月8日）
旧約聖書入門　高見三明神父
（10月15日～12月17日）

2　期間　9月17日～12月17日
毎週火曜日18時から

3　講義会場
福岡市中央区浄水通39
司教館新館5F

4　聴講料
500円（1回）×14回（全期間）＝7,000円　当日会場で受付ける
毎回500円支払いも可

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3-3-322
大石保険事務所 大石真澄
〒810　TEL 552—8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼 渡辺隆義
編集人
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
（一般）全世界の司教たち
（布教）チャド共和国の教会

成功させよう 教区青年大会

「国際青年年」も終盤にはいり、福岡教区でもその取り組みが注目されていますが、教区青少年司牧情報センター事務局長深堀勝人神父（小倉教会）にその近況をうかがいました。

大会までの歩み

「国際青年年」にあたって青年たちとどのようにかかわったらよいかという課題がもちあがったのは、昨年の秋であった。その中で担当司祭たちの関心事は、「国際青年年」の行事を司祭主導による官製のものではなく、青年による青年のためのものにするにはどうすればよいか、ということにあった。それは、青年たちが自ら考えることによって、他の青年のため、教会のため、社会のため、いやもっと世界に目を向けて自分たちに何ができるかということを見いだし、司祭たちは彼らの協働者としてその歩みを助けることを意図していた。

そのためにまず、青年たちに率直に語ることから始めることにした。その手始めは、昨年九月三十日に行った「教区青年集会」であった。そこで青年たちへの取り組み、希望を少を伝えた。

さらに、今年一月に発行した小冊子『明日に向かって歩むために』（福岡教区の青年たちへのメッセージ）を通して、青年たちに考えて欲しいこと、若さをもって何か活動して欲しいことを訴えた。また小冊子がただ配布のみに終わることのないように小冊子の感想、青年大会についての考えなどのアンケート調査を実施した。このアンケートをもとに、四月十四日に青年たちの集まりをもち、今年十一月九日(土)から十日(日)にかけ、「福岡教区カトリック青年大会」を開催することを決議し、「WAKE UP YOUTH 今、君は何をなすべきか」というテーマのもとに、「社会参加」について掘り下げてみることにした。

実行委員会のメンバー

司祭団から 青年自身の手へ

こうして五月には大会実行委員会と拡大実行委員会が発足し、各地区より代表者が選出され、月に一度の割で準備会議が持たれている。また青年たちの動きと対応して、司祭評議会を通して司祭団の理解と協力が表明され、さらに福岡教区信徒協の励ましを得、大会実行委員長に草山真理男氏（西新教会）を選出した。今、担当司祭がイニシアチブを取っていたものが青年たちに移管され、着実に準備が進められている。

大会が目ざすもの

今大会は勤労青年・学生はもとより、すべての青年に開かれ、語りかける。教区内で、家庭・学校・職場・地域社会あるいは小教区共同体において、日ごろ独自の活動、生き方をしている青年たちが相集まり、自己の生き方の再確認をする場なのである。今大会で青年たちは、キリスト者として各々が生きている社会とどのようにかかわっていくべきかを模索するだろう。

それはよりもなおさず、祈りだけの信仰共同体から、宣教をも含めた共同体づくりへの第一歩になるはずである。いいかえれば、そこでは自分の救いのみを心配する恐れの信仰生活から、他者の救いに奉仕する喜びの信仰生活、あるいは他者の救いを気づかうゆとりの信仰生活への転換が迫られるだろう。

理解と支援を

最後に、まだ大会は開催されていないし、その成果を問うことはできないが、青年たち自らの手で悪戦苦闘しながら大会を準備している段階で、彼らが求めているものを少しでも豊かに達成できるように司祭団、修道会、信徒の皆さんの祈りと支援をお願いします。

（文責渡辺）

大会の日程その他については、次号に掲載いたします。

（編集部）

九月の聖体礼拝当番教会

九月一日	湯川
九月八日	飯塚
九月十五日	水巻
九月二十二日	直方
九月二十九日	大神学校

微光

鳴きほそりつゝ秋の蝉をゝしけれ　虚子

しのび寄る秋の訪れに、夏一番の歌手蝉の鳴き声が遠慮がちになってきた。騒音公害どこ吹く風と、わが青春を謳歌していた時の主人公たちにも、秋の風情は哀れを誘う。かつての華やかなステージとなった樹々の下には、お役ご免の死体があちこちに転がっている。自然の厳しさは、人間にも虫の世界にも公平であるらしい。生命の主に畏敬を▼役者交替で耳目を集めているのが、軽音楽家秋の虫の群像であろう。蝉が昼間の音楽家であったとすれば、秋の虫の軽妙な音色は日没時の出演に相応しい。コオロギ科の松虫はチンチロリン、リーンリーンの鈴虫とは良いペアーで、もの思いの秋に最適なバックミュージックではなかろうか。少し勇ましいキリギリス科のくつわ虫は、ガチャガチャの伴奏で、静かな夜のシンホニーに一味加えてくれる。四季に恵まれた日本は音楽の別天地▼最近、教会の福音宣教の掛け声はけんけんごうごうの過熱ぶり。「教会の基本方針と優先課題」を話題にするが、要は、ことばの遊びではなく実行にあることを銘記しなければならない。「人間には二種類だけしかない。一は、自己を罪びとだと思っている義人。他は自己を義人だと思っている罪びと」（パスカル）自己の生活刷新を怠り、語るだけで満足し、それで福音宣教をしている人間に終わってはなるまい。（山田）

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

祈って、遊んで、考えた

福岡地区 少年少女練成会

8月3日～5日、福岡地区信徒協の主催のもとに、福岡市南区皿山伝道所で福岡地区少年少女練成会が行なわれた。参加者は、市内7教会と本郷教会から44人（男子20人、女子24人）で、校長を平田助祭、副校長を森山神学生がつとめ、シスター3名、教会学校の教師一名がリーダーとなり、多くのお母さん方や、ボーイスカウトの強力な手伝いがあった。

目標は「召命を考えよう。神様の子供として生きる」で、約千六百坪の敷地に、宿泊と作業用のテントが9つ、立木が二、三本で日かげがなく〝きつかった〟が楽しく充実感のある日々をすごせた。

第一日目は、親睦の意味で午後から自由に遊ばせた。二日目は司教様司式によるミサがあり説教で、友情を大切にし、ご聖体に奉仕する司祭の召し出しを強調された。夜7時30分から約一時間半、灯のもとの静かな祈りと余興による盛大なキャンプファイヤーが催された。四班に分かれ、約3時間かけて準備された「水戸黄門」など5分程度の劇は、互いに子供たちの心をつなぐものとなり、一等から四等まで皆がアイスクリームをもらい喜びのひとときであった。三日目は奉仕活動の一環として、道路の空きかん拾いをした。

ボーイスカウトの黙々と奉仕する姿、またシスターと子供たちのほほえましい情景も多かった。これらのことは彼等の将来にきっと役に立つだろう。

小教区毎に行なわれたいくつかの練成会と重なり、例年にくらべて今年は参加者が少なかったが、来年は多くの参加を希望する。

（平田助祭談）

熊本地区少年少女練成会

熊本地区 少年少女練成会

去る8月8日～10日に、熊本県菊池市にある熊本県立菊池少年自然の家にて、恒例となった熊本地区少年少女練成会（主催・熊本地区信徒協）が行なわれた。

今回は、（特に熊本地区からの聖職者・修道者の志願者減少を考慮して）〝召命―イエス様は呼んでいる―〟をテーマとして、川上助祭を校長とし、ほか教区助祭団・神学生4名、マリアの宣教者フランシスコ修道会シスター5名、人吉教会の高校生2名の協力の下に、熊本県下の各小教区から75名（男子39名、女子36名）の小・中学生が参加し、時として自然を通して、隣人を通して語られる神の招き、呼びかけについて考え、同じ神の家族、兄弟である友だちとともに過ごした2泊3日であった。

プログラムとして神学校のスライドやシスターによる創立者の紹介、ハイキングや川遊び、キャンプファイヤー、キーホルダー（プラホビー）作り等を行なった。

すばらしい環境の中で自然に触れ、神と、また多くの友と出会い語らい、親しみ、そして神学生やシスター等と接し、友情を培い、あたためることができたことを神に感謝したい。

そして、子供たちが友情を大切にし、何よりも、神の子として父である神の招き、呼びかけにいつも耳をすまし、一生懸命応えて行くことができるよう心から願い、お祈りしたい。

川上助祭記

福岡地区 高校生練成会

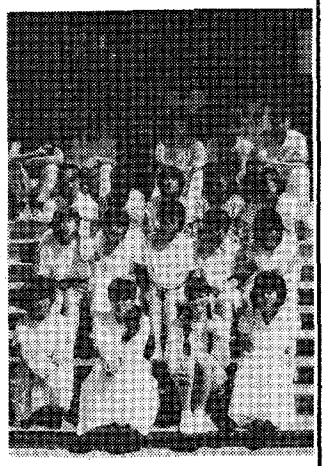
7月27日～28日の猛暑の中、福岡地区の高校生22名の参加を得て聖パウロ会福岡修道院で練成会が行なわれた。

初日は、自己紹介と、福岡地区の高校生の世話役をきめた後、祈りがあり、日曜のミサのための練習をし、「これからの自分たちの道」というテーマのもとで、四苦八苦しながらも共に考えた。二日目は3つの班に分かれて話し合った。午後からは、36度という今年最高の暑さにもめげず、バレーとバスケットで思いっきり汗をかき、アンケート調査、終業の祈りで練成会の幕を閉じた。

この練成会での会合やアンケートをまとめると、教会を離れている若者が多いので、練成会のような集いを通して若者たちのつながりを保ち、やがて教会の中心となって教会を盛り上げていくようなものにしたいという意見、また信者でありながら、家庭での祈りの不足があるのではといった反省が、全体として浮き彫りにされた。更に、名簿上では一五〇名近くもいるのに（福岡市内の高校生だけで）、練成会への参加が少なかったこともあって、次回から多数の参加を呼びかけたいという意見もかなりあった。

この練成会において、具体的な活動方針までには確かに到達しなかったが、しかし福岡地区での高校生を相互に知る上において、一つの成果があったように思う。

聖パウロ会　山内神父記



福岡地区高校生練成会

練成会に参加して

大名町教会　山添秀利

ここのところ、高校生の集まりがなかったので、久しぶりの集まりとなりました。

練成会のテーマ「これからの自分たちの道」は少し難しいものでした。活発な発言はなかったのですが、高校生の教会はなれがひどいことがわかりました。実際に各教会とも、名簿を見るとたくさんいるけれど、教会に来ている人は、ほんのわずかということです。

この問題はとても難しいもので一つの原因として、小・中学生までは、子供会などがあるが、高校生になると、高校生会などある教会もあるが、あまり活発な活動がないことが上げられると思います。そのためにも、高校生の集まりがたくさん行なわれるべきだと思います。夜は、きもだめしと花火があって、とても盛り上がりました。

翌日の午後はレクリエーションで、バレーボールとバスケットボールをしました。みんな遊びというのを忘れがんばっていました。

一日半という短い練成会でしたが、とてもよいものとなりました。福岡地区の高校生が盛り上がるためにも、いろいろと企画を立て、それを実行していきたいと思います。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階 ☎922－5637

特集　子供たちの夏休み

聖パウロ会の召命練成会

聖パウロ会福岡修道院では、小・中学生を対象に毎年召命練成会を開催しているが、今年も例年同様七月二十一日（日）の夕方から二十三日（火）の午前中にかけて十六名の参加者を得て行なわれました。

修道院案内のプログラムに始まり、司祭による講話、修道院に関する8ミリの映画、二十二日には子供たちとのミサ、レクリエーションで親睦を深め、二十三日の感謝のミサへと続いた。

今年の参加者の中には、福岡各地をはじめ、山口、鹿児島、大津など、遠来組では東京からの子供もいて、それぞれの地方の言葉での語らいがとても楽しかった。初対面ということもあってやや緊張気味であったが、志願者たちの協力もあって、互いにうちとけた練成会となった。

こうした中から、小さな召命が育っていくのを願いつつ散会した。

聖パウロ会　山内神父記

聖パウロ会の召命練成会

御受難会　イエズス村

「イエズス村」は、毎夏、黙想の家で開く3泊4日の子供練成会です。子供たちに、黙想の家と御受難会にもっと親しんでもらうために3年前に始めました。

プログラムを組む上での一番の苦心は、学ぶ要素と遊ぶ要素のバランスでしょうか。勉強ばかりでは来る気がしないが、かといって遊ぶばかりでも、その時は喜んでも、また来ようという魅力がないようです。

今年の目玉は、「十字架かつぎ」でした。材木で15キロくらいの十字架をつくって炎天下の油山を交代で子供たちに峠までかついでもらいます。いつもはガヤガヤしている子供たちが沈黙を守って真剣にかついでくれました。「子供もチャレンジを求めている」と先輩たちは言いますが、ナルホドと思います。

遊びの目玉は毎年、肝だめしです。まず、こわい話をじっくり聞かせてから裏の十字架の道行に送り出します。ワーワーキャーキャーと騒ぐので共同の雰囲気は大いにもりあがります。驚くのは、中学生でも「オレ、こわいよ」と威張って言うことです。「男の意地」はどうなったんだろうと思いますが、虚栄心がなくなって率直であるのはやはりよいことと言うべきでしょうか。

子供練成会は、小さなアイデアの集積と、細部までの準備が大事だなと思います。一年間アイデアをためて、また来年も「イエズス村」は開きます。

御受難会神学生　来住記

イエズス様をしたう子供たち

聖母訪問会大濠修道院では、今年5回目の集まりを開きました。例年と違い少し厳しかったけど、黙想会という形で8月16日～18日まで行ないました。

募集人数は20名と限定しましたが福岡教区各地に長崎とバラエティに富み楽しい集いになりました。

テーマは「イエズスさまのご生涯」ということで毎日講話と感想まとめという順序で行ないました。親もとを離れウキウキした感じもありましたけど、沈黙を守ることで落ち着いたふんい気になりました。イエズス様のことが、少しずつ心に染み透るにつれ子供の目は輝きを増してきました。

教会学校でも同じような話しをしていたと思いますが、心の中まで入りこんでいなかったことに気づきました。子供の心は本来純粋ですばらしいものへの憧れ、本ものを見つける心の目を持っています。ただ落ち着いた場所とふんい気を与えてあげれば素直にどんどんキャッチできます。年に一度でもこのような催しを行なうことで、子供たちの心にイエズス様のことを染み込ませることが大切だなと思いました。今年はテキストが少々厳しくたくさんで消化不良の感がありましたので来年も参加することによって、より深めてもらいたいと思っています。

この機会にイエズス様に少しでも近づこうとする子供たちへのお恵みを感じながら、私たちスタッフ、シスター三名と共同体のシスターたちは、大きな充実感とすがすがしさをプレゼントされたように思います。来年もこの子供たちとの出合いを楽しみにしてます。

来年の予定　8月16日～19日
対象　小学5年～中学1年女子
（聖母訪問会シスター西田）

神さまってなんでもできるんですね。神さま、わたしの心の目をひらいてください、おねがい　Aより

新米リーダー体験記

8月3日～5日までの教区のサマーキャンプに初めてリーダーとして参加する事になった時、全く経験のないことでしたので逃げ出したい気持ちでした。一緒に手伝ってくださったシスターのぶっつけ本番でもよいからやれるだけやりましょう、という言葉にすがって出かけました。不安いっぱいで始まったキャンプでしたがまた大人も子供も初対面者がほとんどだったのに、猛暑と不便さの中で同じ汗と涙を分ち合った時、カトリック教会を体験した思いでした。

2日目の午後ともなると、大人も子供も体力の限界を感じましたが協力して作業しなければ、食べることも寝ることもできません。日頃の家庭生活や学校生活では味わえない限界に立たされた時、一人一人が裸にされ、むき出しにされます。その時から本当のふれ合いが始まるようでした。この時のケンカは何かを造り出すためのものでした。小さな者の力も大切なものでした。この時から子供たちがお互いを大切な者として意識しはじめたように思います。今、少数家族社会にあって年に一度でも子供が、このような体験をすることは必要なことだと思いました。今あらためてこの3日間を喜びとして受けとめています。また、リーダーや大人の手伝いの不足をとても感じました。教区全体の理解と協力を強く望むものです。

大名町教会　目良　豊

生命をささげた赤尾神父様

今年も各地の海や山で召命学校・練成会などが開催されたことでしょう。少しでも多くの子供達がこの夏休みに神さまを知り、キリストに出合えるように各教会の神父様やシスター、手伝いの方は、早くから一生懸命準備します。長崎・浦上教会の赤尾神父様は今年3月19日に同じ浦上教会で叙階されたばかりのピカピカ神父様でした。8月12日教会の子供たちと五島へ出かけ深みでおぼれかけた数人の子供を助けた後、御自分は力つきてしまわれました。イエズス様のように、コルベ神父様のように、子供の命を救うために御自分の命をひきかえにされました。

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想の大御影
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

▼第18回日本モンテッソーリ協会全国大会が7月29日～31日の三日間、福岡市の都久志会館とガーデンパレスにおいて、およそ七百人が参加し、開催された。昇地三郎氏（しいのみ学園園長）による講演「教育の原点を考える」があり、参加者は基本・応用・実践研修の三コースに分かれて研修した。

ことしは初めて九州で大会が開かれ、藤原元一実行委員長（近畿大学教授）はじめ、カトリック幼稚園の修道女や職員が準備に尽力した。「研究発表や、質疑応答を聞き、日ごろ考えていたことの解決が見いだせた」「年々、内容が深められ、あつみがでてきているのが、発表などがわかる」、とうれしい感想が多く聞かれた。

▼8月2日～4日まで、黙想の家でマリッジ・エンカウンター開催。今年もお互いの結婚をより良いものにするためにまたより豊かな両親になることを目指して、福岡・北九州・熊本・関東から7カップルと一人の司祭が集まった。

▼40回目の終戦記念日を迎え、聖母被昇天を祝った8月15日、大名町カトリック教会では、「8・15カトリック・プロテスタント平和を建設する集い」が開かれ、一般市民も含め二百二十人が参加した。主催はカトリック福岡平議と平和推進委員会と靖国法案に反対する福岡キリスト者の会。

講演で永井誠一氏（故永井隆博士の長男、時事通信記者）は「原爆は、むごいというより人類に必要のないものである。助け合い、ゆずり合う生活の場をつくることが平和の建設につながる。信仰を求めてゆく人々と共に、核兵器を持たぬよう努めたい」と語った。

同日、中曽根首相は靖国神社公式参拝にふみ切ったが、靖国問題に対しては「最終段階に入った」との状況報告があり、「原爆の体験をもちながら、核廃絶への積極的努力がない。靖国神社の性格・憲法の規定などから、公式参拝に反対する」と、抗議声明も出された。集会後、讃美歌を歌いながら〝反核・反戦・反ヤスクニ〟を訴え、天神周辺を平和（デモ）行進した。

▼8月19日～21日の三日間、下関市にある下関マリンホテルで、カトリック福岡司教区幼児教育連盟主催による第14回教師研修会が、約三百人の参加のもと、〝育てよう心を〟をテーマに開催された。シスター渡辺和子（ナミュール・ノートルダム修道女会）による二回の基調講演をもとに、二十の分科会で話し会い、カトリックの現在の教会の要求をつかんで、幼児教育の根本精神を深めた。

▼8月21日、「カナの会」の例会が福岡司教館で開かれた。現在は北九州、熊本、佐賀方面の教会の小教区にも発足するように働きかけている。出会いの会をこれまで五回もったが、出席者の半数を占める未受洗者がミサや教会にふれて感動しているのをみて、「苦労は多いが、宣教のためがんばりたい」と励まし合っている。

福岡教区巡回

文化講演会

講師　韓国教会史研究所所長
崔（チエ）　奭（ソ）　祐（ギュ）　神父

演題　韓国教会の現状と福音宣教について

主催　福岡教区信徒使徒職協議会

9月1日	（日）	（福岡） 司教館別館	14時
3日	（火）	（熊本） 手取教会	19時
4日	（水）	（熊本） 大江教会	19時
8日	（日）	（佐賀） 佐賀教会	10時30分
9日	（月）	（北九州） 小倉教会	19時
10日	（火）	（福岡） 吉塚教会で懇談会	19時
11日	（水）	（福岡修女連） 司教館別館	18時

会合と催し

☆平田司教
8日　行橋教会感信式
10日　司教評議会
15日　今村教会感信式

☆福岡黙想の家
3～4日　西南神学校研修
8日　笹丘教会十曜学校
8～10日　ハウスキーパー黙想
14～16日　レジオ・マリエ
19日　ミカエル会
21～22日　明治学園女子求道者黙想会
22～23日　福岡地区カテキスタ研修
22～23日　バプテスト宣教師会
28～29日　雙葉中・高校生黙想

九月命日の司祭

★アナトール・ヒューゼ神父（パリ外国宣教会）一九四四年九月十五日福岡司教館
★ピオ・オジョニ神父（ミラノ外国宣教会）一九八二年九月十七日ロザリオの園付司祭
★ユスチン・ウィオン神父（パリ外国宣教会）一九六九年九月二十九日福岡司教館
★ピエール・コトレル神父（パリ外国宣教会）一九二八年九月三日熊本地区で宣教活動

編集室から

この度、教区報「カトリック」の編集長の任を山田神父様から引き継ぎ、その任の重さにとまどっているところです。前任者は八年余にわたって立派な業績を残されましたが、私がどれだけのことをできるのかわかりません。

しかし、責任を引き受けるにあたり、数人のかたに新しく編集委員として加わっていただき、大きな力を得た感じです。

後日、編集方針なり、抱負なりを語っていただくことにし、今回はお名前だけを紹介させていただきます。山内堅治神父様（聖パウロ修道会）シスター安田智恵子（聖パウロ女子修道会）、田町節子さん（笹岡教会）、深堀邦枝さん（大名町教会）。

読者の皆さま、編集員一同微力ながらも全力を尽す覚悟でいますので、どうぞ、前任者にもまさって、ご指導、ご べんたつのほど、よろしくお願いいたします。

女子召命黙想会

日時・昭和60年9月21日（土）
9月22日（日）
場　所・福岡黙想の家
指導者・シスター　柴田香代子 C.N.D
対　象・18歳～35歳信者
費　用・4000円
申込み・9月10日（火）までにハガキで下記にお申し込みください。

〒804　北九州市戸畑区仙水町5－2
TEL093－871－1166

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

*任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
〒815　TEL 552－8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行人 カトリック 福岡司教区
編集人 渡辺隆義
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

祈禱の使徒会
(一般) 修道者の福音的使命
(布教) 宣教活動に対する全信徒の責任感

ほんものとにせもの

——教区幼児教育連盟教師研修会に参加して——

高宮カトリック幼稚園園長 鵜野泰年神父

皆さん「美しい人になるためには」(1)いつも微笑みを忘れないこと(2)他人の身になって考えてあげること(3)そして自分自身を恥じないこと、この三つのことを心掛けながら生きるならば、皆さんはきっと美しい人になることができます。

去る8月19日より21日まで、福岡教区の幼児教育連盟では夏休みの教師研修会を長府のマリンホテルで行ないました。講師として、ノートルダム清心の学長シスター渡辺先生をお迎えして、大へん有益なお話を聞きました。

「現代人が忘れかけているもの」という演題でしたが、ほんとうに心を打つ講演でした。三五〇名の先生方にやさしく微笑みかけながら、おだやかな言葉とあふれるような気品をもって語られるそのお話しに一同は今、魅了されたようでした。私はまるで名演奏を聞いた時の様な感動におそわれ、話しが終った時はなりひびく拍手の中で思わずアンコールと叫びたいほどでした。

講演がここまでくれば芸術だという感じをうけたのです。その道を極めるというのはこういうことかと思いました。ほんとうの専門家であること、すなわちその道のプロであることは、これ程までに人の心をうつものかと思ったのです。

ふりかえってみれば自分たちがあまりにもぼんやりと生きていてどれもこれも中途半端で間に合わせているのではないかと、深く恥じたのです。

折も折、私はその二日目の夜、レクリエーションでバイオリンを弾くことになっていました。渡辺先生の話しを聞いて、心を打たれたあとだけに、素人の自分が人の前でバイオリンを弾こうとする暴挙に急におそれをいだいたのです。なるほど演奏が終ったあとほきっと皆拍手を送ってくれるに違いない。然しその拍手は、神父様がバイオリンを弾いたということでご乗務様の拍手であって、渡辺先生の拍手とは全く異質のものであると。ほんものは人を生かす。間に合わせは、人の役には立たないし悪くすれば人を傷つける。私は悩みました。やめようかな明日のバイオリン演奏は。皆さんに我慢させるしかないような演奏をすることが、どうして出来ようか。

しかし、その時シスター渡辺の講話の一節を思い出しました「自分の愚かさを恥じないこと。そうすれば美しくなれます」

そこで私は決心しました。その翌日、私は朝から別室にこもって練習にとりくみました。すべての休み時間を返上して密室にこもり練習にはげみました。

もともとバイオリンは私の専門ではない。だから行きつく所は大体わかっている。しかし、せめて残された数時間を間に合わせという気持ではなく、プロとしての心で過ごしたいと思ったのです。

吉野天使幼稚園の木下先生のピアノ伴奏をいただいて無事演奏を終ることが出来ました。そして決山の拍手を戴きました。しかしそれがたとえ同情の拍手であったにしても、あるいはいたわりの拍手であったにしても、この場合は仕方がない。皆さんにおわびと感謝の気持でこの拍手をうけました。

そして考えました。これから先は、自分が自分の本職である司祭職を果す時、又は幼稚園の園長として専門の仕事を果すとき、決して間に合わせのものであってはいけない。あくまで、プロとして、その道を極めた者として望まなければならないと思ったのです。ほんものは人を豊かにし、にせものは人を傷つける。こんなことを思いながら、私は研修会から帰って来ました。

「現代人が忘れかけているもの」について講演するシスター渡辺

お知らせ

11月3日(日)午後2時より福岡教区墓地(大橋)での共同ミサが平田司教様司式で行なわれます。なお、故深堀司教様の納骨が同時に行なわれます。

微光

久しぶりに覗いた果物店は、見た眼にも眼やかであった。店頭では、林檎、梨、ブドウが三役格でニラミをきかし、売れ残りの西瓜は図体のわりにはいささか淋しそう。それらの中でも、十月の味覚の王者は林檎をさしおいては考えられないような気がする。勿論個人の嗜好の問題で、断言することはどうかと思うが……。多種多彩の果物を眺めながら、ふと、どこかの椀力構図が浮んでくる▼果空へ店より林檎あふれをり多佳子長野県産の早生種は、七月下旬から出荷されるが、中生種(旭、紅絞)は九月から、晩生種(国光、紅玉、インド、ゴールデン・デリシャス)は、大体十月に市場にお目見えするらしい。林檎は蛋白、脂肪、含水炭素のほかに、果糖、ぶどう糖、蔗糖などの糖分をふくむ果実食品である。ただ高価であるため、林檎の気持とは裏腹に、家庭の食卓に毎日とはいくまい。ずるい人間の価格操作が恨めしい▼果物は自分を与えることに、喜びと存在価値がある。人間にしても、同様であろう。物を与えても自分を与えない援助は、打算的で、唯我独尊的な内容になりはしないだろうか。援助することは、一片の同情心の表現ではない。高い所から被援助者の地面まで降りて、貧しさと喜びを分け合う痛み心の発露でなければならない。相手を人間の尊厳において理解し、受け入れる力となるとき、与える人間も大きく成長していく。(山田)

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州(093)671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

〈福岡教区巡回文化講演会要旨〉

今、韓国の教会は実りの秋

韓国教会史研究所所長　崔奭祐（チェソギュ）神父

昨年、韓国教会は創立二百周年を盛大に祝った。これを機に教皇様は韓国殉教者一〇三人の列聖式を、初めてバチカンの外、ソウルでなさり、これにより韓国教会は広く世界に知られ、関心をもたれるようになった。日本の信徒の多くは、韓国教会の発展の原動力や歴史的背景、諸条件に対して、驚きと、疑問と深い関心をもっているとうかがった。この関心にしぼって講演をすすめようと思う。

殉教者の血の力

韓国教会の信徒数は一九八三年現在で一八五万人（六〇余万人がソウル大司教区に所属）。

ソウル市内（近郊も含め）にある一三二の教会では、主日に四～九回のミサが行われ、みな超満員となる。信徒数は昨年一年で十四万人増加。新司祭は年ごとに数十人誕生し、召命は非常に多い。

この発展の原点、力強い信仰のエネルギーは何か。

第一に〝殉教者の血の力〟と言わねばならない。二〇〇年の歴史の中で、前期一〇〇年は十余回における大小の迫害により、一万余名の殉教者を出した。一九五三年の韓国動乱の休戦以後、ようやく今日まで発展を持続することができた。しかし南北の国土の対立はきびしく、北朝鮮では共産主義者によりカトリックは抹殺され、ひとりの牧者もいない沈黙の教会とされた。

第二に、韓国人に内在する不安が原因していると思う。不安とは共産主義者と向かい合っていることからくる不安、戦争の不安、生命の不安である。

第三に（都市化、産業化されてもカトリックないし宗教の発展があるのは）、韓国の宗教が前近代性から脱皮していないからだと思われる。つまり、科学と技術が発達した現在、科学的に解明されていることも、なお盲目的に宗教にすがって問題の解決をしようとする傾向である。

参加者と歓談中の崔神父様

第四は、自分たちの不安を人生の究極的な意味と関連させて、根本的に解決しようとするためである。殉教者は永遠の生命のため死に、今も生きて私たちを助けてくれると信じる信徒たちは、殉教者を非常に尊び、大切にし、熱心に代祷を願っている。

第五は、この世にあって殉教者たちが精神的価値をあかししたように、教会が、経済第一主義に始まる人間軽視や、社会の各種の不条理に対して果敢にたち向かい、キリストの愛と正義に立脚する人間の尊厳の回復と、精神的価値の重要性を強調し、社会問題について深い関心を表明する教会として認められたことも、教会の成長の一つの理由だと思う。

以上、殉教者と関連づけて考察したが、教会の発展のためには汗のあかしが必要である。

教会こぞっての宣教

韓国教会では、全国的規模で福音宣教を至上の課題とし、司教・司祭・修道者・信徒がこれに参加した。その働きについて順にのべよう。

まず、邦人司祭養成においては三つの特長がある。①非常に遅れて始められ、②短期間に多数養成し、③すべて教区（在俗）司祭だったことである。

修道司祭に比べて教区司祭数が圧倒的多数なのは、福音宣教に多大の効果をもたらしたが、霊性の貧困と教会文化と特殊司牧（直接宣教以外の司牧）の不振をまねいた。

修道司祭と修道者の減少に比べて、女子修道会は驚異的発展をした。四五の修道会の約三、七〇〇名の修道女が、小教区を巡回して求道者を集め、教理を教えている。志願者は多く、どの修道会に入会までふつう何年も待たねばならない。

信徒が教会の中で果たしてきた役割は絶大であった。韓国の教会は、中国から入ってきた書籍（西洋の宗教・科学・技術）の中からカトリックの教えに関心をもつ学者たちがそれを研究した末、真理を発見し、信じ、宣教師なしで信仰共同体を形成することから始まった。度重なる迫害で宣教師を幾度も迎えては失い、新しい歩みをくり返さねばならなかったが、信徒たちは教会を守り、危険と死を覚悟しながら宣教を続けた。しかし彼らは、牧者のない教会は長い間維持できないことを知っていた。一七八四年から歩み始めた歴史の前期一〇〇年の迫害の歴史は、同時に信徒が殉教を覚悟で聖職者を迎え入れようとする、絶えず間ない奉仕と献身の歴史であった。教会は全く一般信徒の強い信仰により支えられ、維持されたと言っても過言ではない。

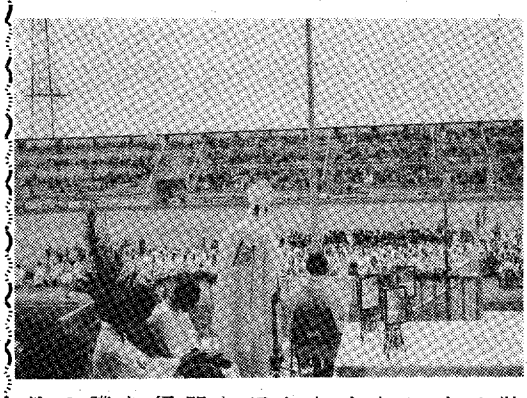
教会の急成長には危険も伴い、いきすぎた活動主義、祈りの不足、不熱心な信者の増加が見られ、真に力強い教会なのか、今第三世紀に入り、反省と新しい歩みが始まっている。

（九月一日の司教館での講演より）

国際聖体大会

ジャンボ・アフリカ

久野　薫（健軍教会）



8月9日から22日まで、アフリカケニアの首都ナイロビで第43回国際聖体大会が行なわれた。公式巡礼団として、平田司教様を団長に、日本から九名参加した。ケニア空港では夜にもかかわらず現地のレジオ・マリエの人達が車を用意され迎えにこられており感激した。

開会式は、ケニアが英国の植民地より独立する時多くの血が流された、ウフルパークという所で行なわれた。世界各国より50カ国の参加があり、英語から現地語のスワヒリ語に訳されながら、10日間のさまざまな行事が行なわれた。その中には講演や、諸宗教の集会、病者の塗油式、また、聖母被昇天の祝日には召出しを祈ったり等の行事があった。教皇様は2日間参列された。マザーテレサにもお目にかかることができた。私達が国も違い、肌の色も言葉も違う中で、真に一致できたのは、同じ食べ物、キリストの体、聖体を分かち合うからです。主の平和と握手を交わす時、お互いの親しみは深まり、兄弟としての感覚を養うことができた。ケニアの人たちは親しみやすく、陽気で歌や踊りは生活の一部であり、ごミサの奉献の時も民族の踊りや、作物が奉献された。教皇様は、ケニアの部族に残る一夫多妻制に触れられ、家庭の平和は、キリストの食卓を囲むことにこそあるとお話しされた。

※ジャンボ＝スワヒリ語で「こんにちは」

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

教区青年大会に参加を

11月9日・10日に開催

国際青年年の一環として福岡教区カトリック青年大会が開かれます。

テーマは「社会参加」、スローガンに「WAKE UP YOUTH！今、君は何をなすべきか」を掲げて準備に取り組んでいます。

第一日目には映写会と講演を、二日目には、分科会を予定しています。テーマは(1)指紋押捺 (2)障害者とのかかわり (3)流民 (4)生命の尊厳 (5)公害 (6)登校拒否、いじめ (7)部落解放 (8)労働問題 (9)飢餓難民 (10)使い捨ての消費生活 (11)平和、反戦 (12)滞日アジア女性の出稼ぎ (13)在日韓国・朝鮮人 (14)靖国神社などを考えています。各人は希望するテーマを選択し、キリスト者としてどうかかわったらよいかを話し合い考えていきます。

申し込み書を各教会に送っていますので、小教区で取りまとめた上で申し込んでください。

大会でたくさんの仲間と出会えることを願っています。

大会実行委員長
畠山真理男（西新教会）

'85年　福岡教区
カトリック青年大会

テーマ・社会参加
日　時・11月9日（土）
　　10日（日）
場　所・司教館新館（9日）
　　聖パウロ小神学校（10日）
対　象・勤労青年、学生を含む全青年
費用　1日千円　2日2千円
問い合せ・畠山真理男（西新教会）
　　渡辺　神父（小郡教会）

飛脚

▼佐賀地区では、8月12～14日の三日間、長崎県小長井高原で「佐賀県中学・高校生キャンプ」を、マグリン神父（鳥栖教会主任）と桜井助祭の指導のもと行い、男女45名が参加し、ベトナム難民とのミサ、分かち合い、交歓会で意義深い日をすごした。

▼8月25日午前9時より、福岡司教館新館五階ホールを中心に「福岡地区青年会練成会」が行なわれ担当の竹森神父のほか42名の参加者があった。

この練成会のテーマは、『キリスト者として更確認しよう』である。私たちは洗礼を受けてはいるものどうしたらよいのか、これでよいのか。そのような時、キリスト者ならばどうすべきなのか、どのようなものであると教えられているのか。それらの疑問を分科会で出し合い、全体会で答えを求め、キリスト教の根本に戻ろうとするのがねらいだった。

ミサと竹森神父の基調講演後、小教区を中心に五グループに分かれ、疑問点などを出し合った。その結果、①来世について＝天国や地獄は本当にあるのか。罪になるのはどんな場合か　②祈りについて＝ミサになぜいくのか　③教会維持費はなぜ払うのかなど、基礎的な疑問が出、自分たちはどう考え、どう行っているか発表し、意見を交換した。最後に竹森神父がこれらの疑問に答えた。

▼8月27日福岡地区婦人会の保護の聖人である聖モニカの祝日にあたり、約70名の会員が司教館新館に集い、指導司祭堀要吉師の司式で聖モニカを称えると共に、日頃の感謝とご保護を願う祈りとミサをささげた。ミサ後この一年間に帰天した7名の会員のため追悼式を行ない猛暑の中にも静かな一日を過ごした。

▼平田司教は9月6日、ナイロビ国際聖体大会と、日本司教団のアド・リミナ（五年ごとに行われる教区司教の聖座訪問）を終え、無事帰国された。

▼聖心のウルスラ宣教女修道会では、9月15日福岡市南区塩原の大橋カトリック幼稚園（ルチア・ボンバーナ園長）の創立25周年と、新園舎落成式を兼ね、教区長平田三郎司教ほか、来賓および関係者二〇〇名を招き盛大に記念式典を開いた。

同会は、戦後の貧しい生活を体験しながら幼稚園を設立し、園児の数も年ごとにふえ、現在では、二、一一〇人を超える卒園生が各地で活躍しているという。

▼9月15～16日の二日間、佐賀県背振村久保山キャンプ場にて、黙想会をかねた「佐賀地区青年会キャンプ」が行われ、アルフレッド神父（唐津教会主任）指導のもとに、35名（未受洗者2名を含む）が参加した。

このキャンプは、11月に開催される福岡教区青年大会に向け準備されたもので、話し合いのテーマは「社会参加」と「信仰」だった。参加者は五班に分かれてプリントの内容について分かち合い、全体会議で発表し、討議した。青年たちは、信者として心を開いて社会の中に入ってゆき、キリスト者として話し、行なえるように、私たちの信仰を心の糧として努力しながら強めていこうと、それぞれ決心した。

▼9月23日午前11時より司教館新館に福岡教区の各教会より主任司祭・信徒代表各二名を招いて大名町カテドラル及びカトリック・センターの新築工事に関する中間報告会が行なわれた。各地から、約50名の出席があった。

▼9月22、23日の両日、日本女子修道会総長管区長会養成委員会が主催する「貧しさ」研修会が、福岡雙葉学園で開かれ、九州、広島から修道女約一五〇名が参加し、池長潤師（イエズス会）による「清貧の誓願、その歴史と実践」と太田晋子氏（共同訳聖書旧約編集実務委員）による「聖書が語る貧しさ」の講義を受けた。

日本女子修道会総長管区長会は司教団から出された「日本の教会の基本方針と優先課題」の②でうたわれている"貧しい人々と共に生きる"ことを、宣教活動のあり方と進むべき方向と確認して、各修道会でも個人でも現在、積極的な歩みを続けている。この研修会もその一助として企画された。

司教日程（10月）

6日　大楠教会堅信式
13日　八王寺教会堅信式
14～19日　邦人司祭黙想会
16～18日　司牧司教委員会（長崎）
20日　唐津教会堅信式
24～25日　聖書委員会（関西）
26～31日　アジア地区聖書委員会（ホンコン）

会と催し

9月22日　北九州地区信徒協役員会　八王寺教会午後2時
27日　滞日アジア女性問題を考える会結成集会　熊本県福祉会館　午後7時　講師　シスター弘田（東京、メルセス会）
29日　福岡地区信徒協役員会　司教館新館　午後1時半
29日　熊本市内教会ソフトボール大会　武蔵ケ丘
10月13日　日本カトリック医師会　福岡支部総会　福岡市
16日　福岡地区カナの会例会　司教館新館　午後1時半
20日　北九州地区ソフトボール大会　若松市民グランド
28日　北九州地区教会学校リーダー研修会　指導　御受難会鈴木忠一師
11月7日　福岡地区婦人会主催「巡礼」長崎県大村市ヘキリシタン遺跡を尋ねて。詳細は各教会婦人会委員に。

福岡黙想の家10月予定

6～11日　聖コロンバン会黙想会
14～19日　教区邦人司祭黙想会
20～26日　サレジオ会黙想会

◇移住の日の献金◇

移住の日にあたり、各教会からたくさんの献金をいただきました。厚く御礼申し上げます。

なお、詳細につきましては、次号に掲載いたします。

十月命日の司祭

▼エミール・ラゲ神父（パリ外国宣教会）一九二九年十月三日福岡司教館

▼ジャンバプチスト・ドラビ神父（パリ外国宣教会）一九六七年十月二十三日元黒崎教会主任

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜　間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

ロザリオの月

コンタツおじさん

十月、今年もロザリオの月がやってきた。ロザリオと言えば、古い話だが二〇年前のおじさんのことが、時折妙に新しく思い出されてくる。

当時、私が住んでいた所は（今も住んでいるが）離島の片すみのへんぴな、それこそ文字通り猫の額のような所で、瓦ぶきとわらぶきの家が交互に建ち並び、夏の暑い日など窓を開けると隣の夕飯はさばのさしみカボチャの煮付とわかる程三〇〇にも満たない家が密集していた。その内、信者の家は九〇戸ぐらいだった。今の若い人にはおよそ想像もつかないだろうが、当時娯楽といえば田舎回りの芝居の一行が、一カ月か二カ月に三日といった具合で興行に来るのを待つのが唯一の楽しみだった。

さて、そんな中で、家族のないひとり身のおじさんがいた。そのおじさんは朝夕の祈りの先唱（さきあげ）はもちろん、ミサ中の先唱もし、神父様のお供で病人見舞いや御聖体のお供などする程に熱心な信者であった。

小さな漁師部落とはいえ、小網が二、三隻いた。ある夜、漁に出ていると突然大粒の雨と風が吹き、舟は木の葉のように波にもてあそばれて、二〇人ばかりの乗組員が騒ぎ始めた。嵐であった。皆が騒ぐ中で、そのおじさんは一心にロザリオをたぐっていた。そのロザリオは、白いガラス玉をしんちゅうの鎖で連結した、ごくありふれたものではあったが片時も離さず、いつも使用していたことを裏づけるかのように夜目にも真珠の玉を金の鎖で連結したかのように、汗と油で光っていた。若者達が恐怖におののき騒ぐ中で、おじさんは「マリア様の御保護を願いなさい」と励ましながら、凪の時は一時間半くらいで帰れるところをその日は二時間余りかかって、やっとの思いで港に逃げ帰った。

その後、誰いうとなく、おじさんのことをコンタツおじさんと呼ぶようになった。彼の死後、家の中から多くの聖人伝や古ぼけた聖書が見つかった。

忘れられたおじさんは、いま、聖母のひざ元で永遠の幸福にひたっていることだろう。

崎津教会　下町　一夢

ロザリオと私

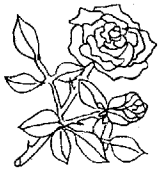
四十八年に、四歳と一歳の息子と三人で受洗してから今日までの十三年間、ほんとうに神様に愛され、導かれた年月でした。数多くの出来事を体験し、感動で体が震えて、喜びで胸が一杯になったことが何度もありました。私のようなものを、神様はいつも、やさしく包んで下さったのです。今にして思えば、すいぶん身勝手な祈りだったのに、よく聞き入れて下さったものだと、神様の愛に今更ながら歓心したり、驚いたりで、申し訳なく思っているこの頃です。

ところで、この身勝手な私に気がついたのは、五月のクルシリオに参加した時でした。その中で、とても私ひとりの力では堪えられるはずもなく、もうだめだと思った時、私の体の中に熱い塊が投げ込まれたのです。その熱い塊が多くの見知らぬ方々や、親しい方々のお祈りだと解った時、頭の中に閃きにも似た思いが通りぬけていったのです。私は、このお祈りに支えられていたのだと解った時、胸が一杯で興奮がさめませんでした。信者となって十三年目にして知った祈られる喜びでした。

今までのロザリオの唱え方は、型にだけ捕われていたようです。今は祈るということが、愛の証しのような気がするのです。お互いが祈り祈られて、愛の輪をロザリオのようにつなげて、一つの輪を作り上げる。これが祈りだと、日々ロザリオを唱えながら感じています。

これからも、神様は私に何を教えて下さるのでしょうか。期待の毎日を、祈りの中でかみしめています。

戸畑教会　一ノ瀬美佐子



十月の聖礼拝当番教会

十月　六　日　田　川
十月十三　日　新田原
十月二十　日　行　橋
十月二十七日　古　賀

香典返しを力テドラル建設資金へ

故マリア・ヨゼフィナ曽我鐐子様御遺言により頂きました。故人のご冥福をお祈りし、厚く御礼申し上げます。

◇ご案内◇

エリザベト音楽大学特別演奏会　福岡公演

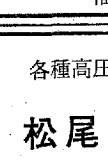
10月31日（木）午後6時半　福岡電気ホール　「レクイエム」モーツァルト　他　入場料　千円

編集室から

新スタッフになっての第一号、皆さまいかがでしたでしょうか。ところで読者の皆さまの声も聞かないまま、教区報の内容のより一層の充実を目指して昭和61年度より紙面を現在の2倍に拡大することになりました。編集員一同、内容充実をみることができるかどうか心配もありますが、皆さまのご支援によって可能になると信じています。

さて、今月は、ロザリオの月によせて、信徒の方から投稿をいただきました。これからもたくさんの方々がこの紙面に登場されて、「カトリック」が教区民の新聞として成長していくことができたらと願っています。なお、編集室では各地区や小教区の行事予定や活動、ユニークな活動をしておられる信徒の方のご連絡、ご紹介を待っています。

御意見、御要望なども合せてお待ちしています。（渡辺）



信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社　藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17—10
大石保険事務所　大石真澄
〒815　TEL 552—8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行人 カトリック 福岡司教区
編集人 渡辺隆義
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

祈禱の使徒会
(一般) 人種差別に悩み苦しむ人々
(布教) 南米におけるアメリカ黒人

Z・イエール師おおいに語る
聖書こそ宣教の道しるべ
第9回 聖書週間 11月17日～25日

今年も聖書週間が巡ってきました。この運動も今年で9回目を迎えます。今回は、共同訳聖書実行委員会のメンバーのひとりでもあるZ・イエール師にサン・スルピス大神学院でお話しをうかがいました。

共同訳聖書は、そろそろ完成と聞いていますが

そうです。新約聖書と第二正典の翻訳は全部終ってます。旧約が少し残ってますが今年中には終り、来年の聖書週間までには、一冊になって出版されます。

カトリック・プロテスタント両教会の信者にこの共同訳聖書を読んでほしいのです。双方の教会で同じ聖書を読むなら教会一致の話し合いも、もっとスムーズになると思います。

聖書週間について

そう。この運動は、公会議の中から生まれました。「神の啓示に関する教義憲章」の中から「聖書を知ることは、キリストを知ること」という言葉をテーマに始まりました。この言葉からもわかるように、各教会でいろいろな活動や行事を行なうとしても、キリストを知らないで行なうことは、考えられません。そのために、司祭は、信徒がもっと聖書を読むように勧めたり、グループを作ったりする必要があります。

聖書は、どう読むべきですか

難かしいと思っても、とにかく読んでみること。グループの中で分かち合いながら読むこと。また家族で読むのは、とてもよいと思います。夜、お父さんが読んであげるのは、子どものためにとてもよいことです。

聖書は、プロテスタントのものと思っている方もいますが

日本のカトリック教会で一般信徒が聖書を読み始めたのは、わずか20年くらい前からです。ドン・ボスコ社から出版されたバルバロ訳「聖書」としてよく知られています。

昔は、宗教改革から生じた、アイデンティティ(独自性)の違いから、プロテスタントの人は、個人でも聖書を読んでいました。カトリック信徒は一般に「キリストにならいて」とか聖人伝を通して、キリストの福音と出会っていました。そのため信徒の中には、聖書は、プロテスタントの信者のものと思っていた人もたくさんいました。エピソードがあります。日本に来ていらっしゃる宣教司祭ですが、彼は子どもの時、学校で聖書のことを聞き、家に帰っておばさんに「ぼくの家にも聖書がありますか」と聞いたら「うちは、プロテスタントではありません」といわれたそうです。しかし聖書は、別々にいただいた福音でなく、唯一のみことばとしていただいたものです。ここからも共同訳の必要性ができました。

今、よく宣教といわれますが

宣教を考えるとき、福音を知らないで宣教はありえません。私たちの宣教は、聖書を通して、キリストをよく知ることにより、もっとたやすくなります。聖書をプレゼントとして考えることもできます。結婚、就職、卒業などお祝いに贈るのは、信者でない人にとってもよい贈り物になります。

聖書週間を通して、聖書の正しい理解と共に、聖書に日々親しもうという心を新たにしていただきたいと思います。

購読料改訂のお知らせ

紙面の拡大にともない、購読料を昭和61年1月号より、左記のように値上げさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

一部 25円 → 一部 60円

微光

旧信者の自己主張だろうか、十一月になると死者への思いが高まる。

昭和五十九年度の統計では、全国の死者数は七十四万二百五十五人で、四十三秒に一人の死の制だ。死は他人事ではなく、万人に抜き足差し足で近づいている。今日の他人の死は、明日の貴方への見せしめかもしれない。一昨年度の死者も七十四万三十八人であったところからすれば、この数字は平均的な恐ろしい現実では▼死因のワースト三は興味深く、日本人の欧米型生活志向を表している。第一位はガン、第二位は脳卒中、第三位に心臓病が続く。食生活では、仲よく先進国と手を結んでいるようだが、自分の生命は自分で守る気概がほしい。日本食の評価が外国で取沙汰され、国内で年々疎んじられている傾向は嘆かわしい。死因の第七位に自殺が計上されているが、男は女の二倍で一万六千二百四十六人に上る。男はもっと強くならなければなるまい▼死は人生の悲劇的なドラマに違いないが、といっても絶望の産物ではない。死はすべてのものの終わりを拒否するどころか、二度と失うことのない喜びの新生活の始まりであることを教えてくれる。死をあまりにも暗く考えすぎ、人生を萎縮させていないだろうか。現代の教会は死を天国への凱旋とみなして、黒一色の祭服だけではなく、紫色さらには明るい白色さえも葬儀に認めている。神への信頼を深め、人生を突破しよう。(山田)

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

F・ザビエルの情熱よ再び

教区司祭黙想会開かれる

教区邦人司祭の黙想会が10月14日(月)～19日(土)まで福岡黙想の家でおこなわれ、平田司教はじめ18名の教区司祭たちが参加した。説教はイエズス会の河野純徳師で、最近翻訳を終えたという師のF・ザビエルの全書簡集をもとに、東洋の使徒の日本宣教について淡々と、しかし熱っぽく語りかけた。

黙想会参加者

黙想会談話室

その一

久留米教会　平田寛神父

一言でいって、身体的、精神的休養といった感じです。教会のことを忘れてゆっくり休養をとっています。

まあ、今回の黙想会ははっきりいって型破りですね。というのも「神父に説教する」というのがないんですね。いつもなら、「神父たるものはこうなんですよ」なんて聞くのですが、それがないんです。内容も、今自分が研究しているフランシスコ・ザビエルのことや、彼の研究を通して得た喜びを客観的に語ってくれるだけです。それでいて面白いんです。

たとえば、「ザビエルがインドに絶望して日本に来た」というように、今まで知らなかった生の部分を紹介してくれます。その意味で、ザビエルが身近な存在に感じられますし興味がそそられます。

このように、型破りの黙想会ですが、「福音宣教」という観点からはとてもよい黙想会です。

その二

小倉教会　下町豊重神父

司祭の黙想会に与かるのは三回目ですが、「兄弟の黙想会」って感じですね。与かる度に兄弟の仲が深まっていく気がします。

最初の頃は「巨頭の集まり」の感を受けたので緊張していました。そのうち空いている時間に集会室に入りますと、必ず三、四名の先輩が日頃の司牧体験の分ち合いをしています。それに加わるわけですが、笑いも交えてなので楽しく、有意義ですね。

きついこと?別にありません。ロザリオをしたり、聖堂で十字架の主を見入ったり、兄弟と共に祈ったり、ミサをしたりすること。みんな楽しいことです。食事の前後がちょっと忙しいですね。マヨネーズ?つまようじ?お茶?なんて、自分がはしを持つ頃には「おかわり」っていう先輩もいます。でもみんな敬愛すべき先輩です。先輩達には、いつまでも元気に活躍して欲しいものです。

滞日アジア女性の痛みと悲しみ

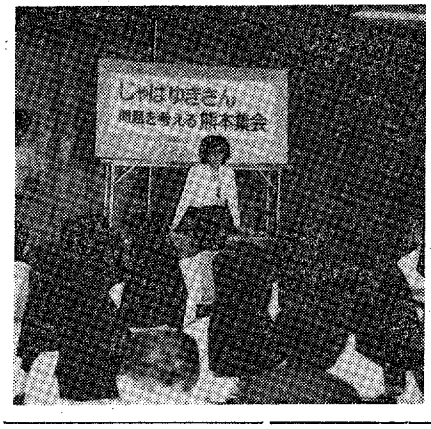
――熊本で「考える会」発足――

東南アジアから日本に出稼ぎの女性たち。彼女たちの風俗営業等への従事が、人権および社会問題としてテレビ、新聞等により報道されている。熊本市では、この問題がコロンバン会の一司祭の熱心な呼び掛けにより取り上げられ、カトリック教会内の活動にとどまらず、市民運動の一つとして盛り上がっている。

9月27日熊本市、県福祉会館において「じゃぱゆきさん問題を考える会」熊本集会を開催。約一二〇名(内教会関係者は半数)が参加した。

この会は、熊本市内の教会関係者、市民運動グループ、弁護士、大学教授、主婦たち約30名が参加し、8月12日に第一回準備会が開かれスタート。9月27日発会式を開催するに至った。

この日の集会では、代表者の、「豊かさを分かち合うのでなく、貧しさを共有しよう」のことばで始まった。スライドの上映後、メルセス会シスター弘田が、「滞日アジア女性の抱える問題とその背景」について講演。参加者は、日本とフィリピンの関係、フィリピンの現状等について、改めてこの問題の背景の深さを認識した。



カトリック中央協議会国際協力委員会発行『滞日アジア女性の問題を考えてください』によれば「一九八二年、フィリピン司教団は日本司教団へ、滞日フィリピン女性の人権擁護を要請してきた。日本のカトリック教会は、人道的見地からだけでなく、福音の精神からも、これらのフィリピン女性も含め、虐げられている滞日アジア女性の人権を擁護する責任がある。」とある。

これは単純な問題ではなく、賛否両論いろいろあると思われるが、会員に限らず多くの信者が、キリスト者として、彼女たちのことを心にとめ、絶えず祈ることが望まれる。しかし、熱心さのあまり、行き過ぎた行動に出て、彼女たちからミサに与る自由さえも奪うことのないように心くばりも必要であろう。

(付記)

各地で彼女たちや外国人旅行者のために英語のミサが行われている。

熊本市手取教会
第一日曜日　午後4時

福岡市大名町教会
毎週日曜日　午後4時

久留米教会
第一日曜日　午後2時

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

【北九州地区信徒協 役員会開催】

9月22日(日)午後1時30分から、八王寺教会で、北九州地区信徒協役員会が開かれ、14小教区から20人が集まり、11月に行われる同会の研修会(テーマ「青年問題と教会運営について」)やソフトボール大会について話し合われ、さらに各小教区からの活動報告などがなされた。

【教会一致めざして 祈る＝若松】

L・デシャンブー師(パリ外国宣教会)により、教会一致と親睦をめざして始められ、昭和43年3月から約十七年続いている「若松四教会連合祈祷会」が、9月24日日本キリスト教団山手教会で行われた。

四教会とは、バプテスト教会、メソジスト教会、日本キリスト教団、カトリック教会の四つで、毎月一回第四水曜日午後7時30分から9時まで各教会をもちまわりで開かれる。同日は牧師三人と司祭一人と各教会からの信徒を合わせ二〇人が集まり、共に神のことばを聞き、祈り、親睦を深めた。

祈りは、年間のテーマにそって深められることが多い。(昨年は「子供とともにキリストへ」)この合同祈祷会の結果、互いの教会が協力し合って働けるようになった。今年のクリスマスには、施設の子どもたちを招いて映写会を催す予定である。

【福岡教区信徒協 役員会開かる】

9月29日(日)午後1時30分から4時30分まで、司教館新館において、福岡教区信徒協役員会が開かれ、平田司教と山田成章師はじめ西地区から23人の役員が参加した。議題は①カテドラル建設の募金状況について、②福音宣教のあり方、③韓国の崔(チエ)神父による文化講演会の報告だった。

福音宣教については、日本の司教団が出した「基本方針と優先課題」にそって、福岡教区としてもプログラムづくりをしようという計画にそい、福岡地区の信徒協が体験をもとに熟慮し、ねりあげた「福青宣教活動指針案」が提出された。ただち合としてつくられたこの指針案を、各地区で検討し、約半年後、再びもちよって教区としての指針を決定する予定である。

この活動指針案は、①祈る教会づくり②宣教する教会づくり③対話する教会づくり④正義と平和にみちた社会をつくる教会づくり、という四つを柱とし、具体的な実践のあり方が、くわしく示されている。

高木慶治会長は「福音宣教は新しいものではない。毎日の生活のあかしそのものだということが、具体化してみるとわかる。いかにあかししていないか、また、司祭、修道者、信徒がバラバラだったことがわかった。お互いに忙しすぎる。これから各々の固有な宣教のあり方を生かしながら、三者が一つになって宣教に向かうことを希望する」と、感想をのべた。

【映画のタベ＝新田原教会にて】

映画を通してキリストを知ってもらおうと、新田原教会教会委員会は9月29日(日)午後6時から同教会聖堂で映画会を催した。当日は約五五〇人が集まり、『ジーザス』『断絶』の二本を観た。

この映画会は、教会の使徒的活動の一貫として年間の予定と予算にくみ入れられており、一カ月前からポスターやチラシを配布するなど、地域の人々に呼びかけてきた。地域社会の行事とまでなっている同教会主催の納涼大会に比べて、教会外の人の参加はまだ少なかったが、キリストの生涯や教会について質問してくる人もあり、よい反響がみえた。

さらに委員らは、視聴覚教材を使っての信仰教育の必要性を再確認し、信徒と地域の人々のために年に一回は映画会をすること、カトリック要理用の映画やビデオをそろえることなどにより、視聴覚による宣教を強力にすすめてゆきたいと、抱負を語っている。

【カトリック医師集まる＝福岡】

日本カトリック医師会福岡支部総会(会長は中川能志＝健軍教会所属)が10月13日(日)、福岡市内の「海幸」で開かれ、平田司教と12人が参加。今後は北九州、福岡、熊本など、地区ごとに活動してゆくこと、同医師会会則の変更に、支部としてどう対応するかなど討議され、顧問司祭としてJ・ノーリス師(健軍教会主任)が決まった。

【献堂式について計画＝福岡地区】

福岡地区信徒協役員会が10月20日(日)、司教館新館で開かれ、参加者25人が、おもに福岡教区カテドラルセンターの建設資金や献堂式について話し合った。

司教日程(11月)

3日　教区大橋墓地納骨堂ミサ
4日　召命の集い(大神学院)
9日　泰星新校舎落成式11時
9～10日　教区青年大会
17日　新田原教会堅信式
21日　大神学院祭
24日　手取教会堅信式

会合と催し

11月3日　教区大橋墓地午後2時
平田司教司式共同ミサと故深堀司教様の納骨式
4日　召命の集い　サン・スルピス大神学院10時より。
7日　福岡地区婦人会主催「巡礼」長崎県大村市へ。
9～10日　福岡教区カトリック青年大会　司教館新館、聖パウロ小神学校にて。
10日　カトリック看護協会福岡支部の一日黙想会　幼きイエズス修道会「ポルジアの家」午前10時～午後4時問い合わせ　熊本聖心病院シスター竹内
17日　筑後地区ソフトボール大会　小郡市大原小学校
20日　カナの会例会　福岡司教館新館
21日　サン・スルピス大神学院祭
25～27日　教区司祭研修会　阿蘇一の宮にて。

12月1日　熊本地区信徒協理事会　手取教会で正午より。議題「福岡教区『福音宣教活動指針』の検討」
8日　福岡地区信徒協代表者会議　司教館新館1時30分

福岡黙想の家11月予定

2～4日　MEウィーク・エンド
6～7日　ルーテル教会牧師の集い
9～10日　北九州レジオ・マリエ
19日　大名町教会婦人会黙想
21日　笹丘教会婦人会黙想
23～24日　若者のエンカウンター(サデー)
29～6日　カノッサ修道女会黙想

異動

島栖教会主任のリチャード・マグリン神父(ミラノ外国宣教会)は休暇で帰国。その間アルベルト・リベッロ神父が代行。

11月命日の司祭

★フレデリック・ボア神父(パリ外国宣教会)一九七七年十一月三日
元援助修道会黒崎修道院付★スヴァノニ・セヴェリーノ神父(ミラノ外国宣教会)一九六二年十一月二十七日、元唐津教会主任

移動の日献金(9月8日)

大楠	17,443	門司港	24,022	佐賀	20,000
浄水通	30,000	湯川	28,839	多久	2,000
高宮	65,400	若松	8,970	武雄	2,000
大名町	100,500	飯塚	11,056	鳥栖	9,616
茶山	14,315	今村	100,080	呼子	10,450
西新	44,461	大牟田	16,705	松島	5,800
箱崎	20,000	小郡	6,445	荒尾	16,000
光ケ丘	71,530	久留米	42,351	大江	29,530
笹丘	34,886	古賀	44,713	山帯	11,000
美野島	6,500	新田原	60,195	健軍	13,000
吉塚	18,968	田川	12,000	崎津	12,390
志免	4,716	直方	7,080	島崎	39,000
老司	19,346	二日市	20,000	玉名	9,000
黒崎	45,900	本郷	25,445	手取	15,500
小倉	61,269	水巻	24,100	人吉	28,285
天神町	16,000	行橋	18,500	本渡	9,500
戸畑	61,460	伊万里	4,910	水俣	5,000
八王寺	6,830	鹿島	1,400	武蔵ケ丘	42,723
門司	22,522	唐津	35,100	八代	7,900
				聖体礼拝クララ	8,113
				合計	1,450,764

寮生募集
OL及び女子大生
福岡市中央区今川1-2-24
礼拝会聖家族寮
TEL 092—751—2578

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531—3831
夜間 521—0820

祭壇・洗礼盤他
石 石 他
理 影 の
大 御 そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

韓国ではいま ②

――民族の痛みをもっと理解してほしい――

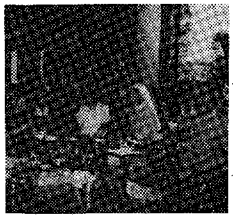
かねて私は、ソウルの金おばさんから、「韓・日カトリック文化交流センター」（仮称）が出来上がったので、早く見に来てほしいという催促の手紙を何回も貰っていた。だから今度の韓国の旅は、専らこの行き届いたセンターでお世話になり、彼女の手料理で、本式の韓国料理を味わうことが出来た。

このおばさんこと、金栄実(67)さんについて少し書き足しておきたい。

昨年5月、平田司教様を団長に韓国巡礼に行かれた方は記憶されていると思うが、ソウル郊外、ミリネの丘で金大建神父の生涯を、日本語で切々と話してくれたおばさんである。私はその時のスナップ写真と感謝の手紙を送ったのが縁で知り合うことになった。上品で無邪気で、独身であるこのオモニは、現在初老の体を励ましながら、センターのお世話と宣教活動に精出している。

人生にはいろいろな出会いとドラマがあるが、私達も不思議なめぐり合わせで「韓国殉教福者修道女会」の金主姫修女博士を中心に、金栄実女史と三人で、いま、一つの仕事の完成を急いでいる。同博士の著書「殉教者の生」の邦訳紹介の共同作業がそれで、信仰の面における日・韓両国の交流に役立ちたいというのが念願である。

ソウルの都心から車を北に向けて二十分。道峰区彌阿三洞という町にわれわれの泊ったセンターがある。教会はそこから歩いて五、六分。由緒あるこの彌阿三洞教会の庭には、一〇三人殉教者の一人、南鐘三聖人の胸像が端然と安置されていた。今年度から韓国一〇三名殉教者の祝日が、9月20日、全世界で祝われるようになったと話していた。



手料理を楽しむ筆者

ちょうど日曜日の朝、子供たちだけのミサがあるというので、後学のため私も与ることにした。驚いたことには、彼等が何とまあ、生き生きとミサに与っていることか――祈りといい、聖歌といい、心をこめ、全身で、積極的に。感動的とさえいえる熱心なその雰囲気に、韓国教会の次代の力強さを感じたのだった。「ああ、日本の教会は眠っている！」説教はひときわ興味をひいた。若い主任神父は腹話術の人形を取り出し、巧みに操り、福音の箇所を実に分かり易く聞かせていた。またこの信徒会長は、南平祐さんといい、先述した南鐘三殉教者の子孫で三代目に当たる。漢陽大学の教授で工学博士。控え目で上品な紳士に見えたが廻りの人の話では「体を張って仕事をする人だ」と評判だった。仲々勇ましい人らしい。私たちはその日、会長宅に招かれたので、日本の「踏絵（ふみえ）」を記念に差し上げたら殊のほか喜んでくれた。南さんは広い邸に住む両班（やんばん）で、応接室から望む庭の正面に、教会と同じ型の胸像が据えられていた。話ははずみ、互いの国の教会活動を中心に話しあった。客の一人が言葉をついで言った。

「……ともかく三、〇〇〇人からの信者がいれば、身寄りのない人達もたくさんいて、孤独の中に死んでゆく人や、行き斃れの人もいます。まぶしい程の肩書きを持つ南会長さんですが、身寄りの無い死者が出た場合は、どんなに忙しくても駆けつけて、人が二番いやがる遺体の清拭をいつも自分の仕事としてなさっているンですよ。納棺して、あと仕末までねェ、だからみんなが尊敬しています。」

次の日「日本の信者が自分達の教会に来てくれた」と、近くの信者さんや有志が手料理を持ち寄り、宿に集まって歓迎会を開いてくれた。中には茶碗を叩きながら陽気に歌ってくれたオモニもいた。こういうところにも国境を越えた教友の連帯が生きているのかと嬉しく感じたのだった。

（佐賀・牧山満安）

「死者の月」にちなんで

職場、家庭にあって他の宗教の死者に関する行事に参加する時、信仰に反するのではないかと不安を抱く信者も多いことだろう。日々の生活の中で、諸宗教との関わりや死者についてどのように考え、対処したらよいのか。このような問題について、の指針を具体的に示したカトリック中央協議会発行の小冊子がある。

『祖先と死者についてのカトリック信者の手引』

第一部は、「死者との交わり」の根本精神を、第二部で「祖先との交わり」をめぐる問題解決の実践的手引として、具体的な問題を25の問答形式で取り上げている。例えば

＜問＞カトリック信者は、他宗教の儀式・命日・法事などに参加してもよいのでしょうか。

＜答＞カトリック教会で葬式などのあった場合、他宗教の方も熱心にそれに参加します。同じくカトリック信者も他宗教の儀式にあずかって、単に礼儀作法としてだけでなく、故人の冥福を祈ることは、キリスト教的な愛のわざになります。

焼香・献花などは、特定の宗教の儀式というよりは、どの宗教にも共通の儀式ですから差し支えありません。その時、カトリック信者は、たとえば、「主よ、かれ（かれら）に永遠の安息（やすらぎ）を与えたまえ」と心の中で祈りましょう。

前掲書より抜粋

（定価一五〇円）

十一月の聖体礼拝

当番教会

十一月　三日　二日市
十一月　十日　久留米
十一月十七日　大牟田
十一月二十四日　聖パウロ会

編集室から

今月は聖書週間にあたって、サン・スルピス大神学院で聖書学の教授をしておられるイエール神父様にインタビューを試みました。師の聖書に対する情熱が少しでも読者の皆さまに伝えられたらと思っています。

なお、十月号で昭和61年1月号からの紙面拡大のお知らせをしていましたが、それにともなって現在一部25円の購読料を一挙に60円に値上げさせていただくことになりました。

大幅値上げで皆さまの負担金が大きくなりすぎるのではと恐縮していますが、どうか御理解のうえ御協力、御支援くださいますよう重ねてお願い申しあげます。

（渡辺）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17―10
大石保険事務所　大石真澄
〒815　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行人 カトリック 福岡司教区
編集人 渡辺隆義
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

祈禱の使徒会
（一般） 堅信の秘跡の尊重
（布教） 諸教区における布教精神の強化

馬小屋から福音宣教へ

マルセル・ジャンネット

今日ではいろいろな珍しい形の馬小屋がつくられていますが、伝統的な馬小屋も、まだけっこう見られます。その馬小屋の中心になられる幼きイエズスさまを囲んでいるマリアさまや、ヨゼフさまや、羊飼いたちのご像は、たいていみんなかがんで、お生まれになった幼な子を真剣に眺め、謙虚に礼拝しているように感じさせます。

私たちもまた、子供であっても大人であっても、神の子の不思議な誕生の場面を思い、同じ姿勢をもって馬小屋の前で、静かに祈りたいでしょう。「神は昔預言者たちを通していろいろな方法で先祖たちに語られたがこの〝終わりの時代〟には、御子を通して私たちに語られました」（ヘブライ人への手紙一の一～二）

一九八五年のクリスマスに当たって、今一番必要なのはすでに〝終わりの時代〟は来ているという事実をよりよく自覚し、イエズスさまを受け入れ、同時にイエズスさまを通して父である神に感謝することだと思います。

なぜなら、今私たちの生きているこの時代は、二千年前から救いの時とされており、きょうこそ救いの恵みをもたらしてくださる神の御子イエズス・キリストの誕生日だからです。

クリスマスの馬小屋は、神が私たちの真ん中に来られた、そして常に来られる、という偉大な恵みを思い起こさせ、私たちの心をご聖体の方へ、そして救いの恵みに潤されて、さらにその恵みを期待している多くの兄弟の方へと導く、もう一つの美しい道を示してはいないでしょうか。

（伊万里トラピスト修道院付司祭）

「社会の福音化」に目ざめる若者たち

青年大会に一五〇名集う

11月9日（土）～10日（日）にかけて教区青年大会（実行委員長 畠山真理男）が司教館と聖パウロ小神学校を会場に開催された。

教区内はもとより遠く沖縄、山口からの青年たち総勢一三五名がテーマ「社会参加」について分かち合った。

第一日目は、スライドと講演を福岡カトリック正義と平和推進委員会の青柳行信氏（明治学園教諭）が担当した。青柳氏は講演の中で、神の似姿としての人間の尊厳を傷つけている現代社会の種々の問題に、主キリストが今も積極的にかかわっていることを思いおこし、私たち青年たちも、しいたげられている人、貧しい人、病める人々の中にキリストの十字架の叫びを聞こうと訴えた。

第二日目、参加者は、滞日アジア女性問題、いじめ、平和など七つの分科会に分かれて熱心に話し合った。また、キリストと共にキリストによる社会の変革（福音化）を目指して、一層努力することを約束した大会宣言文が発表された。

最後に、平田司教はミサの中で、分裂の世に憎しみではなくキリストによる愛といつくしみの証し人になるよう説いて参加した青年たちをはげました。

渡辺神父談

大会宣言の具体化、青年たちの横のつながりの継続発展などの課題も残っているが、彼らの熱意を教区全体がもっと大切にし、活用していくことが急務ではないか。

微光

好・不況に関わりなく、忘年会シーズンの到来となった。はしたない考えだが、左党にとっておこぼれ頂戴の好機かもしれない。新聞のせっかちな折込広告は、早目の忘年会実施のトーンをあげる。忘年会が十二月の恒例行事とはいえ、庶民のささやかなうっ憤晴らしとみれば、早く開いても違法違反にはなるまい。でも、忘年会はその年中の苦労を忘れるために、年末に催す宴会（広辞苑）▼忘年会の我流の解釈では、一年の総括としての感謝・反省・友情の交流の場と考えたい。一寸先は闇といわれる人生において、過去一年、生かしていただいた恵みを忘れてはならない。感謝の気持、与えられているという謙虚な心になり切るとき、すべてがバラ色に輝くのだ。その年の苦労を忘れるために催す忘年会ではなく、苦労の日々の中に示された神の愛をじっくり味わい思い出す会にしなければ。愛がある所に神はいる▼満ちあふれる愛の中に生かされながら、どのように応えたのであろうか。受けることばかり多くて、与えることの如何に少なかったことかと反省しきりである。苦しみに出あう人間は、とかく自己中心的な劣等感になりやすい。自分だけが惨めで苦しんでいるかのようで、自分以下の苦しみの人を想像できない。友情交換の酒に喉を潤しながら、同席の友人仲間に神をみる幻影が浮ぶならば、行く年をハッピーエンドで締め括ろう。（山田）

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
本社 福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)
支社 北九州市八幡東区西本町3丁目5—1
TEL 北九州 (093) 671—8211

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

完成またれる
カテドラル・センター

私たち待望の新カテドラル建設は、昭和六〇年二月に着工されて以来、平田司教様をはじめ、建設委員の皆様方のご尽力で、工事は順調に進行しているようです。

この建設の地は百万都市福岡市のほぼ中央に有り、この辺りは九州の文化、経済等多面にわたりその中枢的役割を果たす、文字通り主要な所です。それだけにこの大名町周辺は、人と車が行き交い辺りが喧騒に包まれる所でもあります。思い起こせば、エルサレムの神殿もシオンの乾燥しきった荒々しい自然環境の中にあって、いつも優しく、人々の心に潤いをもたらしました。私たちのカテドラルは現在のエルサレムの神殿に相応し、大都市の雑踏と孤独がもたらす人間砂漠ともいえそうな社会現象の中で神からの静寂を私たちの心にもたらし、思いやりを分かち合う主の平和で心を潤す恵みの泉であるはずだと私たちは信じます。

聖家族が揃って、毎年エルサレムにお上りになっていたように、そんな想いで私たちはカテドラルを、おん父の家として慕い続けたいものです。そして、おん父の家へのこの信仰は、私たちの身近かな小教区の聖堂に在りますご聖体に日々養われ、神の愛に満たされた清く貧しい心そのものであるはずです。要するに新約におけるおん子キリストご自身であるご聖体を慕う私たちの心が、おん父の家であるカテドラルの建設をみ旨の内に完遂（かんすい）させる一切の礎となるのではないでしょうか。

父と子と聖霊は唯一であり、三位の神に栄えありますように。

私たちのカテドラル

教区信徒協会長

高木慶治

建築現場見て歩き

11月18日建設委員長の水田さんの案内で、建築中のカテドラル・センターを見学した。

一階は入口を入るとすぐ40脚ほどイスが置かれる明るいロビー。目隠学校、要理研究、結婚式控室、披露宴会場など大小6室になる多目的ホール。2室からなる通夜室、事務室、設備の整った厨房がある。売場も広くなる聖パウロ書院は、表通りに面している。

二階には、大小の聖堂で五七〇席と24帖の畳敷き母子礼拝室がある。

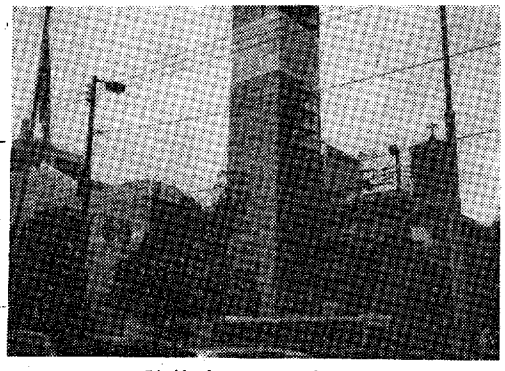
三階は大聖堂が吹き抜けで一部ギャラリーになっていて二五〇席と聖歌隊席。

四階は、3室になるホールで、一〇〇人くらいの講演会、研修会などに使える。他、書庫を兼ねた資料室などがある。

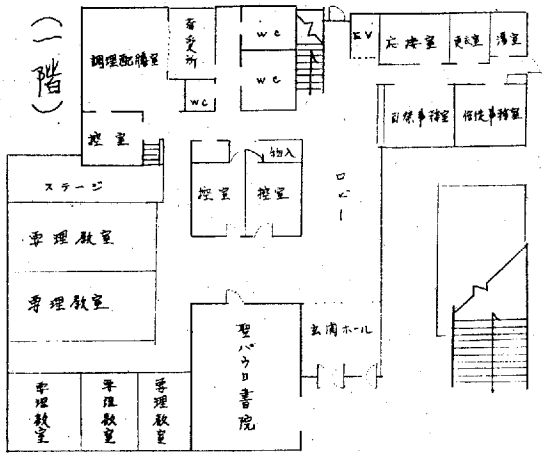
建設委員長は次のように語っている。「叙階式、大祝日その他、教区公式行事はもとより、教区民全員で建てた『私たちの教会』として生かしてほしい。また福岡司教区三万信徒のためばかりでなく、百万都市の宣教司牧センターとして開かれた場所でありたい。完成は少し遅れるが、パイプオルガンが設置されるから、これを利用した教会音楽の催しもできます。」

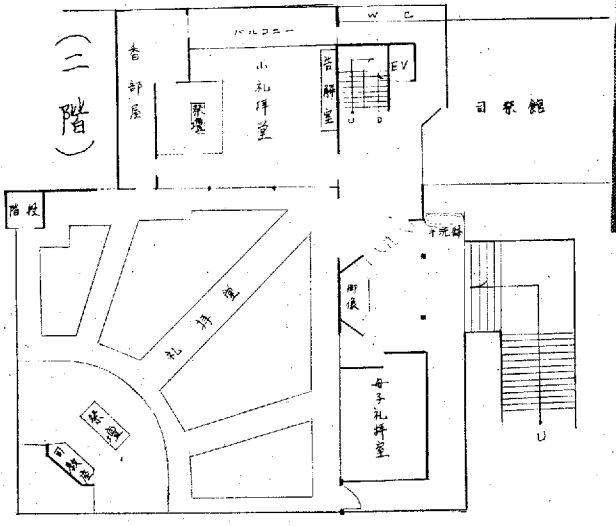
なお、今年二月二十一日に着工した工事は、現在その70%を終え来年三月三十日完工の予定。

建設委員会によると、総工費は、目標額七億円の内、約80%を達成している。



建築中のカテドラル





付記

教区報では、来年一月号に「完成まじかのカテドラル・センター」を特集し、皆様からのカテドラルに対する期待や要望を、取り上げる予定です。たくさんの投稿をお待ちしています。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

飛脚

【天草殉教祭＝本渡】

10月27日（日）、ことし二九回目を迎える天草殉教祭が、本渡市の千人塚で行われた。天草の乱で亡くなられたかたの慰霊を目的とするこの祭りは、午前中、神式と仏式、そしてカトリックの壮厳ミサの三様式で祭儀がとり行われ、カトリック側からは平田司教と司祭が六名、本渡、大江、崎津教会から約二百名の信者が参列した。

夜のキャンドル・サービスは本渡市内の子どもの会も参加し、教会を出発、放送車二台と共に聖歌を歌い、祈りながら市内をひとめぐりし、千人塚での聖体賛美式でとじられた。

【教会学校リーダー研修会＝北九州】

教会学校を担当している母親たちのための、北九州地区教会学校リーダー研修会が、10月28日、小倉教会で開かれ、参加者三〇名は、御受難修道会の鈴木忠一師より、祈りについて指導を受けた。

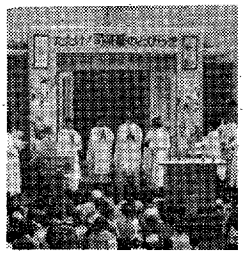
主催は北九州カテキスタの集いで、これまで教材のことなど実技的なことを取り上げて研修してきたが、今回は霊的な面に目を向けた。サダナや断つ祈りなど、実際的な祈りの指導は、子供たちに祈り祈りと言いながら難しく、自信がなかったというリーダーたちに、生活の中で祈ってゆくための具体的な指針を与えた。

【死者の月に墓地でミサ＝福岡】

11月3日（日）午後2時より教区大橋墓地で死者の月にちなみ、平田司教と7名の司祭による共同ミサが行われた。各地から墓参に集まった二〇〇名ほどの信徒、修道者、大分から駆けつけた平山司教も参列され、ドミニコ深堀仙石衛門司教様及びシスター・フランソワズ（サン・モール会）他7名の信徒の納骨が荘厳に行われた。

【召命の集い＝福岡】

今年も恒例の「召命の集い」が11月4日、福岡聖スルピス大神学院で開催された。対象は、小学生男子だが、年々、女子の参加が多くなってきており、このことについて具体的に考える時期が来ているのかもしれない。しかしこの集いはあくまで司祭召命のための集いというのが本来の趣旨となっている。参加者の内訳は、小学生四六九名、父兄三四八名、司祭三六名、計八五四名ということまでにない多くの参加者があった。参加者は、九州全域にわたり、沖縄からも数名の子どもたちが参加した。当日は十一月にしては陽気で、晴れわたる空の下、平田司教様司式で、野外ミサが捧げられた。



午後からは、三年ぶりに劇をしてみたが、学校教育を題材にしたものだったので、小学生には親しみやすかったのではないかと思っている。年々、盛大になっていくこの集いであるが、この集いをきっかけに、子どもたちが神の呼びかけを聴き、またそれを率直に親と話し合う一つのきっかけとなることを願っている。

この集いのために祈り、かつ御協力下さったすべての人に心より感謝いたします。（森山神学生記）

【キリシタン史跡巡礼＝福岡】

11月7日（木）、長崎県大村市キリシタン史跡巡礼が、福岡地区婦人会主催で行われ、九七名が参加。植松カトリック教会所属の中村氏と立石氏の、心のこもった案内を受けた。豊かで迫害のない現代に生きているが、あの厳しい信仰に近づきたいと願い、先人の信仰を思いおこした。また、他の教会の婦人とも交流をもち、大きな共同体の中で、共に同じ信仰に生きる喜びを分かち合った。

【泰星学園整備事業竣工式＝福岡】

11月9日（土）、泰星学園整備事業竣工式・祝別式が行われ、平田司教はじめイエズス会の姉妹校校長などおよそ二五〇名が参列し、前日8日の学園内聖堂の祝別につづき、新校舎（美術教室・技術教室など特別教室ほか）の完成を祝った。

【共同体一致めざすソフトボール大会＝新田原教会】

11月10日（日）、新田原教会では、共同体の一致と親睦を図り、ソフトボール大会を行橋総合グランドで開催。にわかづくりのチーム編成だけに年齢層もマチマチで、女性選手も含む一〇チームによるトーナメント戦では、珍プレイ好プレイが続出。選手、応援団が一体となって終始会場をわかせた。

【教会親善ソフトボール大会＝筑後地区】

11月17日（日）、小郡市大原小学校で、筑後地区教会親善ソフトボール大会が行われ、7教会13チームが参加。司教杯が優勝した二日市教会（子供の部）と今村教会（大人の部）に授与された。

【大神学院祭＝福岡】

11月21日（木）聖母奉献の祝日、大神学院において恒例の「神学院祭」が行われた。八名の司教を中心に八十余名の司祭が在校の神学生とともに共同ミサをささげ、司祭職の奉献をあらたにした。教皇庁大使カルー大司教がこの機会に初めて同大神学院を訪問してお祝いに花を添えた。なお、現在四十七名の神学生が司祭職を目ざして日夜精進している。

司教日程

4日　共同訳実行委員会
7日　純心50周年感謝ミサ　天主堂10時　浦上
8日　学士会
17～20日　司教会議
24日　クリスマス・ミサ（大名町）

会合と催し

1日＊熊本地区信徒協理事会　手取教会正午より
＊宗教音楽コンサート　佐賀教会午前10時半
7日　メキシコ地震災害救済チャリティ・コンサート　熊本市手取教会夜7時（入場料千円）
8日＊滞日アジア女性問題を「考える会」第一回勉強会　熊本市手取教会信徒会館ホール午後1時半より、フィリピンのスライド及び法的問題など約2時間の予定
＊学士会　司教館新館
＊福岡地区信徒協代表者会議　司教館新館午後1時半
10日　福岡市民クリスマス　福岡市民会館大ホール午後6時半
12日　佐賀市民クリスマスの夕べ　佐賀市民会館午後6時半
18日　カナの会例会　司教館新館
20日　熊本市民クリスマス　熊本市民会館大ホール午時6時
講師　淀川キリスト教病院副院長ホスピス長　柏木哲夫氏
主催熊本キリスト教会連合（入場料大人六百円、子供三百円）
26日　北九州地区奉仕者会のクリスマス会　水巻教会

福岡黙想の家

11月26日～12月6日　カノッサ修道女黙想
12月1日　茶山教会婦人会黙想
26日～61年1月4日　修道女黙想

クリスマス前夜祭ミサ

大名町教会（福岡市）　8時
小倉教会（北九州市）　7時半
久留米教会（久留米市）　7時半
佐賀教会（佐賀市）　8時
手取教会（熊本市）　7時半

布教の日献金

合計一、六〇〇、七一六円

セッキ神父様と集う会

主任司祭着任30周年を祝って

日　時　昭和61年1月3日
11時よりミサ
12時半より懇親会
場　所　大分県豊後高田市
高田カトリック教会
会　費　3,000円
事務局　北九州市　平岡義広
電話 093-922-2066
行橋市　遠藤京司
電話 09302-4-7955

※中津・高田・佐伯の三教会合同。詳しいことは事務局にお尋ね下さい。

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜　間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石　石他
理　影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

韓国ではいま（完）

――互いに手をとりあって――

江原道原州教区には、聖地として名高い舟論（ペロン）がある。山奥にもかかわらず、ここには壮大な「黄嗣永（ハンサヨン）殉教顕揚塔」が建てられていた。案内して下さった修女の話によれば、〝一八〇一年、迫害によって風前の灯となった朝鮮教会の危機を救うために、黄嗣永は教会の実情を記述した「帛書（はくしょ）」を北京の司教に送ろうとした。帛書というのは絹布に毛筆で書いた長い手紙のことである。これが途中官憲に知られ、捕らえられた彼は頭、手、足、胴体をそれぞれ六頭の馬にしばりつけられ、鞭打ちと共に無惨にも八つ裂きにされて致命した〟という。

滞在中私は、聖職者の方々をはじめ、有名無名の教友と親しくなったことは喜びだった。ところが或る夜、教会で紹介された宿老さん二人が訪ねて来た。李さん(71)と金爺さん(79)である。話はのっけから、いささか硬い話で始まった。「牧山さん、きょう私達はお世辞ではなく、本音を伝えに来たのです。」と言いながらどかりと私の前にあぐらをかいた。

「韓国人は口にこそ出しませんが、過去の事を決して忘れはしないのです。戦争の責任によって日本の領土が分断されるのであれば分かる。しかしそのとばっちりを受けた韓国が、ナイフで菓子でも切るように祖国の分割と、民族の分断という悲劇的結果を被ったのです。足を踏んでいる人は踏まれている人の痛みが分からないといいますが、日本の人はもう少し韓国への理解と、痛みを分かってほしいのです。」――あゝ、私達日本人は今までこの様な視線の中で見られていたのか……。

そういえば、これまで韓国の歴史や風俗・習慣を何とむとんじゃくに見過ごしてきたことか。例えば韓国史上代表的人物を聞かれたとしても、果たして三人でも挙げることが出来ようか。彼等の訴えに我々日本人はどの様にこたえてきたというのだろう。忸怩（じくじ）として身のすくむ思いだった。金爺さんはおもむろにたばこに火をつけ、一服吸って話題をかえた。お二人とも四十年ぶりに使う日本語だとおっしゃっていたがよく通じ合った。最後に李さんが言った。「私達は過去の事を忘れないと言いましたが、しかしみんな許しているのです。ご安心下さい。世界は一つです。互いに手をとりあって信仰のために励んでゆきましょう。」重い足を引きずって訪ねてくれたお二人に、私は熱い友情を感じるとともに、目の前のうろこを一枚はがされた思いで開眼の一夜を過ごしたのだった。

（佐賀　牧山満安）

十二月の聖体礼拝当番教会

十二月　一日　今村
十二月　八日　本郷
十二月　十五日　小郡
十二月二十二日　伊万里
十二月二十九日　司教館

購読料改訂のお知らせ

紙面の拡大にともない、購読料を昭和61年1月号より、左記のように値上げさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

一部　25円→一部　60円

12月命日の司祭

★ジェームス・マグラ神父（聖コロンバン宣教会）一九七六年十二月十八日元荒尾教会主任
★パウロ青木功神父一九七三年十二月十九日元行橋教会主任
★ミシェル・ソーレ神父（パリ外国宣教会）一九一七年十二月二十日元久留米教会主任
★アンドレ・ベニエ神父（パリ外国宣教会）一九八三年十二月二十三日元飯塚教会主任

編集室から

「購読料値上げのお知らせ」にあちこちからいろんなご意見、要望をいただきました。値上げに見合う内容にしてほしい。そんなたくさん記事があるんですか。購読者数が減るのでは。などなど。そんな中で、ある小教区から「信徒の養成のために購読部数を今までより増やします」という嬉しい声も入っています。

新年度からは読者の声の欄「自由席」をもうけて、より一層「教区民の新聞」づくりをおしすすめていきたいと思います。

主の御降誕が私たち一人ひとりに「新生」をもたらすものとなりますように。

（渡辺）

新企画登場

来年の一月号から紙面の拡大に伴い、次のものを一年間連載する予定です。

①福音宣教シリーズ
司祭、修道者、信徒の方々に各々の立場から「福音宣教」について書いていただきます。

②いぶき
信徒の霊的生活の助けのためサン・スルピス大神学院の山内清海神父様が執筆してくださいます。

③自由席
読者の皆さんの御意見を掲載したいと思います。投稿されたい方は、400字以内でお願いします。なお紙面の都合上、一部修正する場合もあるかと思いますが、あらかじめ御了承ください。

④アクション団体
福岡教区内の各種アクション団体を紹介します。

⑤かのときのことのは
森山敬三氏（雙葉学園教諭）に折々のことば（俳句、短歌等）をもとに、それに合った解説を書いていただきます。

⑥今月のみことば
神父様方の司祭叙階記念のことばを紹介します。

以上、種々の新企画を予定しています。どうぞお楽しみに。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社　藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17―10
大石保険事務所　大石真澄
〒815　TEL 552―8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ッ角　TEL 521―0568